LIXIL SC テラスＳＣ照明 取付説明書

・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠注 意	・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

⚠注 意

・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
・前もって設置場所の確認を行なってください。
・ダウンライト/シームレスラインライトは天面取付け専用です。
・据置き、壁付け、パッキンより小さい取付面、浴場などの湿気の多い場所、補強のない薄い場所、腐食性ガスの発生する場所、振動や衝撃の多い場所には設置しないでください。また、通路頭上に設置する場合は通行の妨げにならないよう注意し、製品へはモノをぶらさげないでください。器具の落下および破損、ショートなどによる思わぬ事故や感電によるケガのおそれがあります。
・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
・有機溶剤・化学薬品等にさらされる環境、沿岸部等の塩害の発生する環境、直射日光・水没環境・結露する環境、大雨などで冠水するおそれのある環境、引火する危険性（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー等）のある環境、製品及または取付けパーツに直接負荷がかかる環境、取付け後に製品または取付けパーツが摺動する環境、振動や衝撃の多い場所には設置しないでください。
・暖房機器や火気などに近接したところでは使用しないでください。
・製品のスキマに金属類を差し込まないでください。
・LED点灯時、製品を布、紙等で覆わないでください。
・製品を造営材等へ埋め込んで使用しないでください。
・製品の分解・改造は、しないでください。

お願い

・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
・施工終了後、取扱説明書はお施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

⚠注 意

・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
・水濡れの原因となりますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
・シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等の原因となりますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

・ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。

※φ4ネジ　:2.5N·m±0.5N·m　　※φ5ネジ　:3.0N·m±0.5N·m
※M6ボルト:12.0N·m±0.5N·m　　※M8ボルト:20.0N·m±0.5N·m

・灯具本体カバーは取外さないでください。止水性能が低下し、故障・感電のおそれがあります。

お願い

・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

＜電気配線工事について＞

⚠注 意

・AC100V の電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
・通電状態で施工しないでください。故障・感電のおそれがあります。
・取付けの際は、安全のためブレーカを切ってください。通電状態で行なうと感電のおそれがあります。
・器具の規格に合わせた電圧で使用してください。規格外の過電圧などを加えると火災・感電のおそれがあります。
・別売りの当社製トランス電源ユニットと組合わせて使用してください。（DC12V仕様）
・必要に応じて通電確認をしてください。

＜施工の後に＞

⚠注 意

・ボルト、ネジの締め忘れがないか確認し、ゆるんでいる場合は締めなおしてください。

表示マーク

シーリング箇所

柱位置を移動して施工の場合

本体取付説明書と
下記オプションに対応した取付説明書を
参照してください。

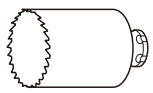
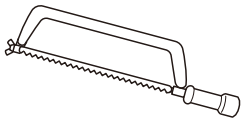
「テラスSC 基本･連棟 取付説明書（N005）」
「テラス（デッキ接続） 取付説明書（N007）」

INDEX

▌表示マーク……2
▌INDEX……3
▌特殊工具……3
■仕様一覧表……3
▌配線と基礎工事……4
▌取付けできるライト……5
▌屋根取付け仕様……7
■各部の名称と基本納まり……7
1事前準備(屋根照明ー柱部)……11
1本体柱カバーの加工……11
1排水しない柱･照明用 柱ベース･照明用 柱カバーAの加工……11
1事前準備(屋根照明ー屋根部)……12
1共通部材の加工……12
□シームレスラインライト切詰め方法……16
2部品の取付け……18
2本体の施工……21
1本体の施工……21
2配線……22
3照明器具･人感センサの取付け……24
□シームレスラインライトの場合……24
□人感センサの場合……24
□ダウンライトの場合……24
4後枠の施工……25
5照明用側枠の取付け……27
6連棟部の施工……30
□構造の確認……30
□部材の加工……32
□部材･部品の取付け……34
□多連棟時の配線……36
□配線イメージ……38
7柱部取付……40
▌柱取付け仕様……43
■各部の名称……43
■基本納まり……44
▌柱取付け仕様(DC12V仕様)……45
1事前準備……45
1部材の加工……45
2部品の取付け……46
2本体の施工……47
3本体柱への取付け……47
4照明器具の取付け……50
□エスコートスポットライトの場合……50
□スポットライトの場合……50
▌柱取付け仕様(AC100V直結仕様)……51
1事前準備……51
1部材の加工……51
2部品の取付け……53
2本体の施工……54
3本体柱への取付け……55
4照明器具の取付け……57
□エスコートスポットライトの場合……57
□スポットライトの場合……57
▌梱包明細表……58
▌シームレスラインライト特注寸法一覧……60

特殊工具

●本製品を施工する際は下記を準備しておいてください。

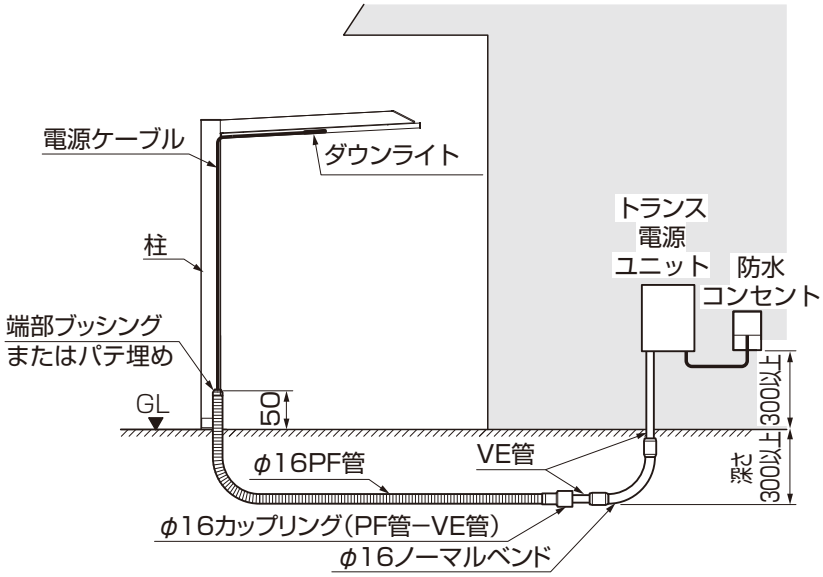
ホルソー(φ33)	鋸(金属用)
	

仕様一覧表

DC/AC	照明区分	照明呼称	点灯区分	加工部材										
				照明用柱ベース	照明用柱カバーA	照明用柱カバーB	カーポートライト用台座セット	本体柱	本体柱カバー	前枠･屋根材	後枠	照明用側枠	照明用後枠コーナーキャップ	雨樋穴ふさぎキャップ
DC12V仕様	屋根取付け	ダウンライト シームレスラインライト	人感センサ	−	−	−	−	−	P.11	P.12	P.14	P.12	P.18	P.13
			入切スイッチ	P.11	P.11	−	−	P.11	−	P.12	P.14	P.12	P.18	P.13
			ー	−	−	−	−	−	P.11	P.12	P.14	−	P.18	P.13
	柱取付け	スポットライト エスコートスポットライト	入切スイッチ	P.45	P.45	P.45	−	P.45	−	−	−	−	−	−
			ー	P.45	P.45	P.45	−	P.45	−	−	−	−	−	−
AC100V仕様		スポットライト エスコートスポットライト	入切スイッチ	−	−	−	P.52	P.51	P.51	−	−	−	−	−
			ー	−	−	−	P.52	P.51	P.51	−	−	−	−	−

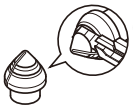
配線と基礎工事

●DC12V仕様　屋根取付け・柱取付けの場合の配線参考図



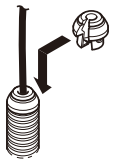
補　足

端部ブッシングの取付け



①ケーブル径に合わせブッシングの先端を切断します。

②ブッシングの縦溝を切り込み、半割れにします。

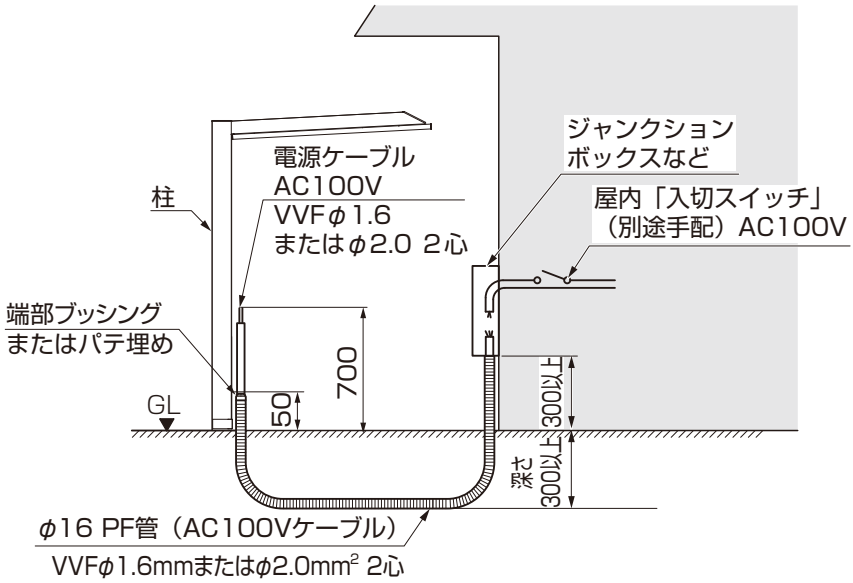


③ブッシングをケーブルにはさみ、管に差し込みます。

※ブッシングとケーブルのすき間はビニルテープで防水処理をしてください。

・地中配管（コンクリートやモルタルで埋設）する場合、埋設管を敷設してください。
　柱埋設位置に電源ケーブルを通した埋設管を立ち上げてください。
・埋設管は必要な長さで切り落とし、端部ブッシングを取付けまたはパテ埋めしてください。

●AC100V直結仕様の場合の配線参考図



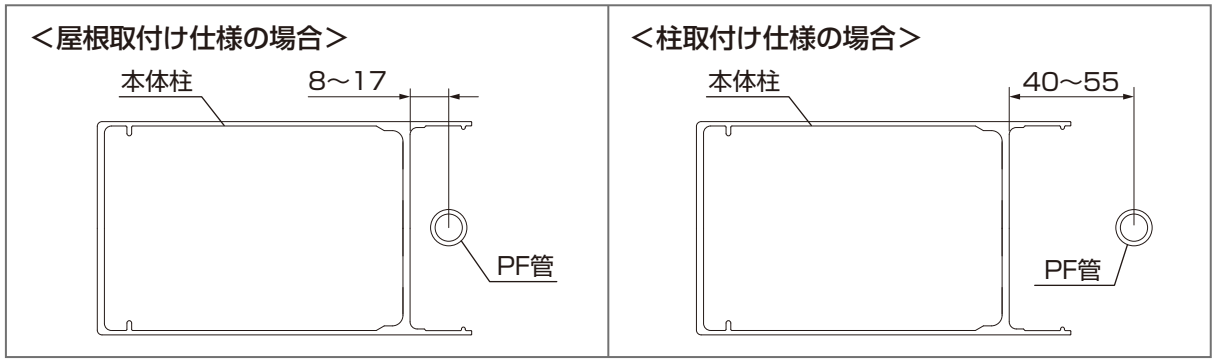
補　足

電源ケーブルは PF 管を地中に埋設して配線してください。

⚠注 意

AC100V の電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。

・地中配管（コンクリートやモルタルで埋設）する場合、埋設管を敷設してください。
　柱埋設位置に電源ケーブルを通した埋設管を立ち上げてください。
・埋設管は必要な長さで切り落とし、端部ブッシングを取付けまたは
　パテ埋めしてください。

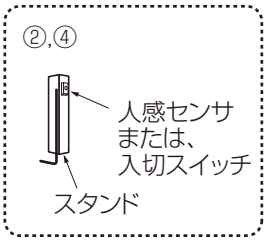


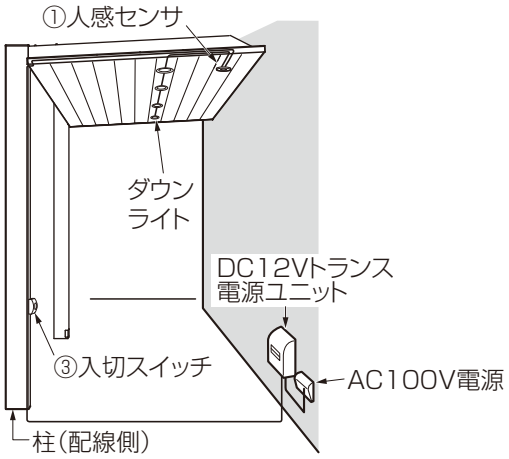
取付けできるライト

●ダウンライト(P.10)

電源電圧：DC12V仕様
①人感センサ：屋根取付け
②人感センサ：スタンド取付け
③入切スイッチ：柱取付け
④入切スイッチ：スタンド取付け

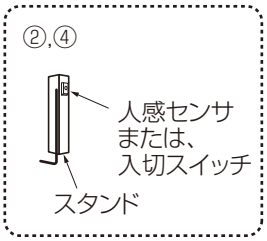
排水用の柱には
配線できません。

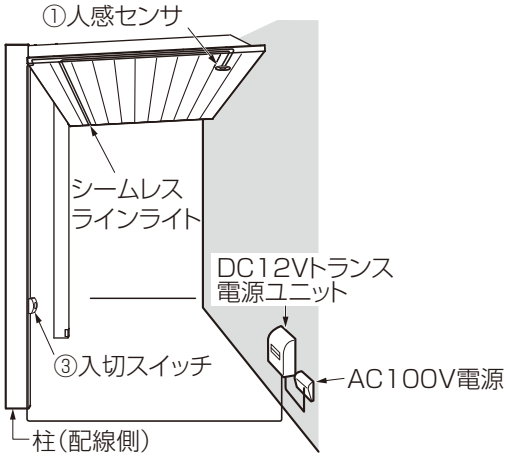




●シームレスラインライト(P.10)

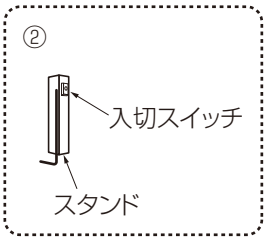
電源電圧：DC12V仕様
①人感センサ：屋根取付け
②人感センサ：スタンド取付け
③入切スイッチ：柱取付け
④入切スイッチ：スタンド取付け

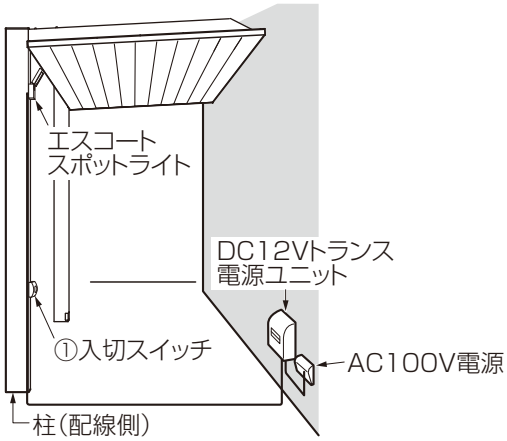




●スポットライト/
エスコートスポットライト(P.51)

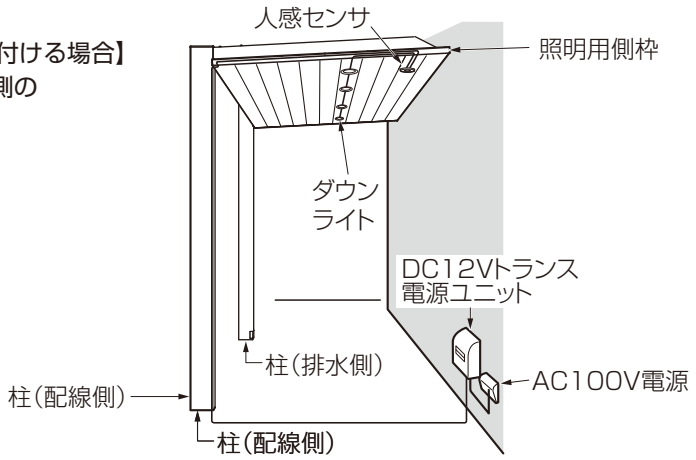
電源電圧：DC12V仕様または、AC100V直結仕様
①入切スイッチ：柱取付け
②入切スイッチ：スタンド取付け





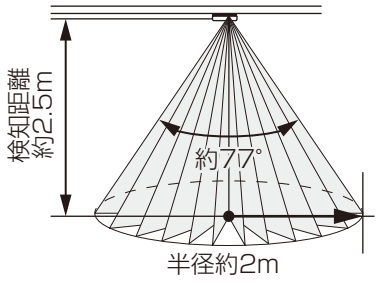
お願い

【屋根部に照明を取付ける場合】
配線は排水しない側の
柱にしてください。

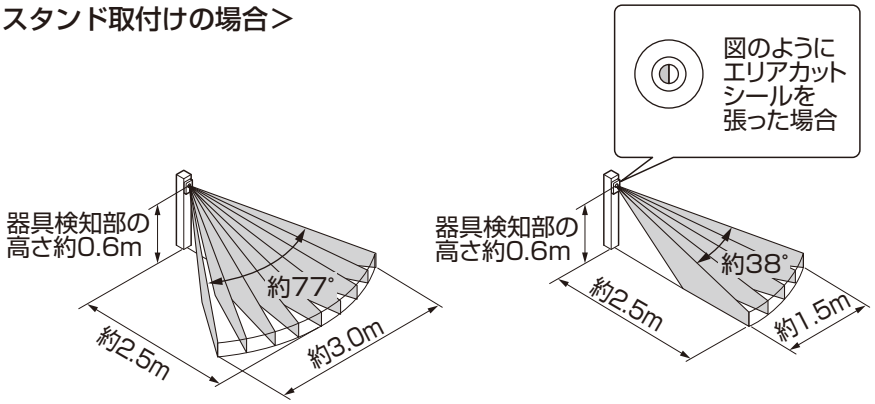


●人感センサ

＜屋根取付けの場合＞



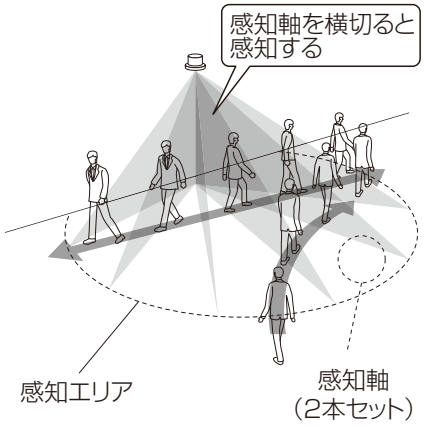
＜スタンド取付けの場合＞



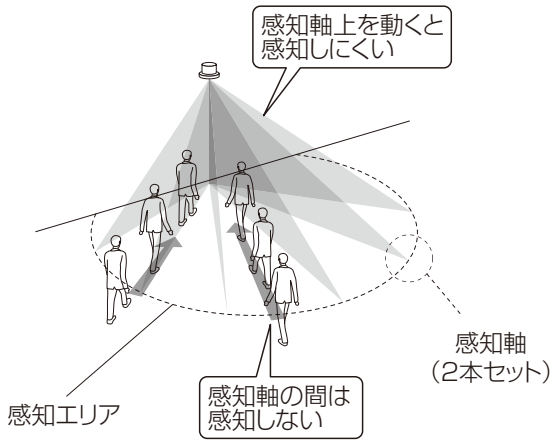
補 足

動き方向によって検知の感度が異なります。

○ 感知しやすい方向の動き



△ 感知しにくい方向の動き



お 願 い

●設置高さ2.5mの場合、GL（FL）面にて半径2mが検知範囲となります。設置高さが異なる場合は、検知範囲が異なります。
●着衣の表面温度は一般的に体温よりも周囲温度に近いため、肌の露出部分が少ない場合は、検知しにくくなることがあります。
●夏場など周囲温度が体温に近づいた時には検知しにくくなります。
●人への検知範囲となります。人以外にも照明器具・車・エアコンの室外機・動物・風で揺れる植栽などを検知することがあります。

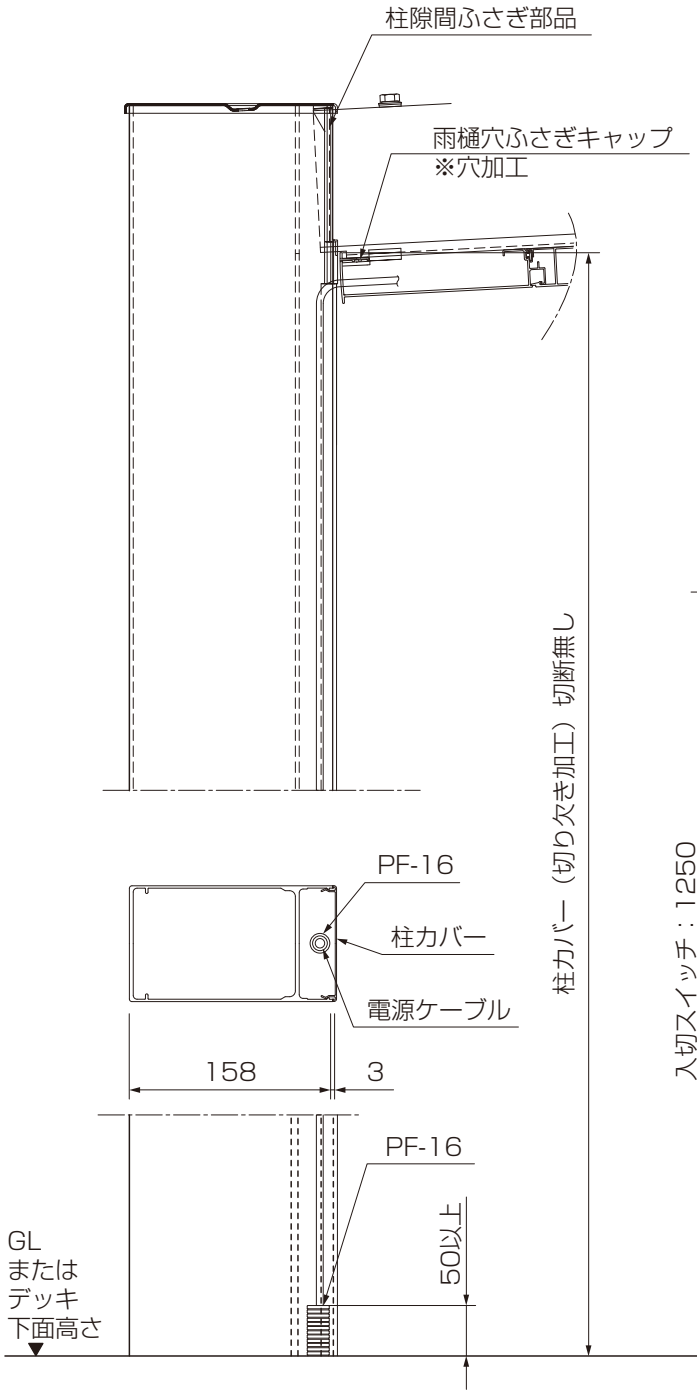
屋根取付け仕様

各部の名称と基本納まり

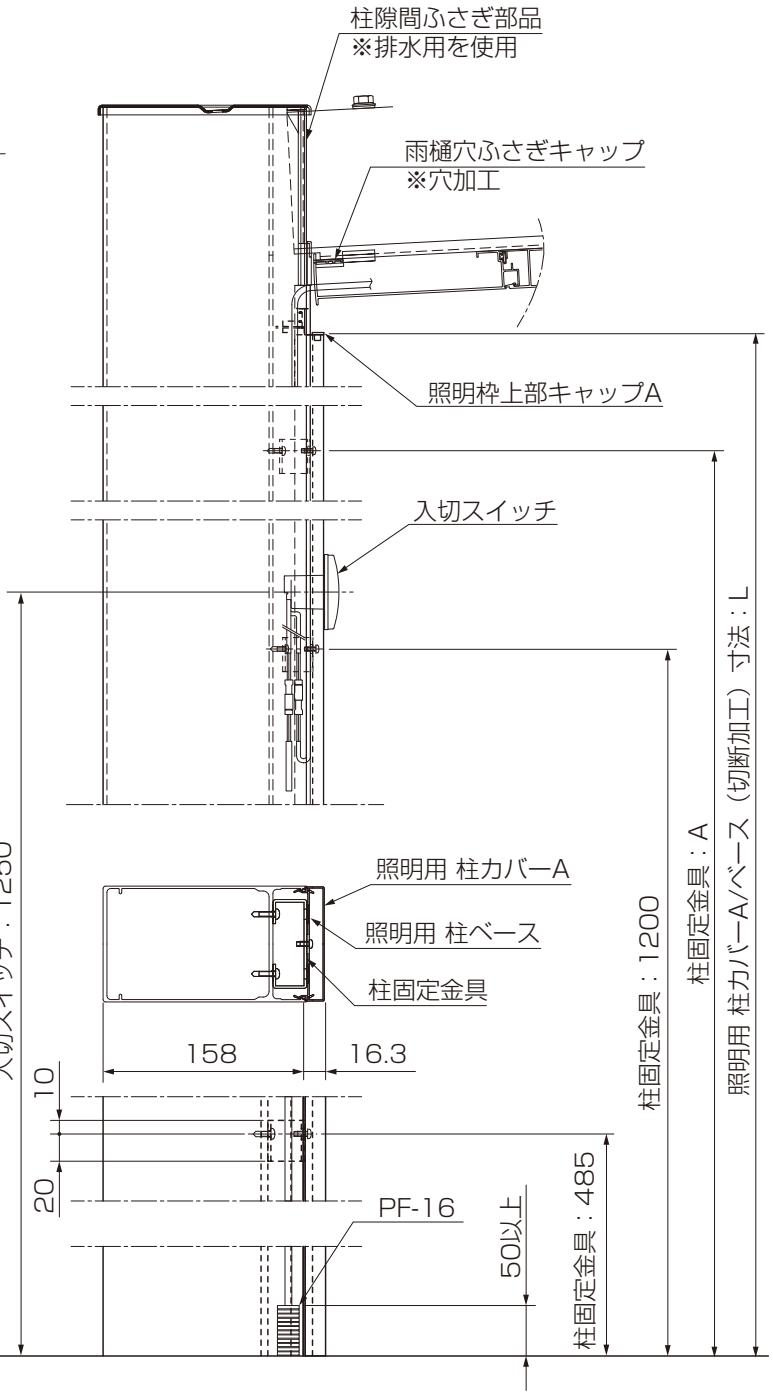
●柱部

	L	A
H24	2382	2065
H30	2982	2665

屋根取付け（スイッチ無し仕様）

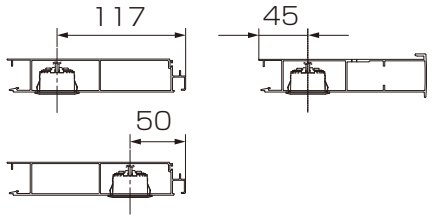


屋根取付け（スイッチ仕様）



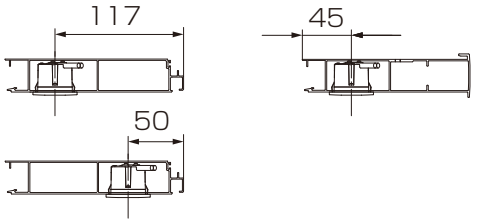
●屋根部

●ダウンライト
〈屋根材の場合〉〈前枠の場合〉



●シームレスラインライト
〈屋根材の場合〉

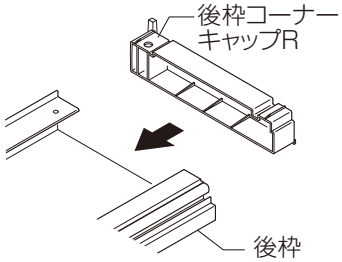
●人感センサ
〈屋根材の場合〉〈前枠の場合〉



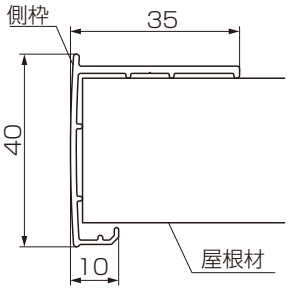
※ダウンライト仕様の場合、配線を通す側の側枠は照明用側枠になります。
※シームレスラインライト仕様の場合、配線の有無に関わらず、両側とも照明用側枠になります。

＜通常側枠側＞

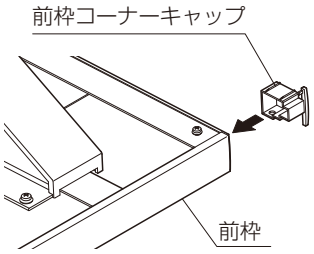
●後枠コーナーキャップ

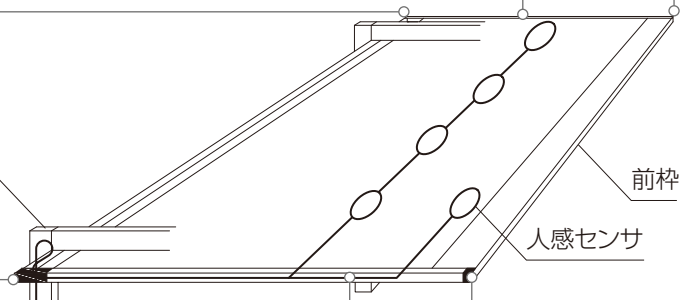


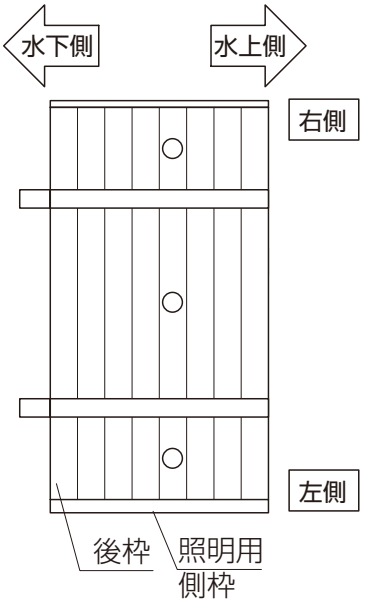
●側枠



●前枠コーナーキャップ



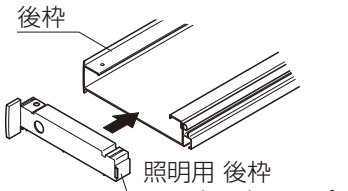




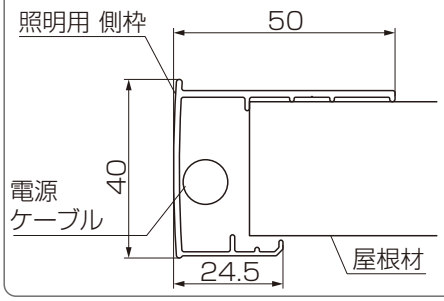
DC12Vトランス
電源ユニット

＜照明用側枠側＞

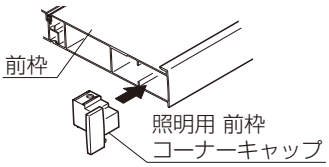
●照明用 後枠コーナーキャップ



●照明用 側枠



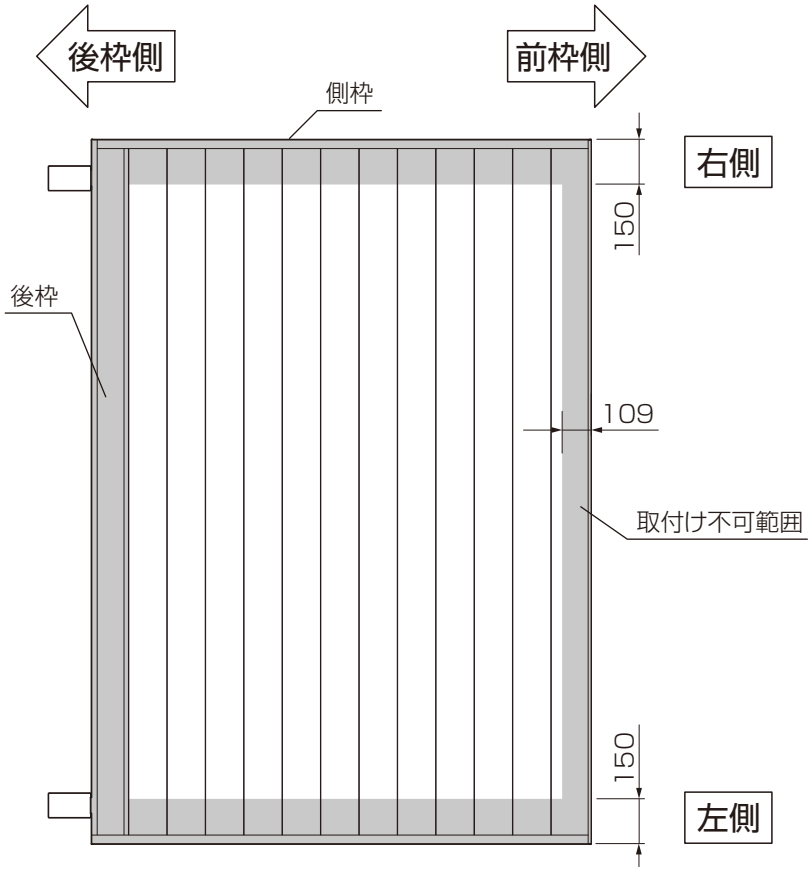
●照明用 前枠コーナーキャップ

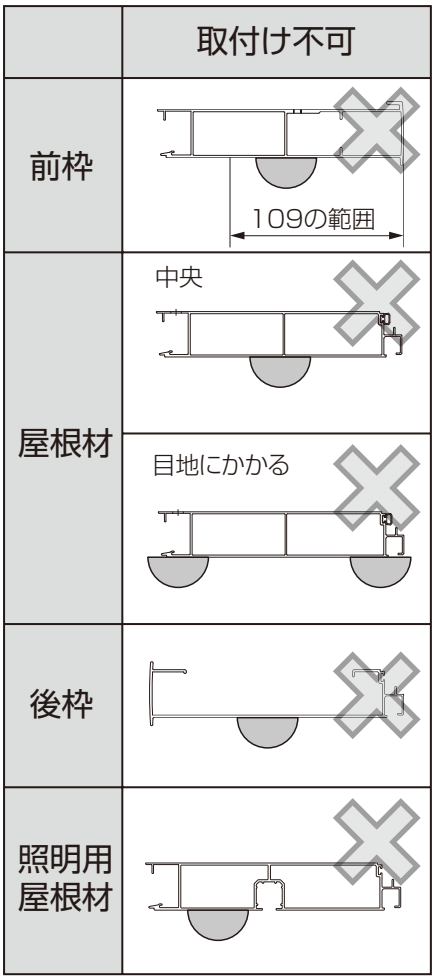


●照明器具取付け範囲

＜ダウンライト・人感センサの場合＞

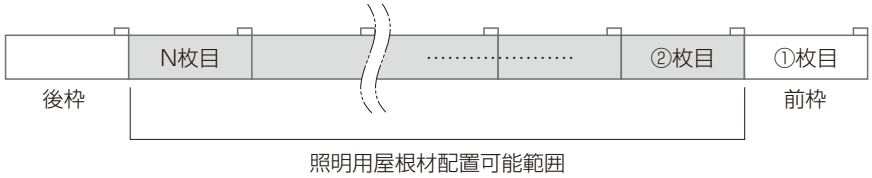
・前枠から109mmの範囲は取付けることができません。
・側枠から150mmの範囲は取付けることができません。
・後枠には照明器具を取付けることができません。
・照明用屋根材には照明器具を取り付けることができません





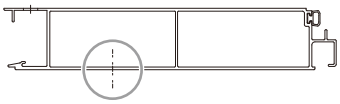
＜シームレスラインライトの場合＞

・照明屋根材のみシームレスラインライトを取付できます。

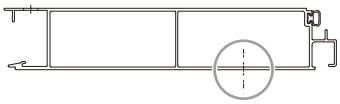


●推奨位置

<屋根材:後枠寄り>



<屋根材:前枠寄り>



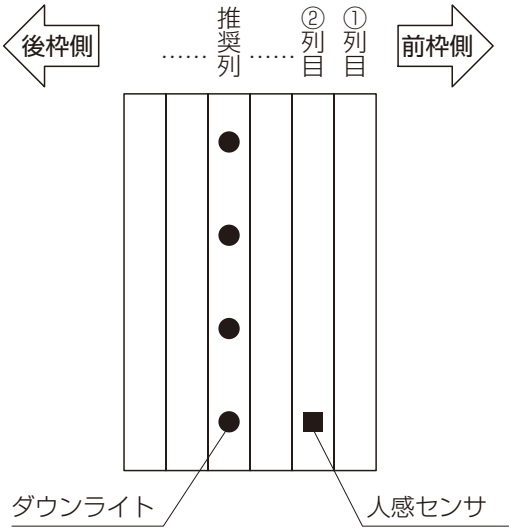
お願い

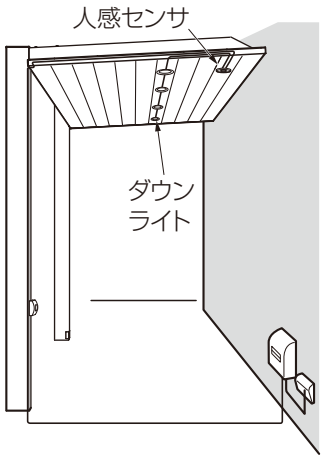
屋根枚数はP.9の<シームレスラインライトの場合>を参照してください。

【ダウンライト(1列ー3個 人感センサあり)】

①出幅方向の照明取付け位置
前枠を1列目として【器具を取付ける屋根材】が何列目になるか確認してください。

	列数	中央列	推奨列
4尺	7	4	5
5尺	9	5	6
6尺	11	6	7
7尺	13	7	8

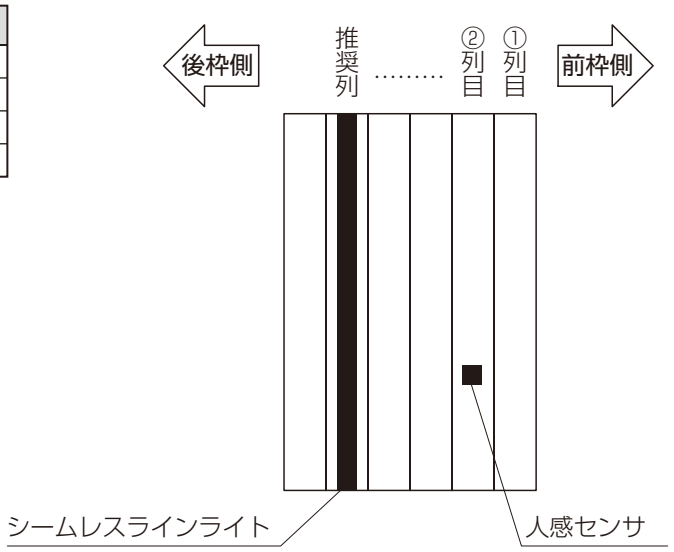




【シームレスラインライト(1本 人感センサあり)】

①出幅方向の照明取付け位置
前枠を1列目として【器具を取付ける屋根材】が何列目になるか確認してください。

	列数	推奨列
4尺	7	6列目
5尺	9	8列目
6尺	11	10列目
7尺	13	12列目



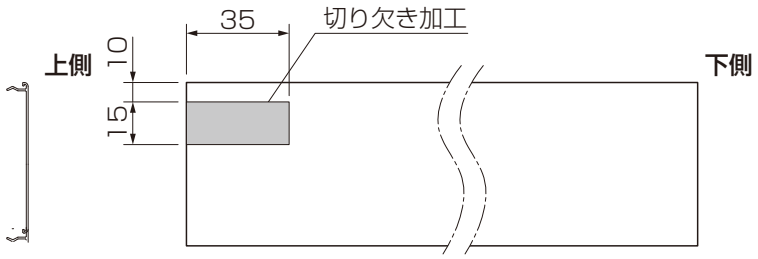
1 事前準備（屋根照明ー柱部）

＜柱にスイッチを取付けない場合＞

1 本体柱カバーの加工

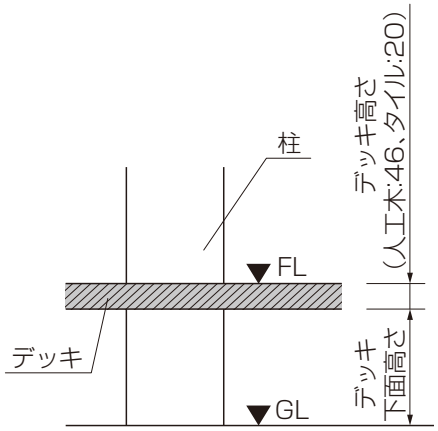
①本体柱カバーに切り欠き加工をしてください。

●本体柱カバー



下記のオプションを取付ける場合は、
下記オプションに対応した取付説明書を
参照してください。

「テラス（デッキ接続）取付説明書（N007）」



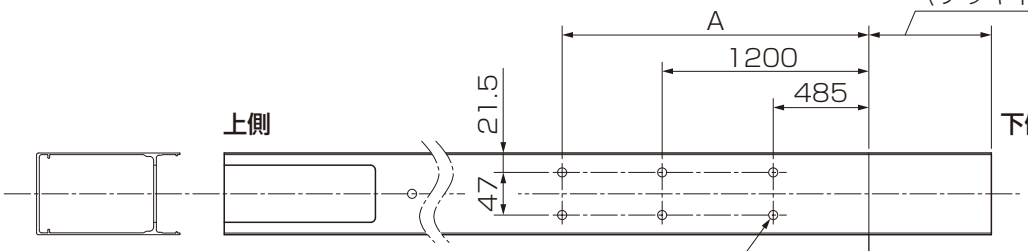
＜柱にスイッチを取付ける場合＞

1 排水しない柱・照明用 柱ベース・照明用 柱カバーAの加工

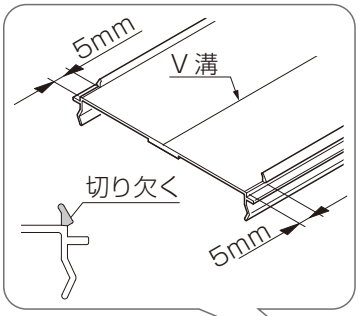
①本体柱、照明用 柱ベース、照明用 柱カバーAに切断と穴加工をしてください。
②照明用 柱ベースの上側になるフィンを5mm切欠いてください。

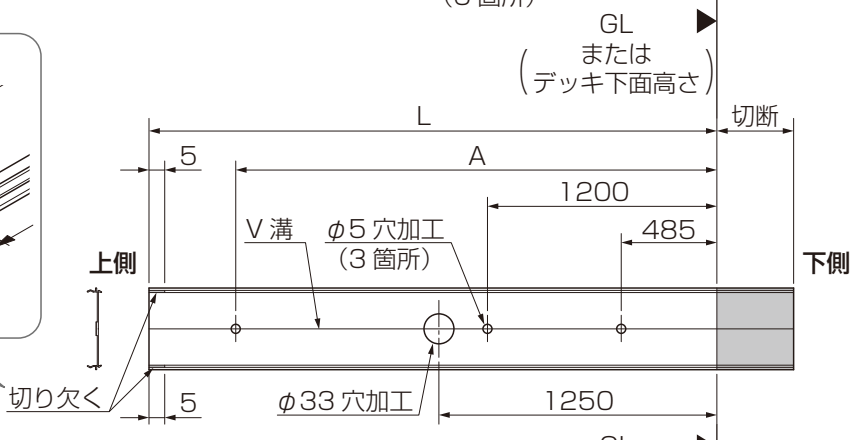
埋め込み寸法：500
＋
（デッキ下面高さ）

●本体柱

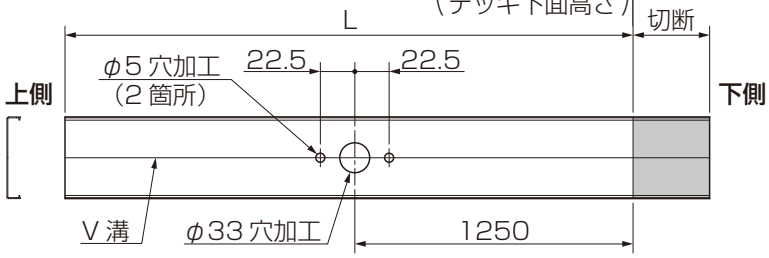


●照明用 柱ベース





●照明用 柱カバーA



	L	A
H24	2382	2065
H30	2982	2665

補 足

デッキ接続の場合、切断した下側の照明用柱ベース、照明用柱カバーAも使用します。

1 事前準備（屋根照明ー屋根部）

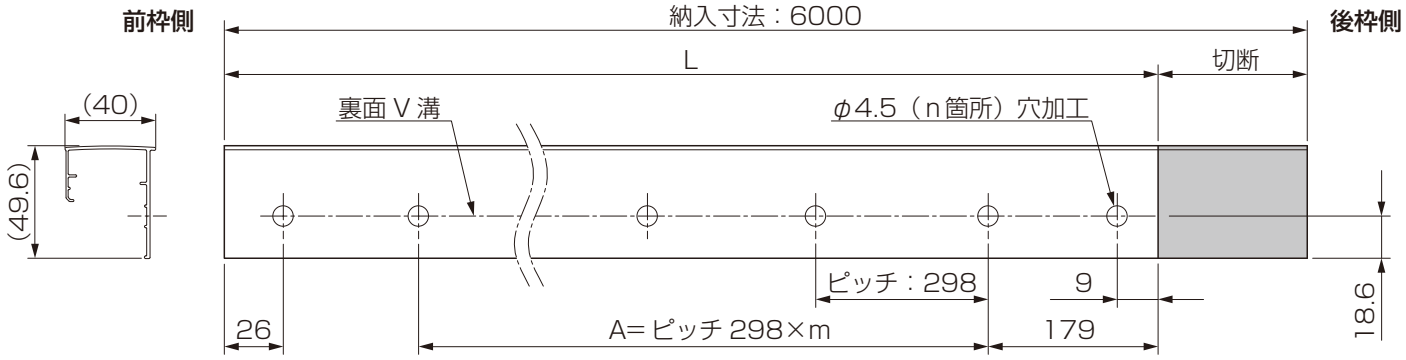
1 ＜共通部材の加工＞

①照明用側枠を切断、加工してください。

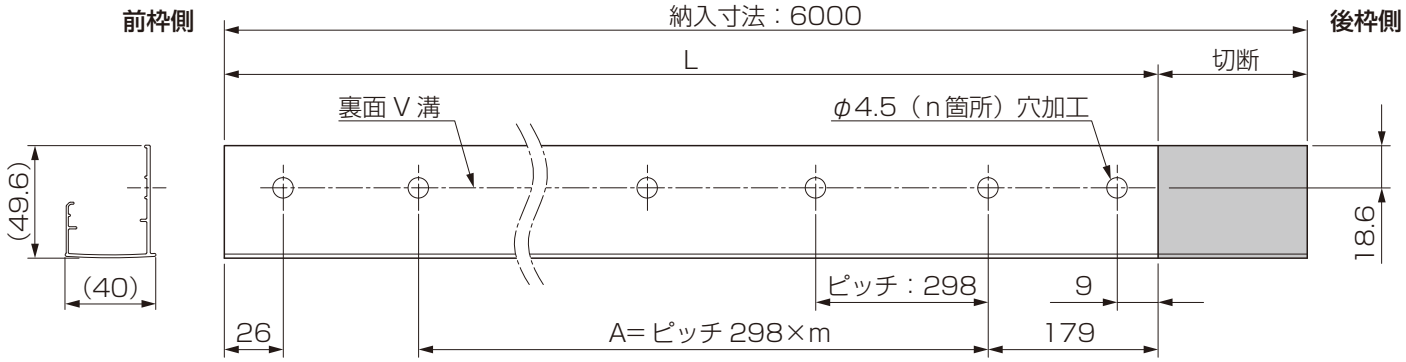
補　足

シームレスラインライトの場合、両側に照明用側枠を使用します。

●照明用側枠 左側取付けの場合



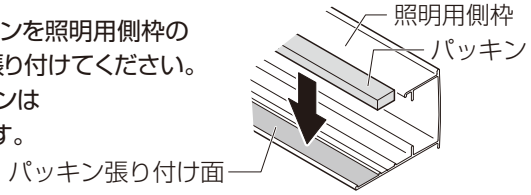
●照明用側枠 右側取付けの場合



	L	n	A	m
4尺	1037	5	596	2
5尺	1335	6	894	3
6尺	1633	7	1192	4
7尺	1931	8	1490	5

お願い

側枠用止水パッキンを照明用側枠の長さLで切断し、張り付けてください。
余った止水パッキンは
P.18で使用します。



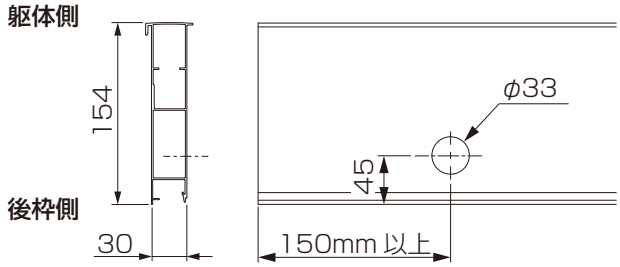
②前枠、屋根材へ照明器具･人感センサ取付けの穴加工をしてください。

お願い

ケーブルを傷つけないために、
加工穴のバリ取りをしてください。

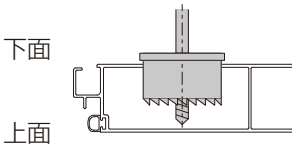
ダウンライトまたは人感センサ取付けの場合

●前枠

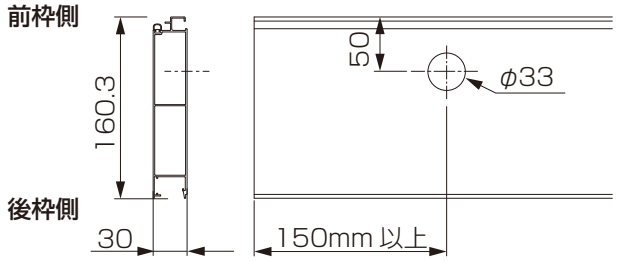


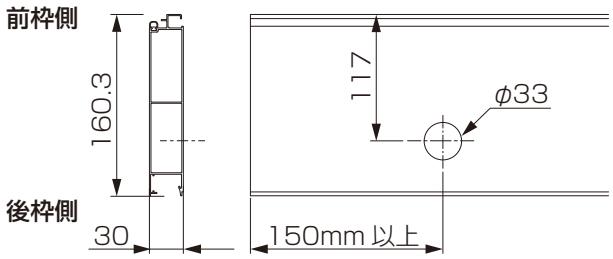
⚠注 意

屋根材および前枠の上面に、
穴をあけないでください。

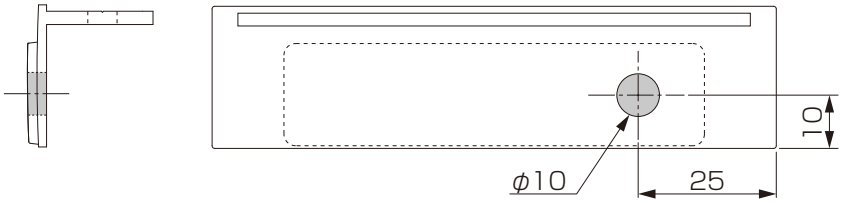


●屋根材





③雨樋穴ふさぎキャップに穴加工をしてください。



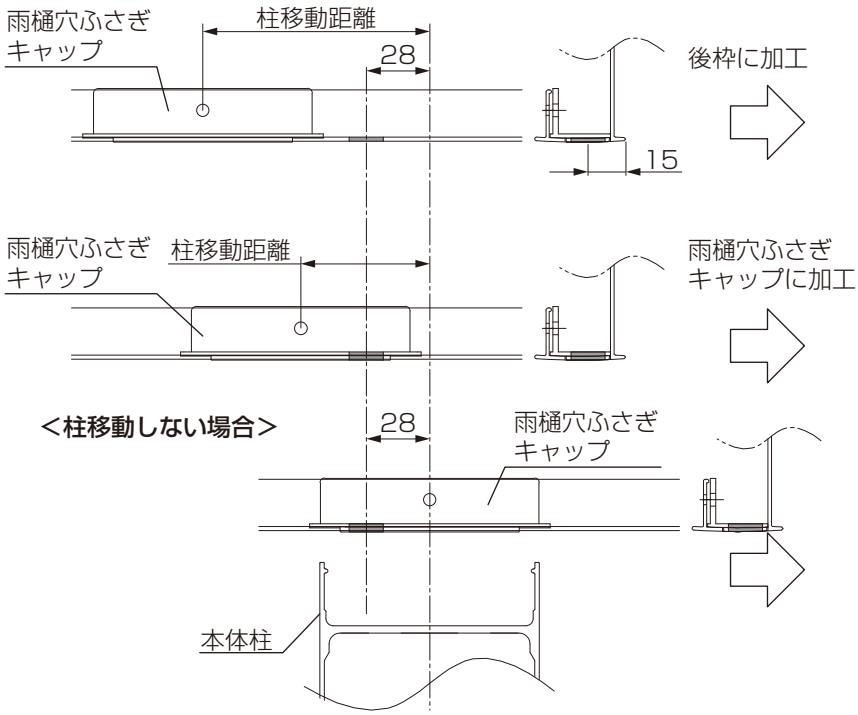
柱移動の場合

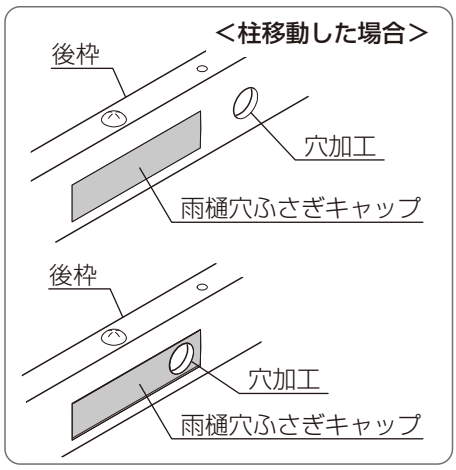
雨樋穴ふさぎキャップの穴加工位置を柱移動距離に合わせて変更してください。

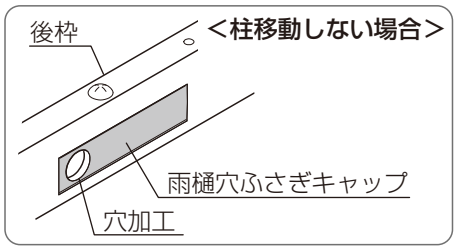
①柱移動距離により、雨樋穴ふさぎキャップまたは、後枠に穴加工してください。

柱移動の場合の作業です。

＜柱移動した場合＞



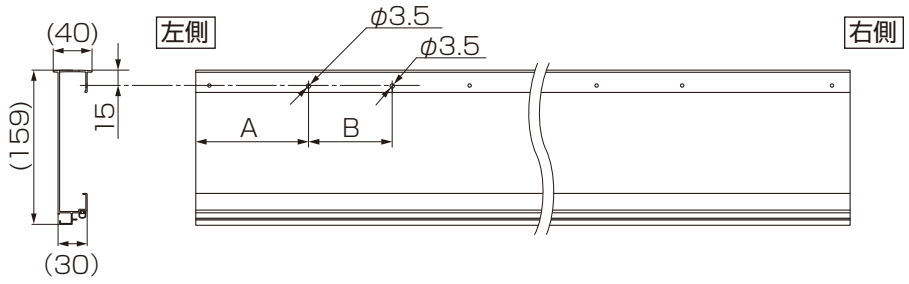




●後枠の加工

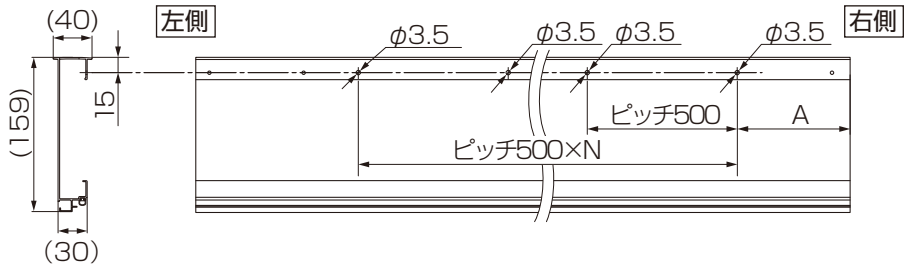
左側柱の配線は下記図のように、右側柱の配線は対称加工です。

＜左側配線する側枠側＞



間口	A	B
1.5間	80	−
2.0間	80	−
2.5間	300	200
3.0間	300	500

＜右側配線する側枠側＞

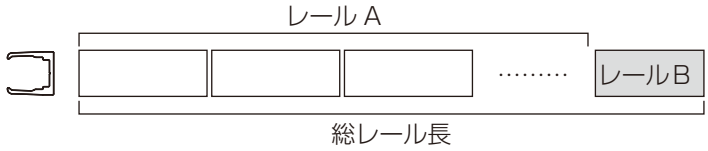


間口	A	N
1.5間	80	4
2.0間	80	6
2.5間	300	7
3.0間	300	8

シームレスラインライト取付けの場合

●シームレスラインライト用レールの確認

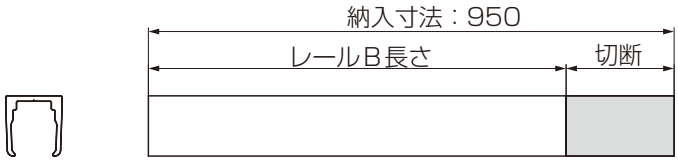
シームレスラインライト用のレールは1列に対して複数本組み合わせて使用します。
カット不要のレールをA、カットが必要なレールをBとし、
屋根のサイズに合わせて必要数を確認してください。



レール納入寸法：950

屋根サイズ	総レール長	レールA使用数	レールB長さ
1.5間	2712	2	812
2.0間	3615	3	765
2.5間	4539	4	739
3.0間	5442	5	692

①屋根材の長さに合わせてレールＢを切断してください。



お願い

シームレスラインライトを取付ける場合、屋根部の切詰め寸法に制限があります。
●シームレスラインライトを切詰める場合は、P.16の〈シームレスラインライト切詰め方法〉を参照してください。
●シームレスラインライトが特注品の場合は、P.60の〈シームレスラインライト特注寸法一覧〉を参照してください。

●照明用屋根材への取付け（レール取付→シームレスラインライトの挿入→2本目以降のレールの挿入）

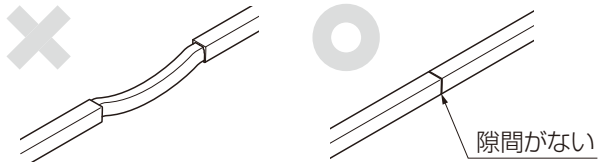
①屋根材挿入前に1本目のレールをシームレスラインライトに取付けてください。
　※配線側の屋根材小口から挿入してください。
②屋根材に挿入後、2本目のレールを取付けてください。
③2本目のレールは1本目のレールに突き当て、挿入してください。

お願い

シームレスラインライトを取付ける前に、点灯するか確認してください。

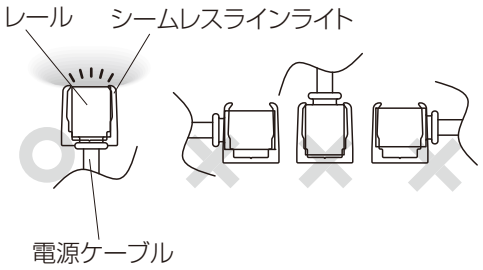
お願い

レールとレールの隙間により、シームレスラインライトが垂れることがあります。レールとレールの隙間がないように、レールを取り付けてください。

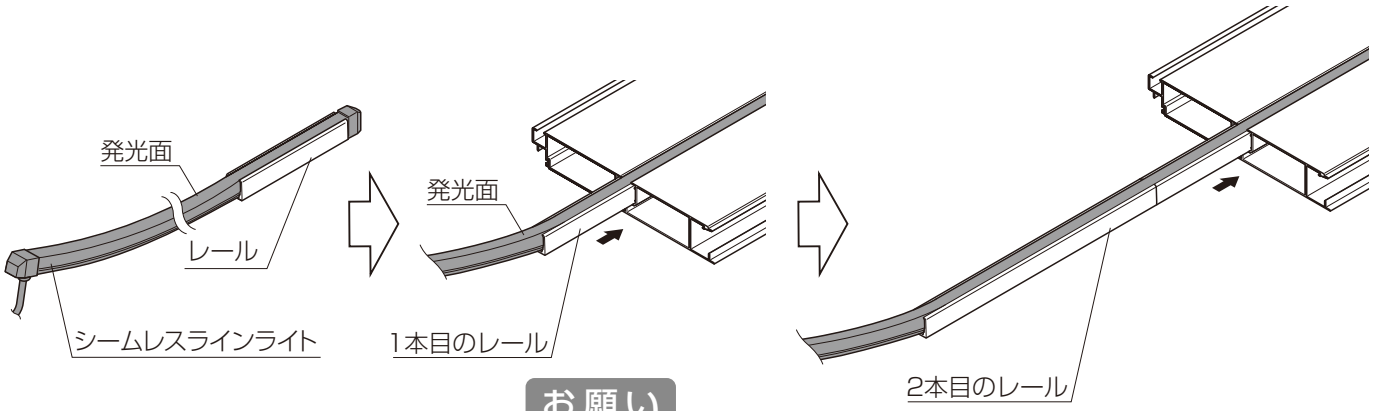


お願い

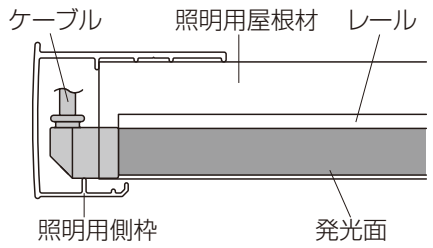
レールの取付け方向を間違えないようにしてください。



①レールの取付　　②シームレスラインライトの挿入　　③2本目以降のレールの挿入



●配線側端部納まり（最終）

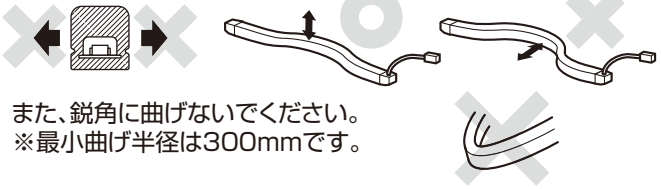


お願い

シームレスラインライトは、屋根材を組付ける前に照明用屋根材に挿入してください。
組付けた後に挿入するとシームレスラインライトに負荷がかかり不点灯・故障の原因になります。

お願い

曲げる方向に注意してください。



また、鋭角に曲げないでください。
※最小曲げ半径は300mmです。

踏みつけたり、発光面を強く押さないでください。

本体およびレール全長をねじったり、強く引っ張らないでください。

両面から追い込みをしないでください。

シームレスラインライト切詰め方法

①P.17を参照し、現場に納める屋根部材Lから切詰め寸法を確認してください。

補　足

屋根部材Lとは、前枠･前枠カバー･屋根材･後枠のL寸法を示します。

②本体の取付説明書を参考に屋根部材の加工を行ってください。

③シームレスラインライトの端部側から切詰め寸法で切断してください。

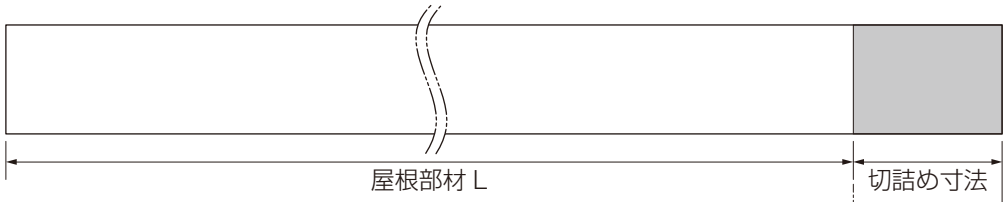
シームレスラインライトを現場切詰めする場合は
下記の取付説明書を参照してください。
また、スマートフォンなどで確認できます。

「シームレスラインライト 切詰め用端部キャップ(EXM-125)」

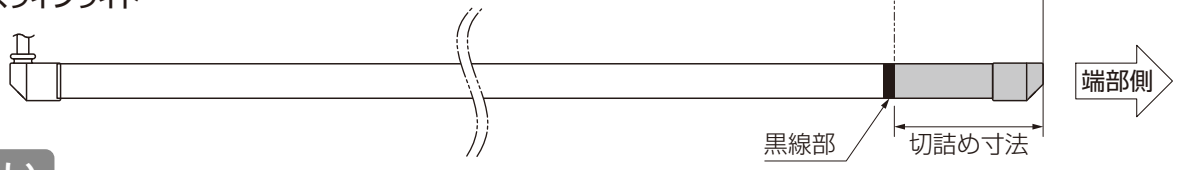
お願い

屋根部材の端部に必ず切欠き加工をしてください。切欠き加工が無い場合、シーリングができないため、漏水の原因になります。

●屋根部材



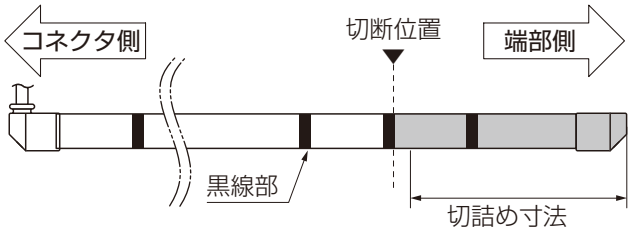
●シームレスラインライト



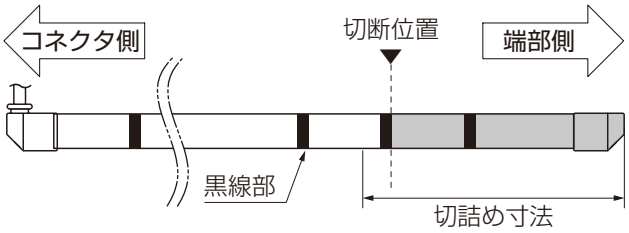
お願い

切詰め寸法が黒線部上にこない場合は、一番近い黒線部で切断してください。

〈切詰め寸法が黒線部より手前の場合〉

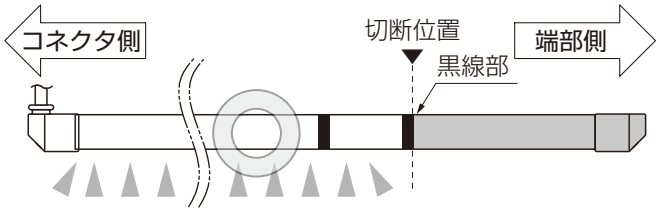


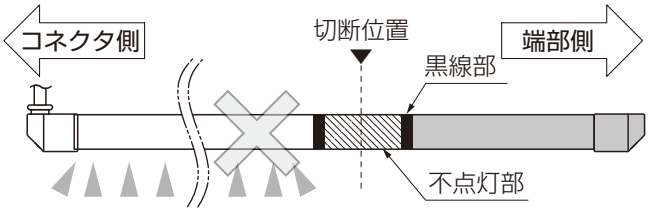
〈切詰め寸法が黒線部より奥の場合〉



お願い

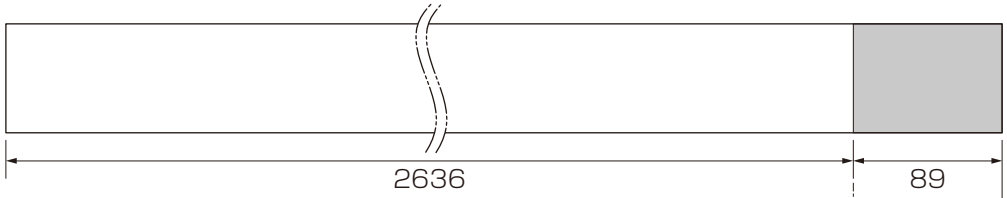
必ず黒線部の端部側で切断してください。黒線部よりコネクタ側を切断すると不点灯部ができてしまいます。



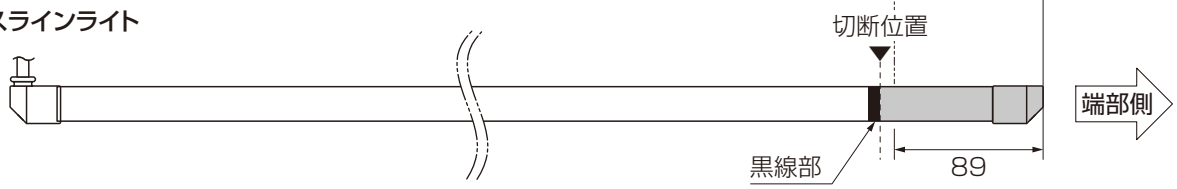


加工例:屋根部材の切断寸法が2636mm(切断寸法が89mm)の場合

●屋根部材



●シームレスラインライト



〈シームレスラインライトを現場切詰めする場合の屋根部材切詰め寸法一覧〉

屋根部を現場切詰めする場合、柱ピッチの変更・屋根材端部の切欠き加工・後枠端部の切欠き加工、後枠集水部品取付け部の切欠き加工が発生します。下記の取付説明書を参照してください。

「テラスSC 基本・連棟 取付説明書（N005）」

□は規格品です。

区分	屋根部材L	切詰め寸法
切詰め寸法（1.5間）	2187	538
	2208	517
	2230	495
	2251	474
	2273	452
	2294	431
	2315	410
	2337	388
	2358	367
	2380	345
	2401	324
	2422	303
	2444	281
	2465	260
	2487	238
	2508	217
	2529	196
	2551	174
	2572	153
	2594	131
	2615	110
	2636	89
	2658	67
	2679	46
	2701	24
規格1.5間	2725	−

区分	屋根部材L	切詰め寸法
切詰め寸法（2.0間）	2755	880
	2776	859
	2797	838
	2819	816
	2840	795
	2862	773
	2883	752
	2904	731
	2926	709
	2947	688
	2969	666
	2990	645
	3011	624
	3033	602
	3054	581
	3076	559
	3097	538
	3118	517
	3140	495
	3161	474
	3183	452
	3204	431
	3225	410
	3247	388
	3268	367
	3290	345
	3311	324
	3332	303
	3354	281
	3375	260
	3397	238
	3418	217
	3439	196
	3461	174
	3482	153
	3504	131
	3525	110
	3546	89
	3568	67
	3589	46
	3611	24
規格2.0間	3635	−

区分	屋根部材L	切詰め寸法
切詰め寸法（2.5間）	3643	902
	3665	880
	3686	859
	3707	838
	3729	816
	3750	795
	3772	773
	3793	752
	3814	731
	3836	709
	3857	688
	3879	666
	3900	645
	3921	624
	3943	602
	3964	581
	3986	559
	4007	538
	4028	517
	4050	495
	4071	474
	4093	452
	4114	431
	4135	410
	4157	388
	4178	367
	4200	345
	4221	324
	4242	303
	4264	281
	4285	260
	4307	238
	4328	217
	4349	196
	4371	174
	4392	153
	4414	131
	4435	110
	4456	89
	4478	67
	4499	46
	4521	24
規格2.5間	4545	−

区分	屋根部材L	切詰め寸法
切詰め寸法（3.0間）	4575	880
	4596	859
	4617	838
	4639	816
	4660	795
	4682	773
	4703	752
	4724	731
	4746	709
	4767	688
	4789	666
	4810	645
	4831	624
	4853	602
	4874	581
	4896	559
	4917	538
	4938	517
	4960	495
	4981	474
	5003	452
	5024	431
	5045	410
	5067	388
	5088	367
	5110	345
	5131	324
	5152	303
	5174	281
	5195	260
	5217	238
	5238	217
	5259	196
	5281	174
	5302	153
	5324	131
	5345	110
	5366	89
	5388	67
	5409	46
	5431	24
規格3.0間	5455	−

お願い

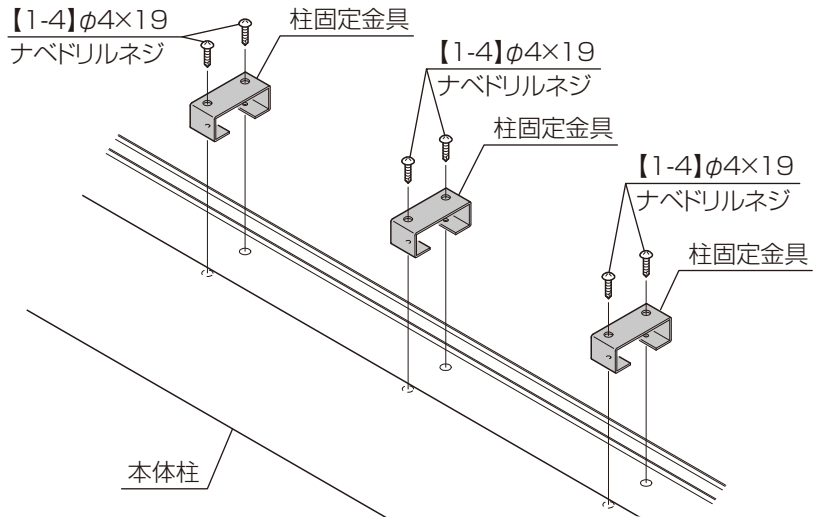
現場切詰めする屋根部のL寸法は、表の屋根部材+34mmになります。

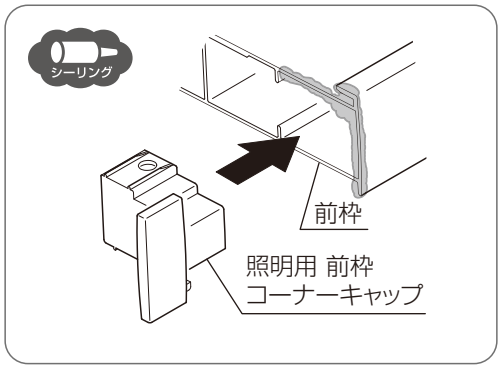
2 部品の取付け

①柱にスイッチを取付ける場合、柱固定金具を本体柱へ【1-4】で取付けてください。
②前枠にシーリングし、前枠コーナーキャップ、照明用 前枠コーナーキャップを挿入してください。

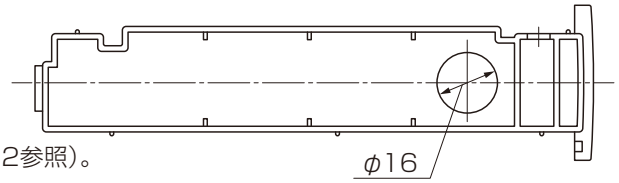
本体の施工は、
下記の取付説明書を参照してください。

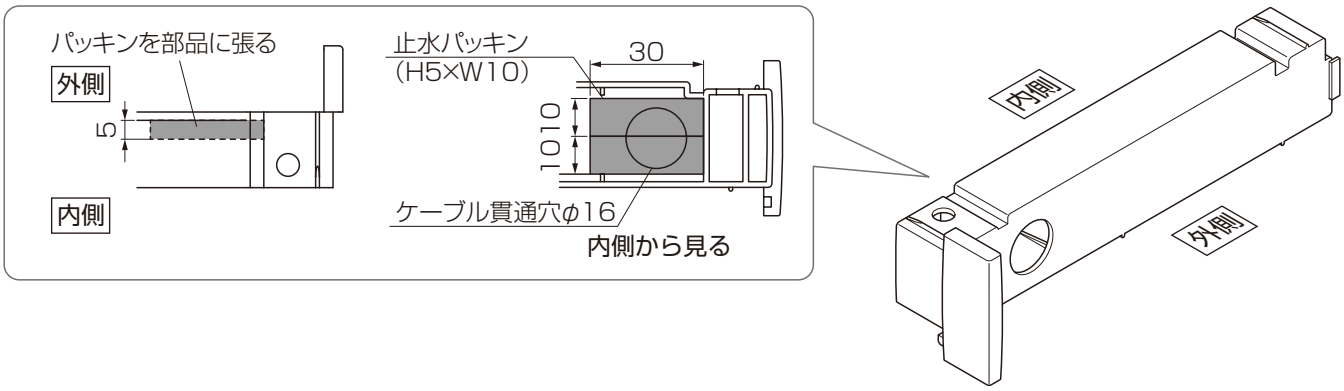
「テラスSC 基本･連棟 取付説明書（N005）」





③止水パッキンを図の長さに切断してください。
照明用後枠コーナーキャップの内側から孔（φ16）を塞ぐように止水パッキンを張り付けてください。
※止水パッキンは照明用側枠に張り付けた余りを使用してください（P12参照）。
※張り付け位置は下図参照。



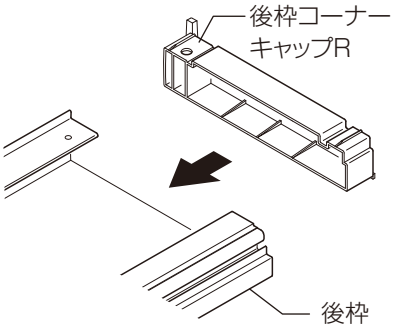


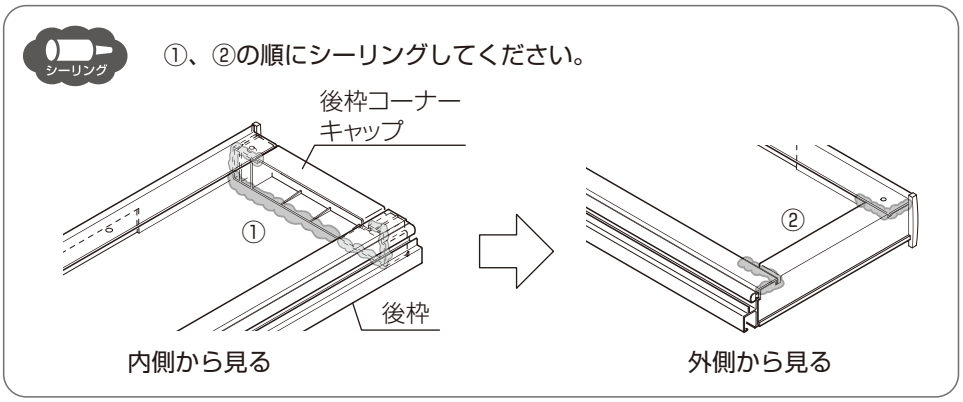
④後枠コーナーキャップ、照明用 後枠コーナーキャップ、雨樋穴ふさぎキャップ、集水部品にシーリングし、後枠に取付けてください。

＜配線しない側枠側＞

●ダウンライトの場合

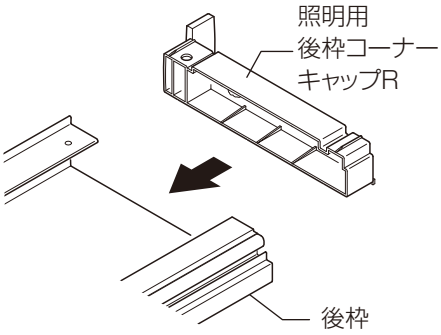
後枠コーナーキャップを下記の通り取付けてください。

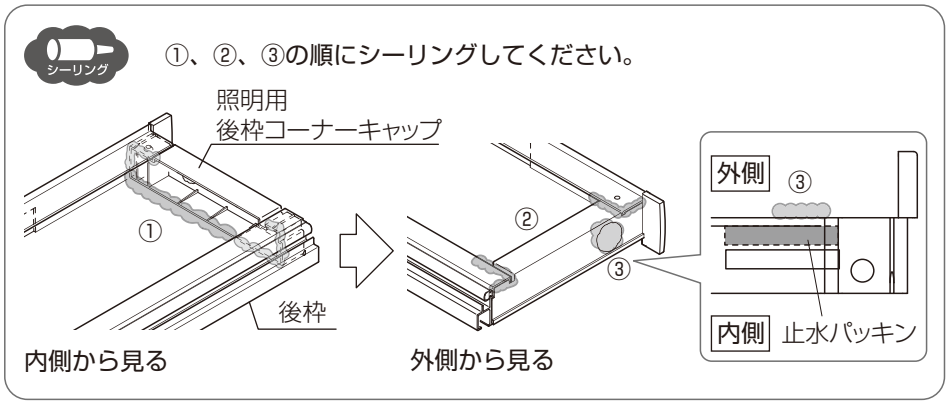




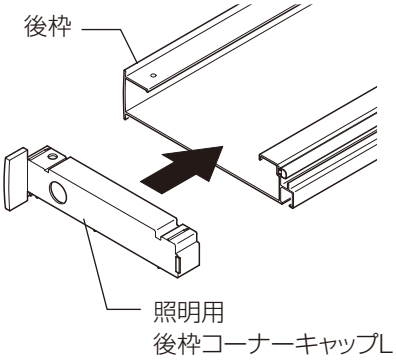
●シームレスラインライトの場合

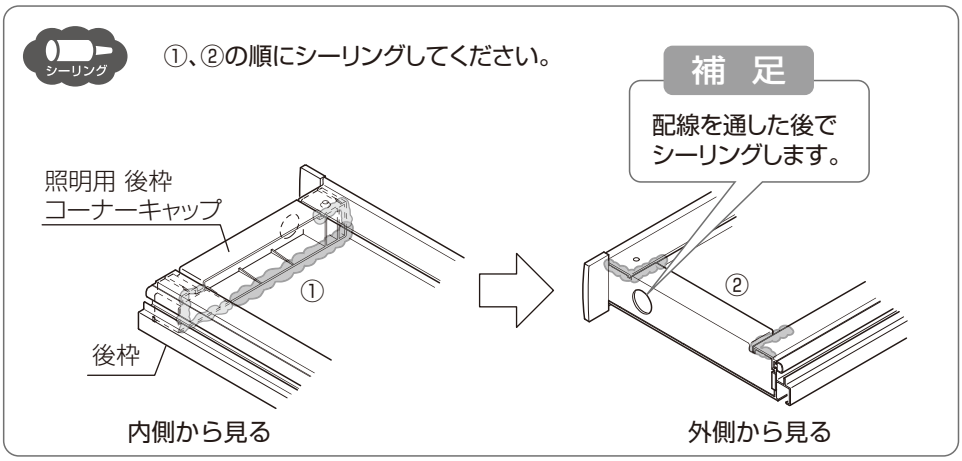
照明用後枠コーナーキャップを下記の通り取付けてください。

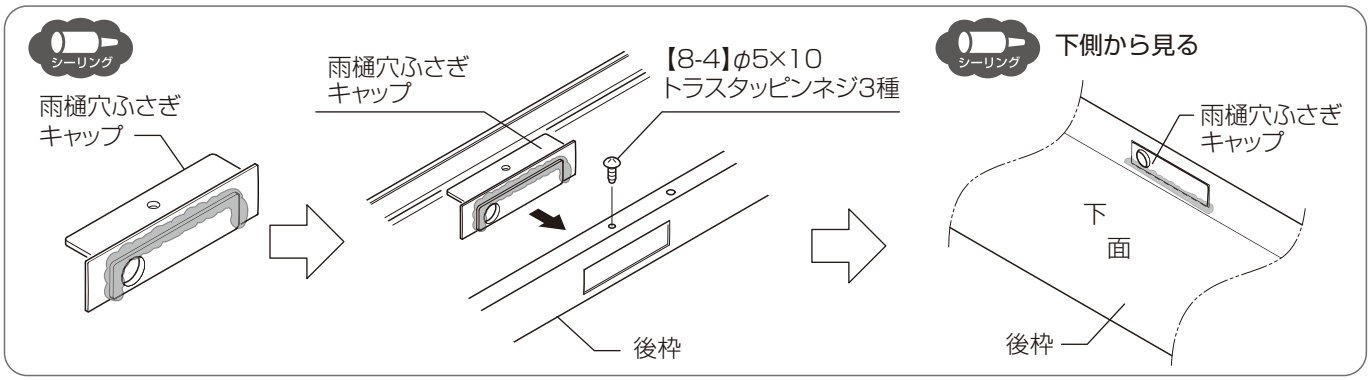




＜配線する側枠側＞





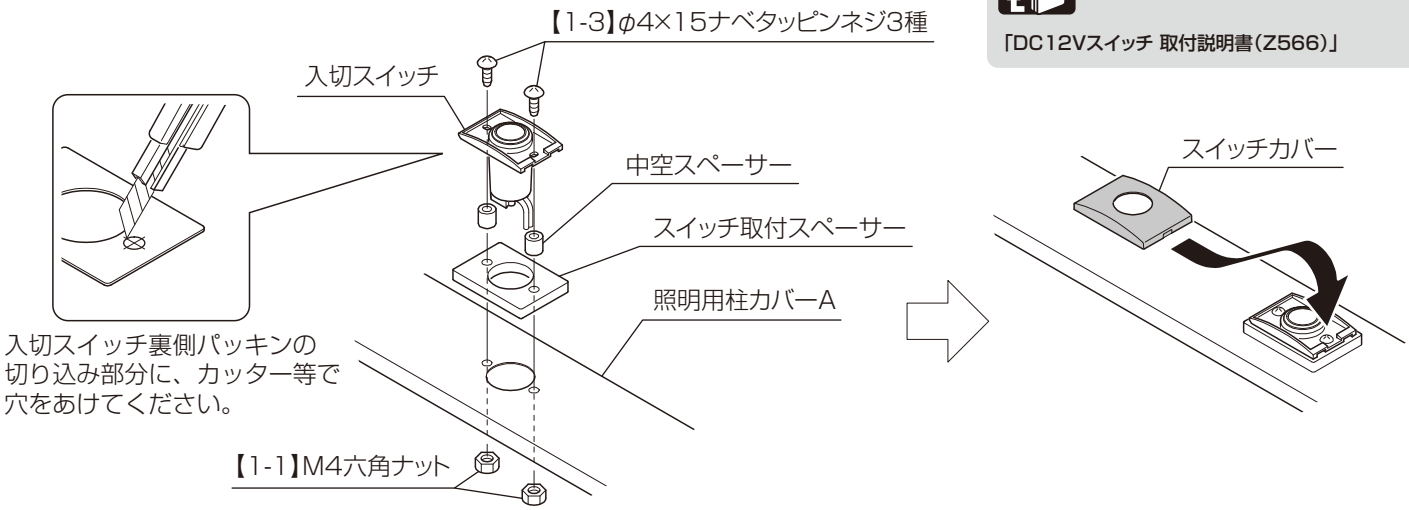


＜柱にスイッチを取付ける場合＞

照明用柱カバーAにスイッチ取付スペーサー、中空スペーサー、入切スイッチを、
【1-1】、【1-3】で取付け、スイッチカバーを取付けてください。

入切スイッチの取付けは、
下記の取付説明書を参照してください。

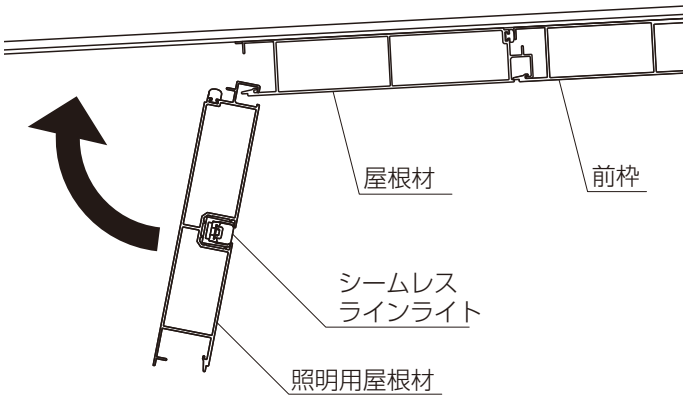
「DC12Vスイッチ 取付説明書（Z566）」



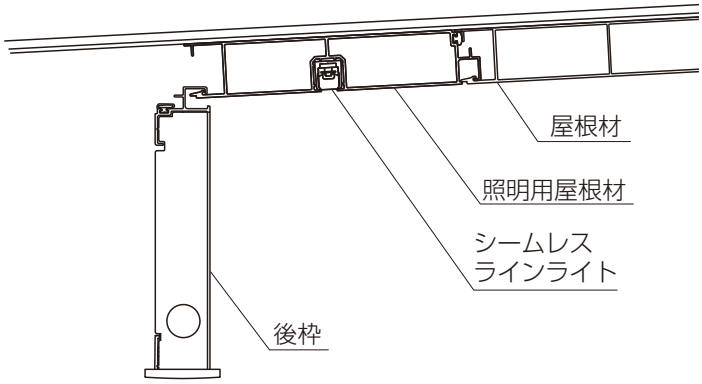
⑤照明用屋根材を本体に取付けてください。

本体の施工は、
下記の取付説明書を参照してください。

「テラスSC 基本･連棟 取付説明書（N005）」



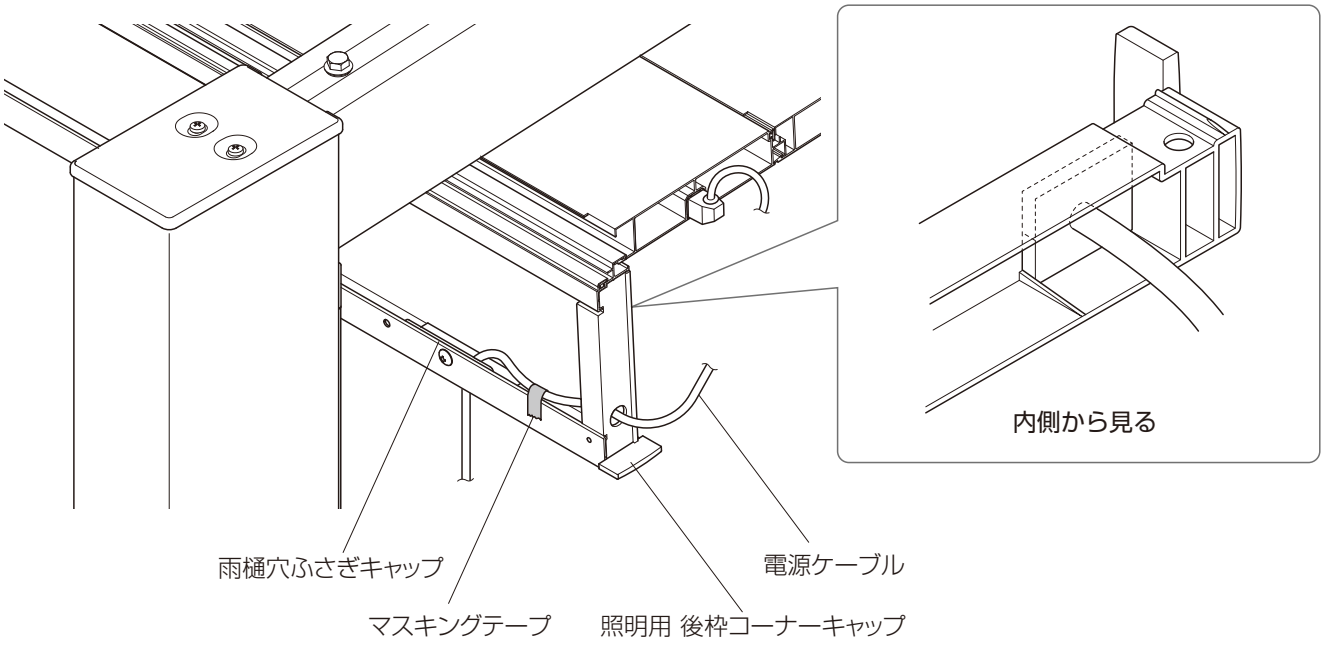
⑥後枠を本体に引っ掛けてください。



⑦後枠を取付ける前に、電源ケーブルを雨樋穴ふさぎキャップ、
後枠、照明用後枠コーナーキャップを通し、
コネクタ先端が側枠または照明器具･人感センサまで
届く長さを確保してください。

お願い

電源ケーブルをマスキングテープで後枠に
仮固定してください。



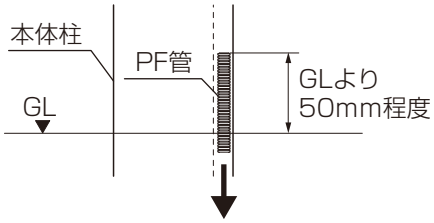
2 本体の施工

1 本体の施工

本体の施工は、
下記の取付説明書を参照してください。

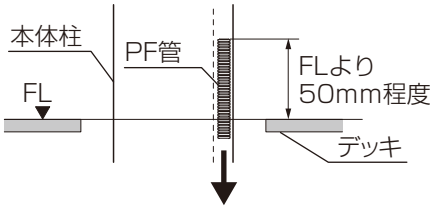
「テラスSC 基本･連棟 取付説明書（N005）」

①本体柱の建て込み時に、PF管の立ち上げをしてください。



トランス電源ユニットへ

＜デッキ接続の場合＞

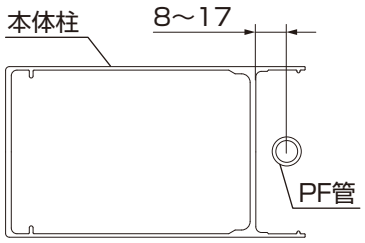


トランス電源ユニットへ

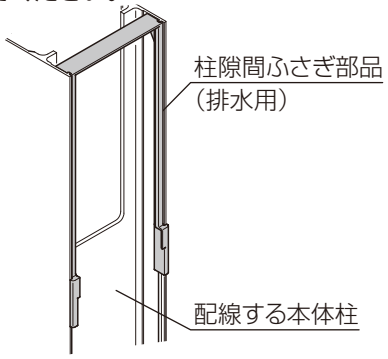
お願い

・PF管の立上げ位置に
注意してください。

＜屋根取付け仕様の場合＞



・柱にスイッチを取付ける場合は、
柱隙間ふさぎ部品（排水用）を取付け
てください。

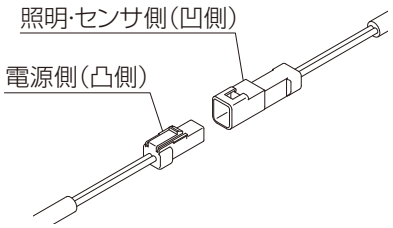


2 配線

①電源ケーブル、延長ケーブル、分岐ケーブルの配線･接続をしてください。

お願い

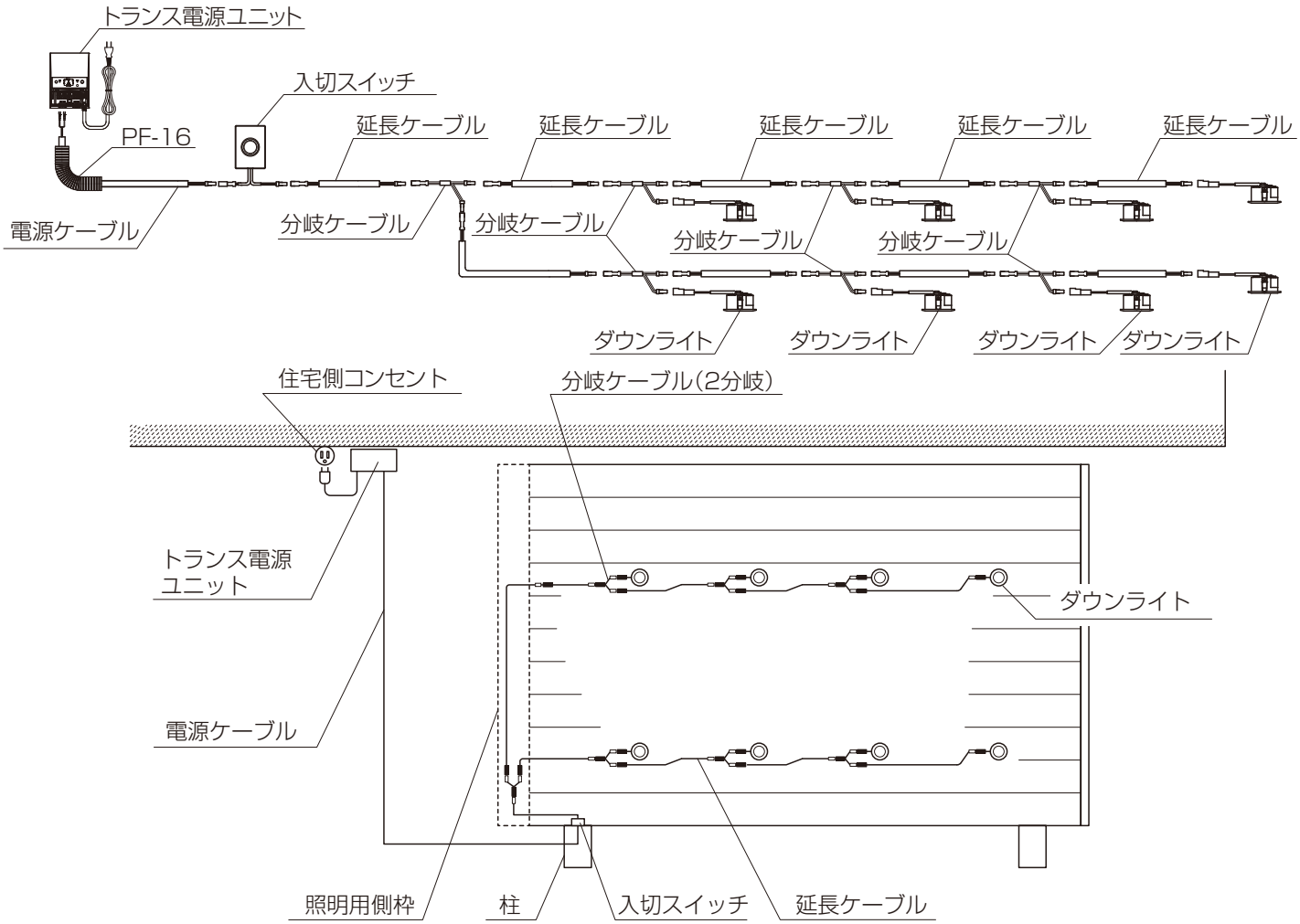
コネクタには向きがあります。
向きを間違えないよう、
接続してください。



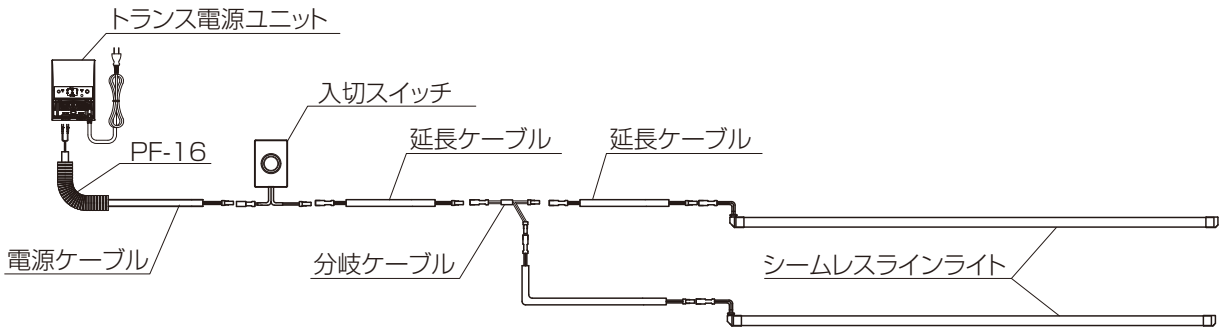
■照明器具へ（入切スイッチあり仕様）

【配線イメージ】

●ダウンライト



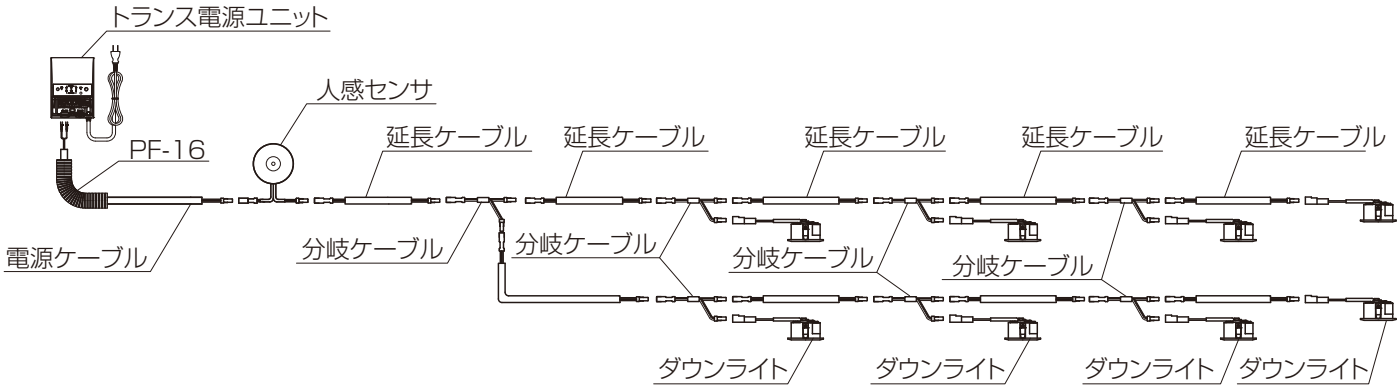
●シームレスラインライト

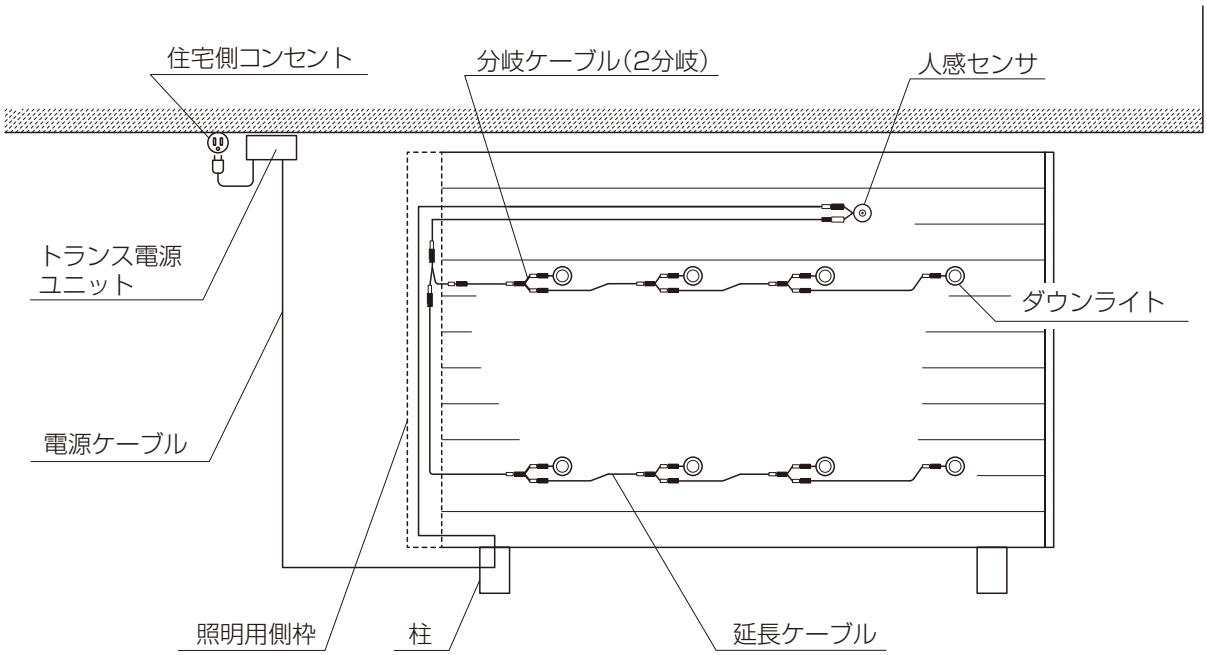


■照明器具へ（人感センサ1個あり仕様）

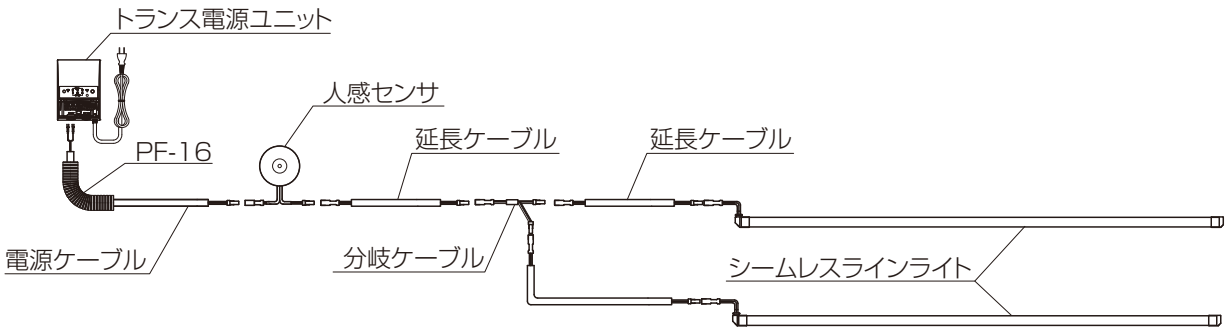
【配線イメージ】

●ダウンライト





●シームレスラインライト



3 照明器具・人感センサの取付け

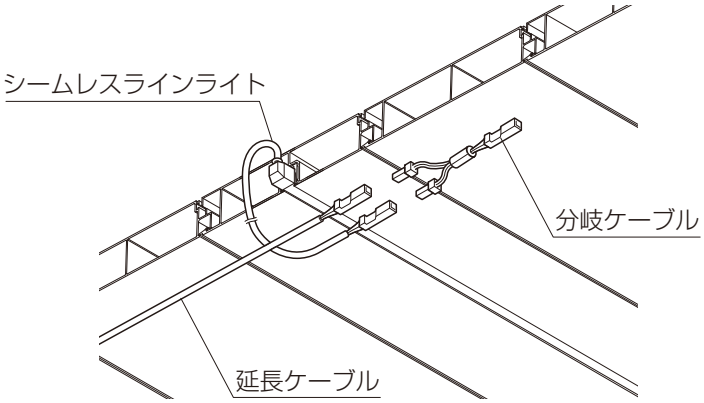
□ シームレスラインライトの場合

＜単独（終端）の取付け＞

①電源ケーブルのコネクタ(凸型)と、シームレスラインライトのコネクタ(凹型)を接続してください。

＜複数（中間）の取付け＞

①延長ケーブルのコネクタ(凸型)と、分岐ケーブルのコネクタ(凹型)を接続してください。
②延長ケーブルのコネクタ(凹型)と、分岐ケーブルのコネクタ(凸型)を接続してください。
③分岐ケーブルのコネクタ(凸型)とシームレスラインライトのコネクタ(凹型)を接続してください。

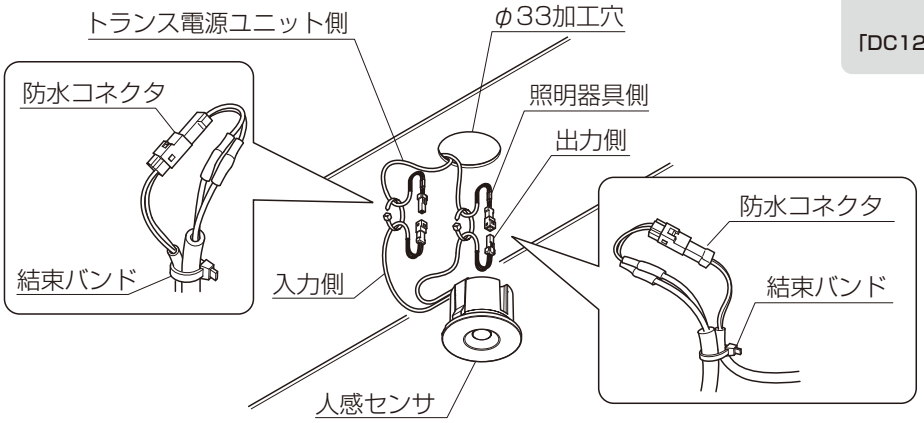


□ 人感センサの場合

①「DC12V 人感センサ 取付説明書(EXM-093)」を参照して、人感センサを屋根に取り付けてください。

人感センサの動作確認と検知範囲の調整方法、または人感センサのスタンド取付の場合、下記の取付説明書を参照してください。

「DC12V人感センサ 取付説明書(EXM-093)」



補 足

防水コネクタが抜けるのを防ぐため、必ず結束バンドで固定してください。

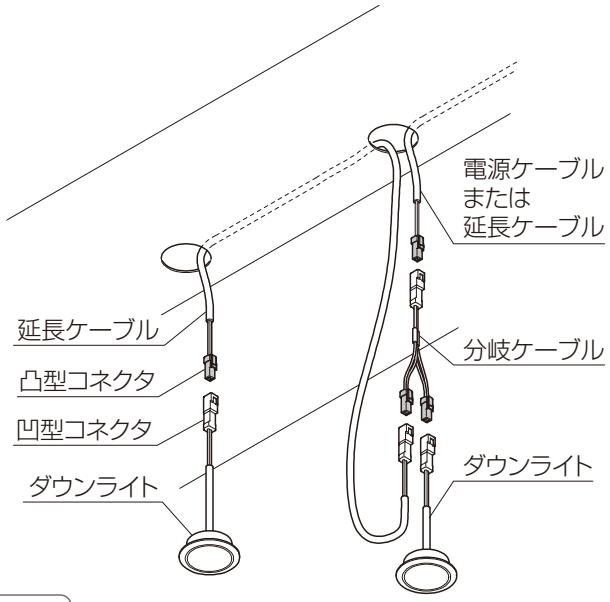
□ ダウンライトの場合

＜単独（終端）の取付け＞

①屋根材加工穴から出ている延長ケーブルのコネクタ(凸型)と、ダウンライトのコネクタ(凹型)を接続してください。
②ダウンライトを屋根材に取り付けてください。

＜複数（中間）の取付け＞

①屋根材加工穴から出ている延長ケーブルのコネクタ(凸型)と、分岐ケーブルのコネクタ(凹型)を接続してください。
②屋根材加工穴から出ている延長ケーブルのコネクタ(凹型)と、分岐ケーブルのコネクタ(凸型)を接続してください。
③分岐ケーブルのコネクタ(凸型)とダウンライトのコネクタ(凹型)を接続してください。
④ダウンライトを屋根材に取り付けてください。



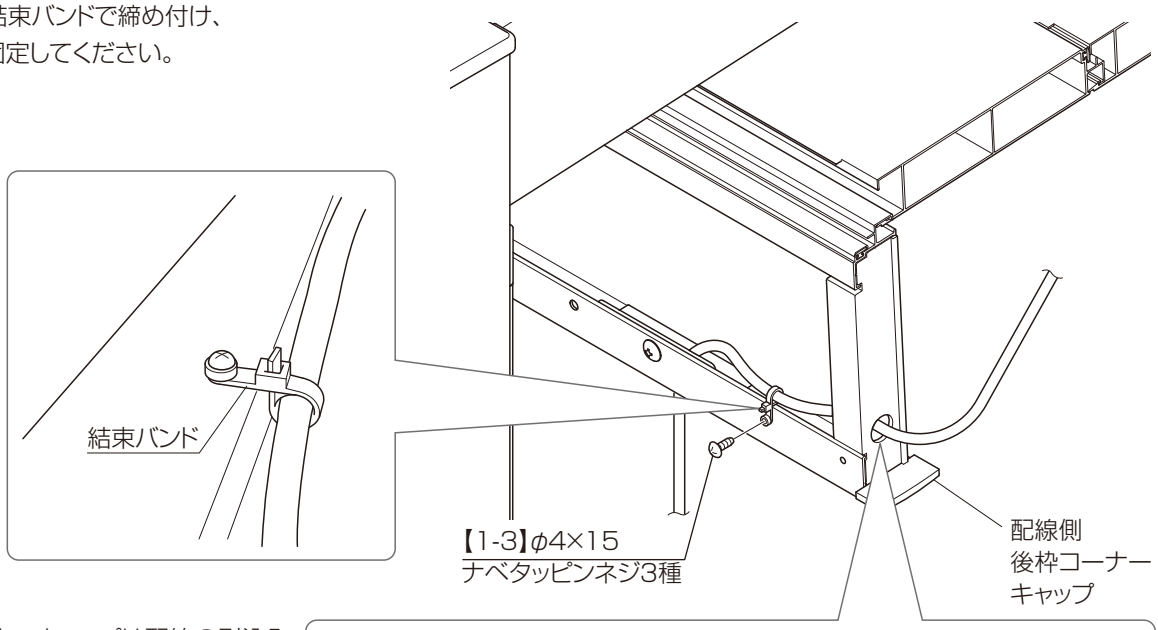
お願い

配線が完了した段階で灯具の点灯確認をしてください。

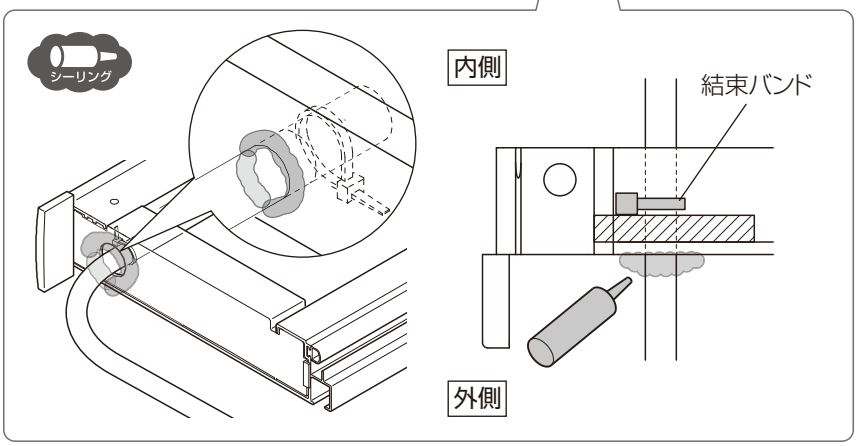
チェック欄 ●灯具の点灯を確認しましたか？

4 後枠の施工

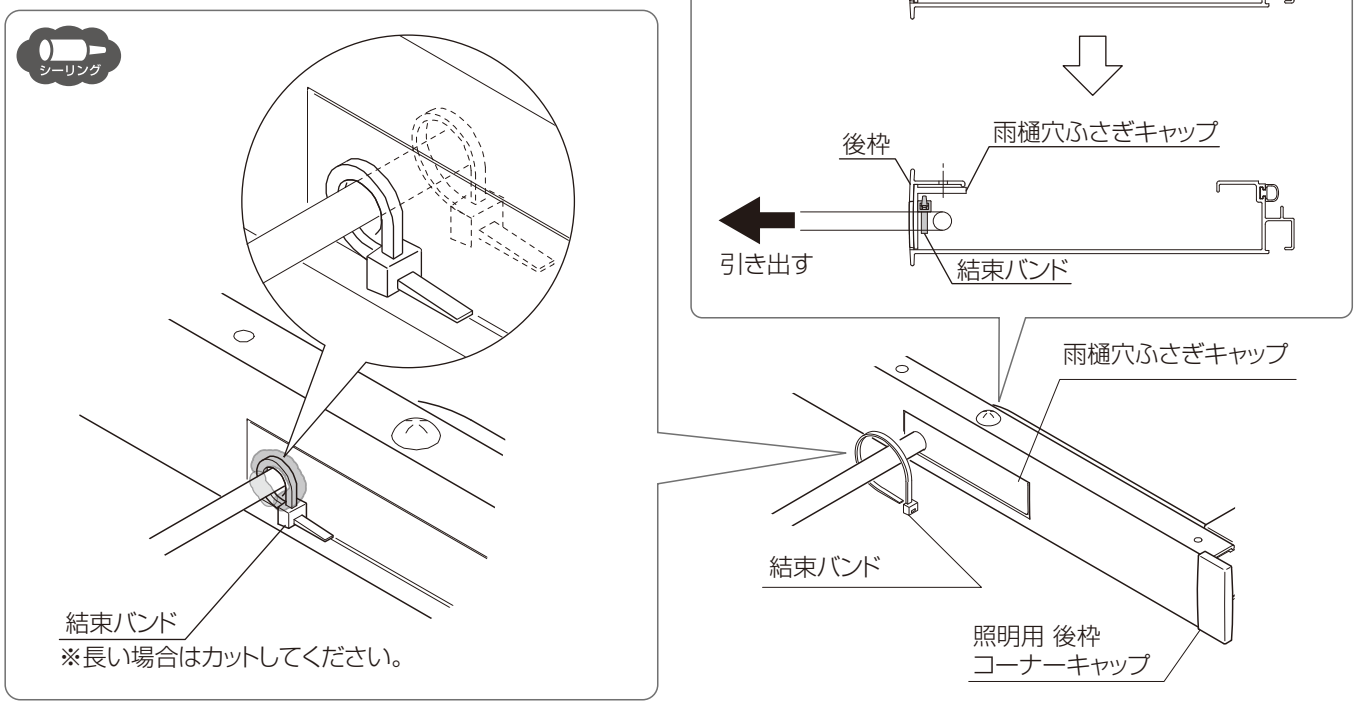
①配線ケーブルを結束バンドで締め付け、
【1-3】で後枠に固定してください。



②照明用後枠コーナーキャップは配線の引込み調整後、キャップ内側を結束バンドで締付け、外側の電源ケーブル周りをシーリングしてください。



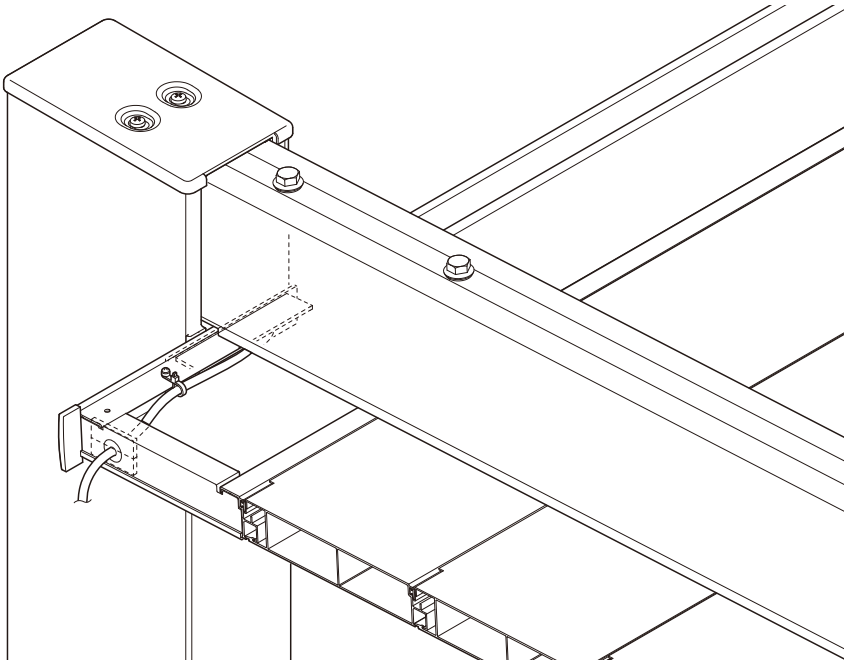
③雨樋穴ふさぎキャップ内側を結束バンドで締付け、後枠外側へ引き出してください。
引き出し後、雨樋穴ふさぎキャップ外側を結束バンドで締付け、電源ケーブル周りをシーリングをしてください。



④「テラスSC　基本･連棟」の取付説明書を参照して、
前枠、屋根材と後枠を施工してください。

本体の施工は、
下記の取付説明書を参照してください。

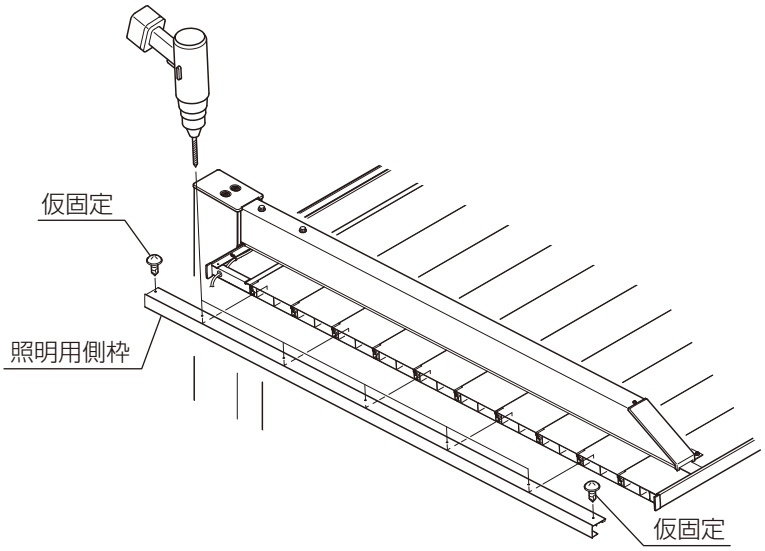
「テラスSC 基本･連棟 取付説明書（N005）」



⑤照明用側枠を、組立完了した屋根に仮固定し、屋根材へ写し穴でφ3.5の下穴加工をしてください。

お願い

照明用側枠を仮止めする際、ケーブルに傷をつけないように下穴加工してください。



5 照明用側枠の取付け

①屋根材端部と照明用 後枠コーナーキャップの上部にシーリングしてください。
②垂れ下がっているケーブルを、照明用側枠内に受け入れてください。
③照明用側枠内部に収納したまま、照明用側枠を屋根材に組付けてください。

補 足

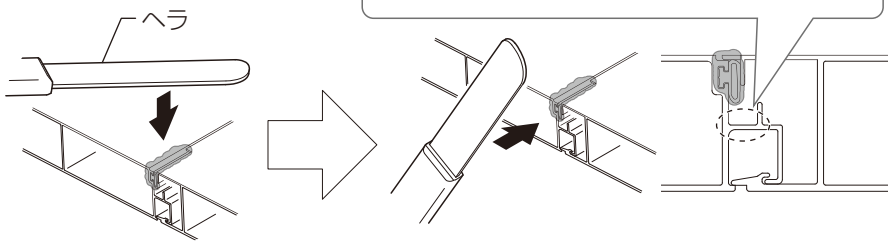
シームレスラインライトの場合、両側に照明用側枠を使用します。

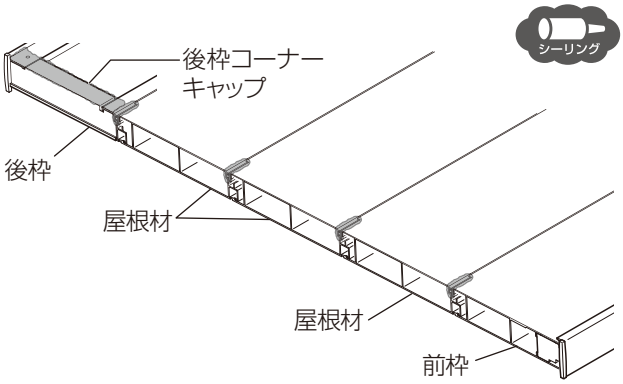
お願い

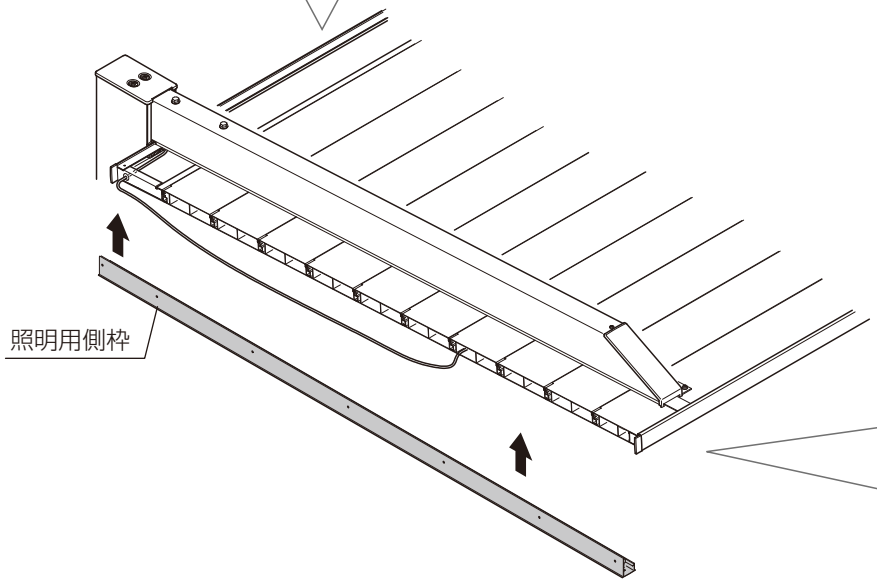
シーリングはヘラ等で押えて密着させてください。

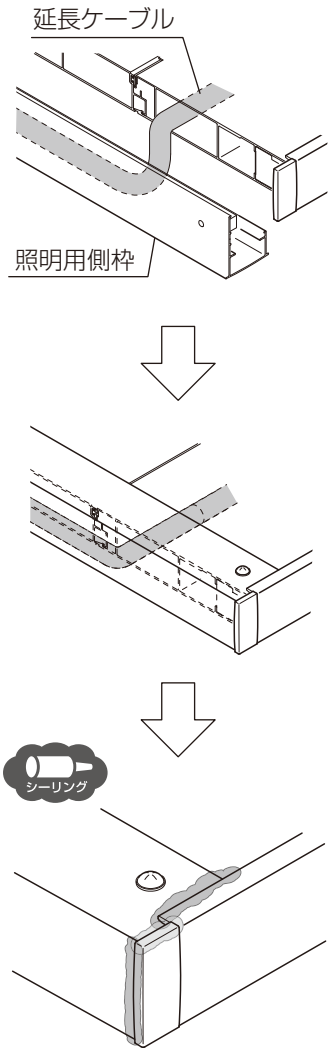
お願い

破線部分にシーリングしないようにしてください。

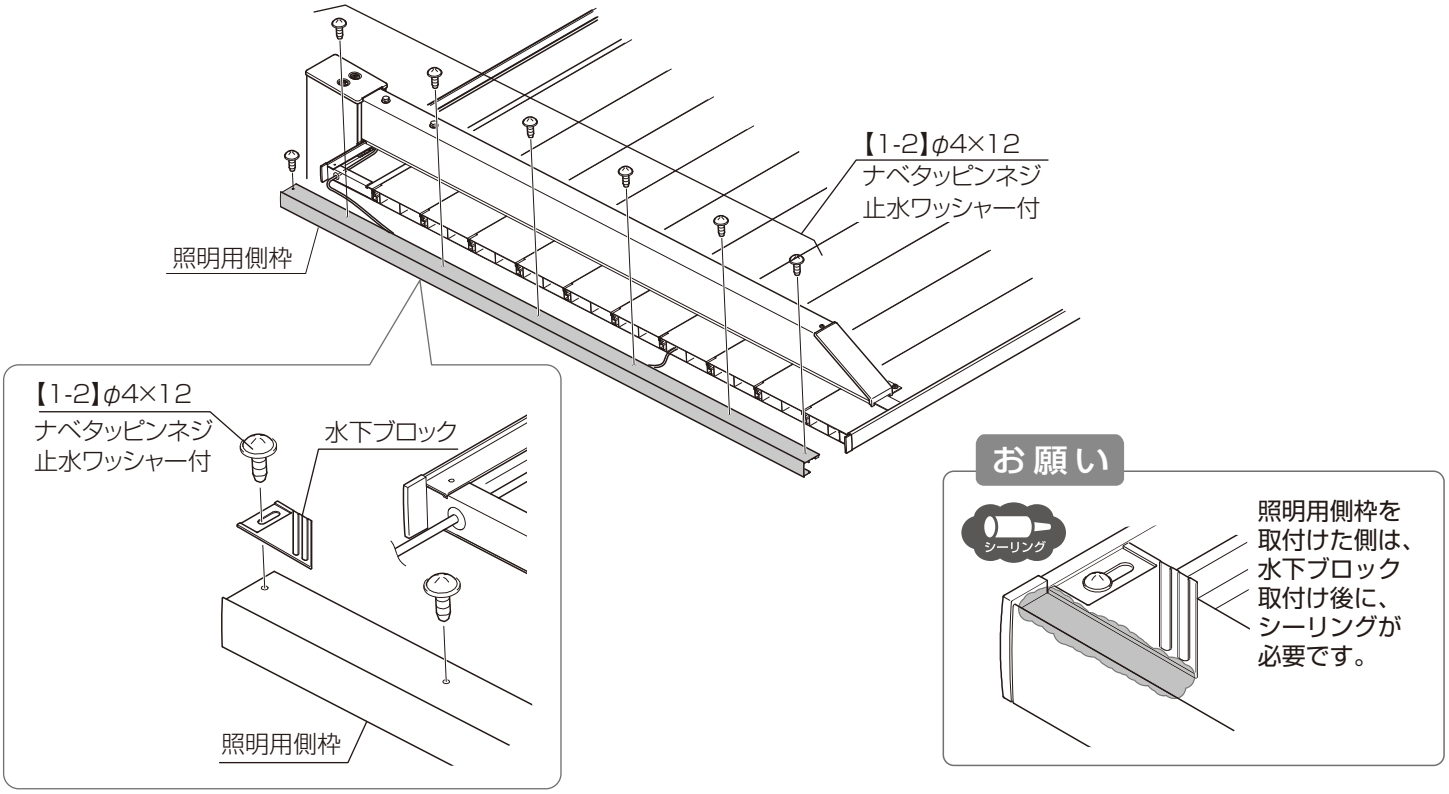








④照明用側枠がしっかり組付いていることを確認し、【1-2】で取付けてください。
⑤照明用 前枠コーナーキャップにシーリングしてください。



MEMO

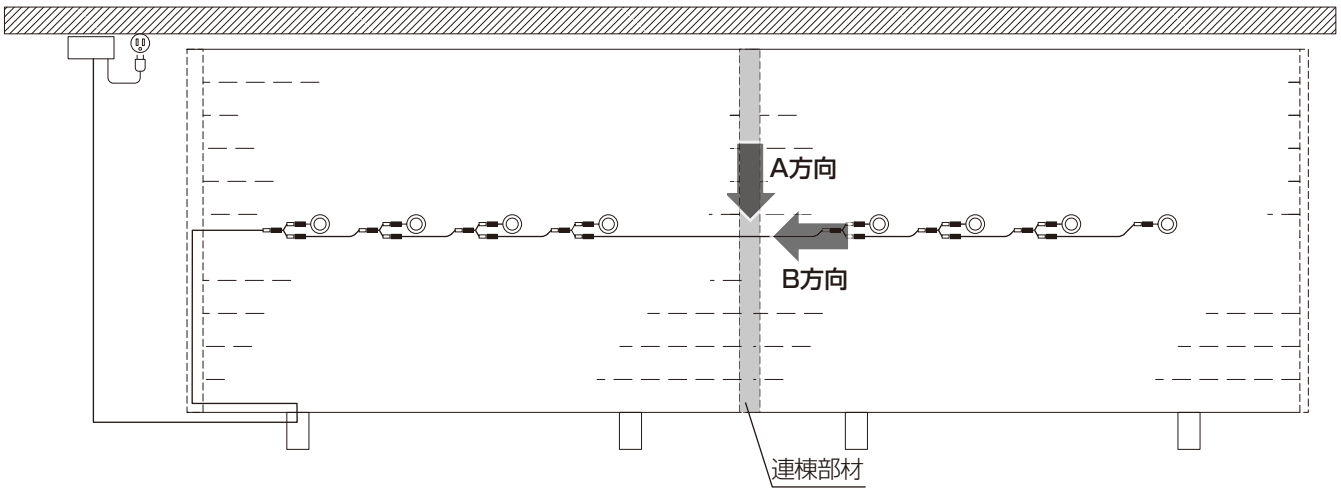
6 連棟部の施工

構造の確認

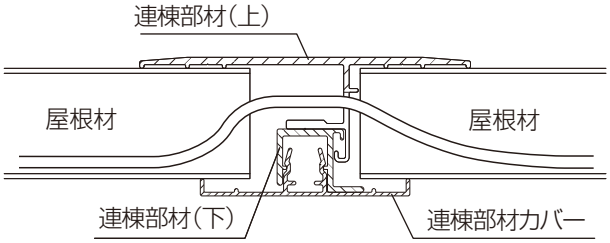
本体の施工は、
下記の取付説明書を参照してください。

「テラスSC 基本・連棟 取付説明書(N005)」

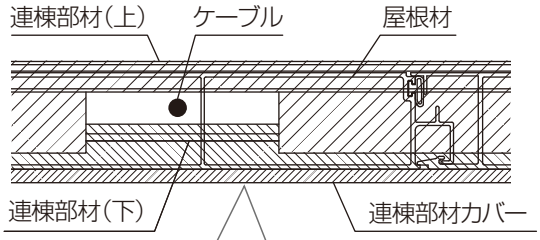
〈ダウンライトの場合〉

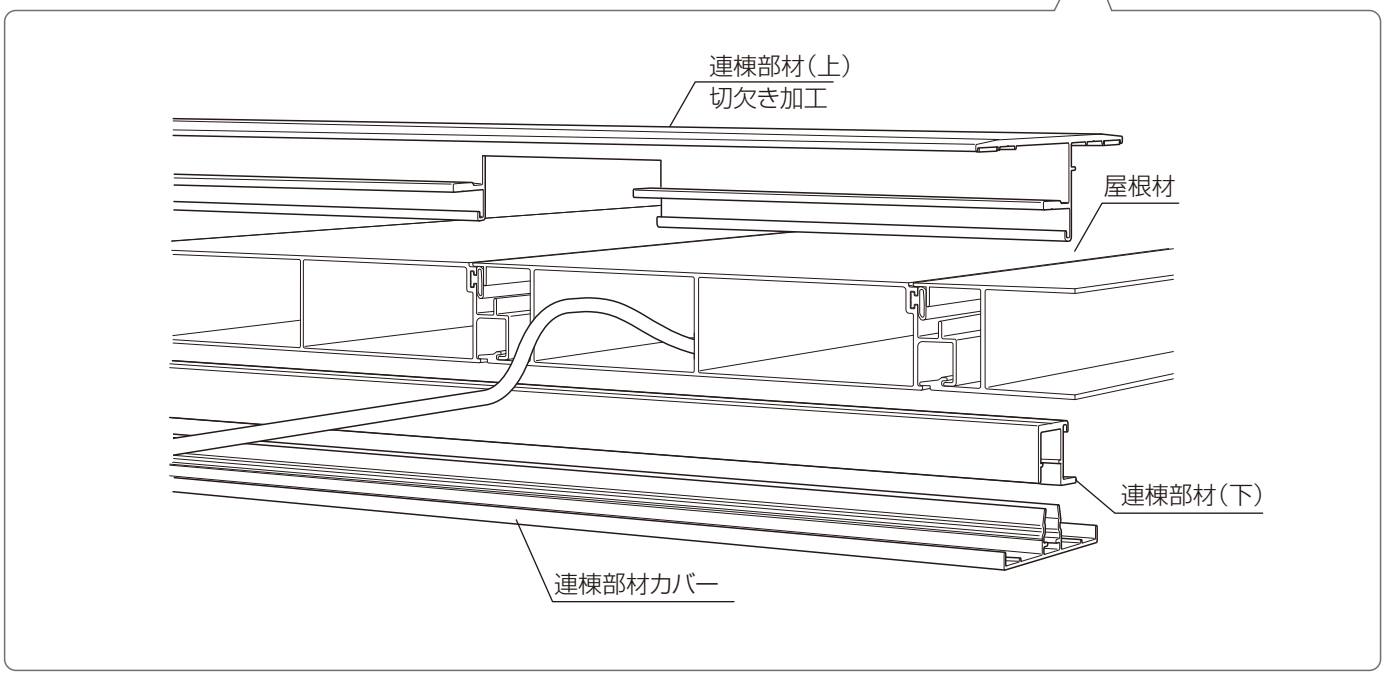


A方向から見る

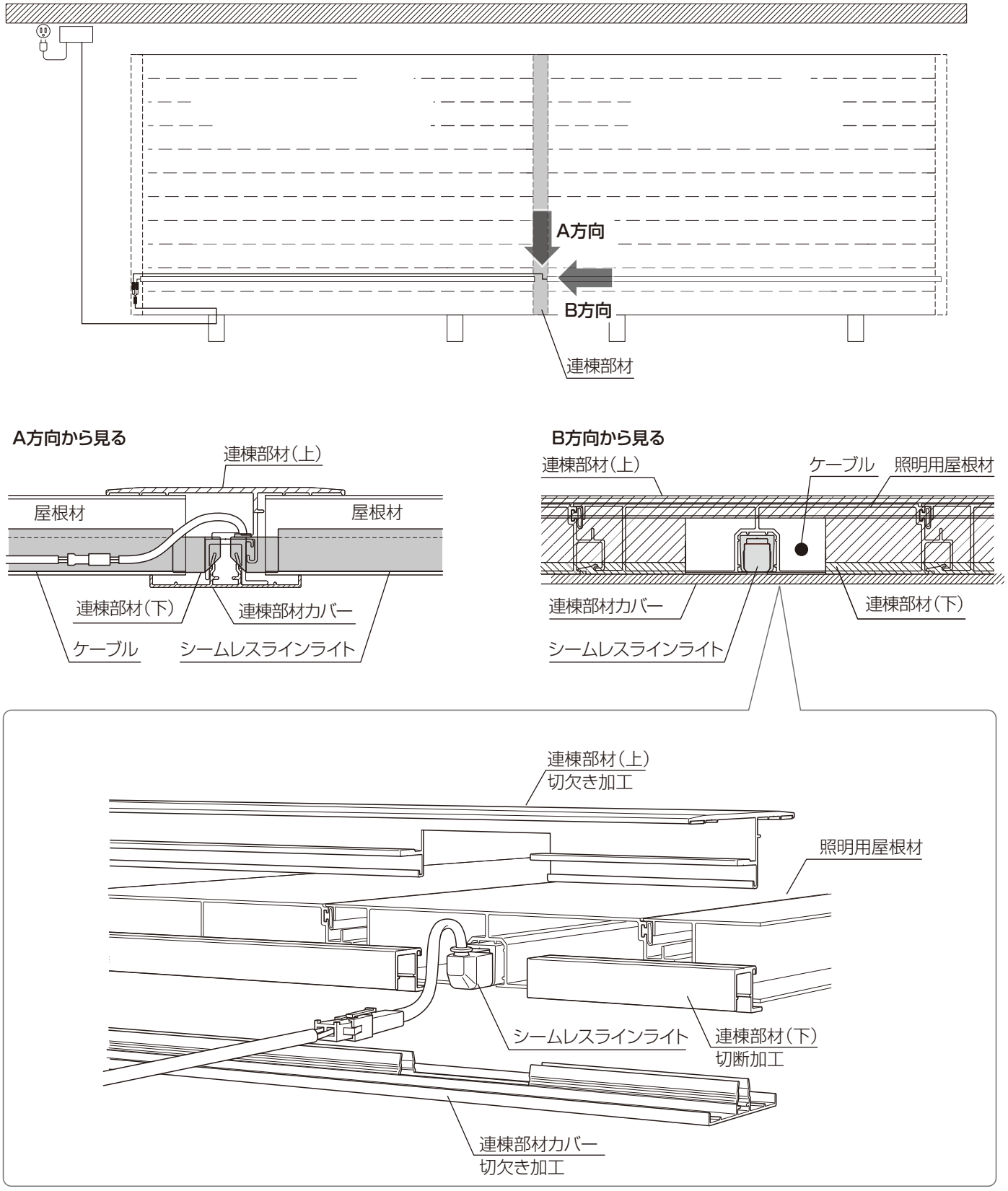


B方向から見る





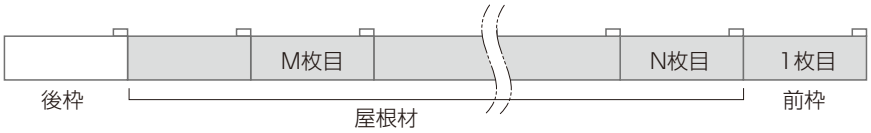
〈シームレスラインライトの場合〉



部材の加工

①幅方向の照明取付位置は、後枠を1列目として「照明器具を取付ける屋根材」が何列目になるか確認してください。

②連棟部材に配線･シームレスラインライト用の切り欠きを加工してください。



計算式
A=(N-2)×149+190 B=(M-2)×149+190

※切り欠きが3箇所以上必要な場合も同様に計算してください

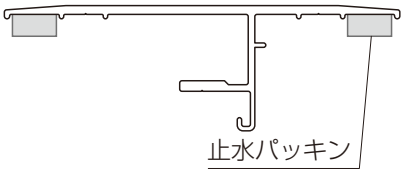
【計算例:屋根材3枚目と10枚目に照明がある場合】
屋根材3枚目の切り欠き加工寸法 …… (3-2)×149+190=339
屋根材10枚目の切り欠き加工寸法 …… (10-2)×149+190=1382

本体の施工は、
下記の取付説明書を参照してください。

「テラスSC 基本･連棟 取付説明書(N005)」

お願い

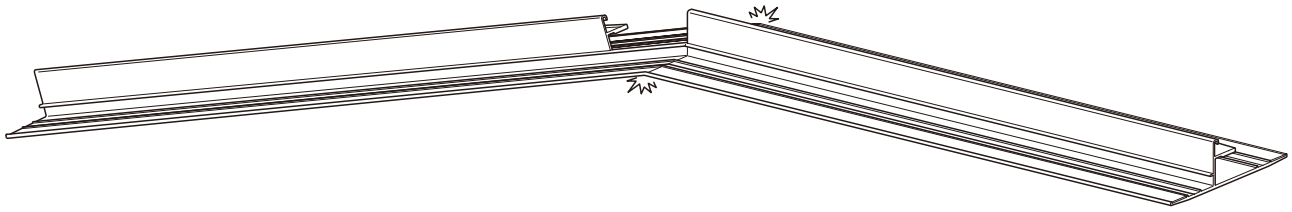
・止水パッキンを傷つけないように加工してください。
・切粉が止水パッキンに付着した場合、止水性が低下し、漏水に繋がることがあります。切粉が付着した場合は必ず除去してください。



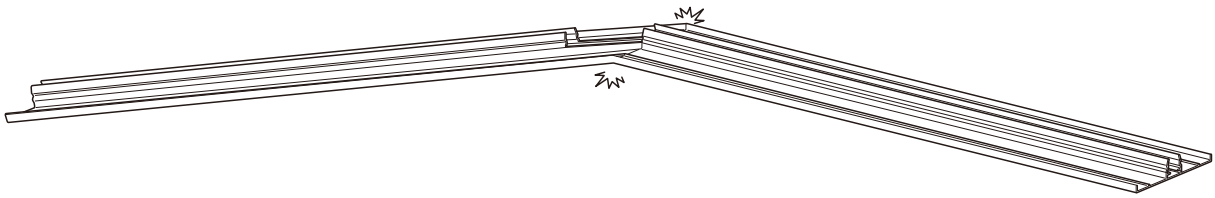
お願い

連棟部材の切欠き部は折れやすくなっているため、移動させる際には注意してください。

●連棟部材(上)

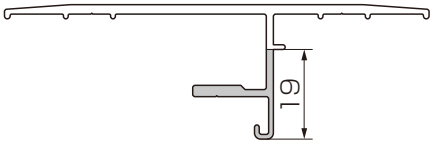


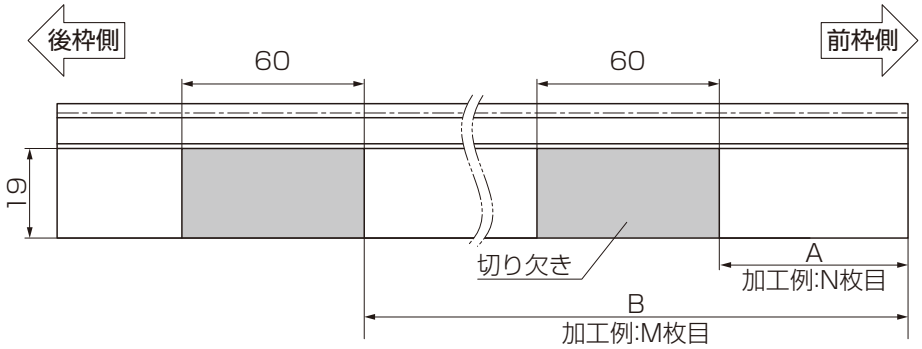
●連棟部材カバー



〈ダウンライトの場合〉

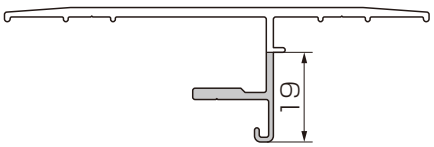
●連棟部材(上)

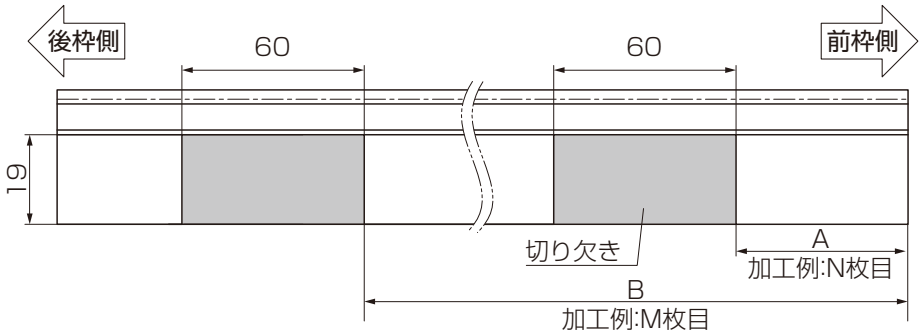




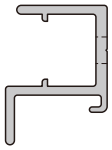
〈シームレスラインライトの場合〉

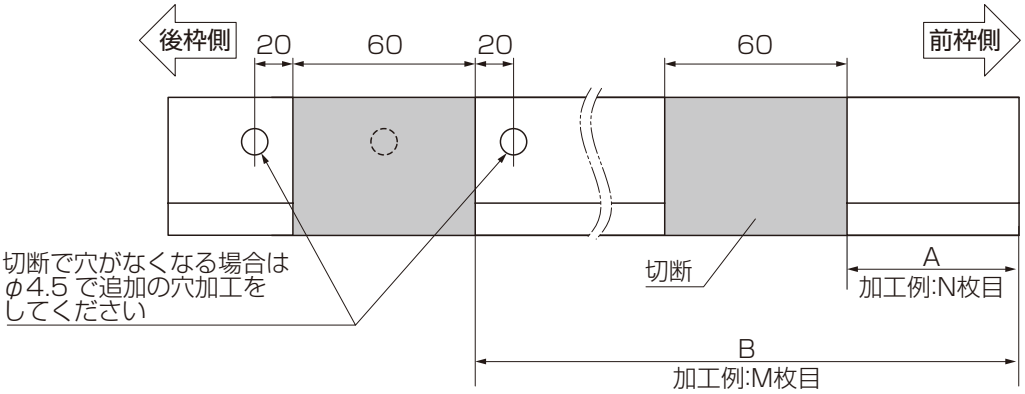
●連棟部材（上）



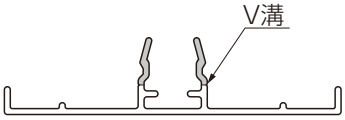


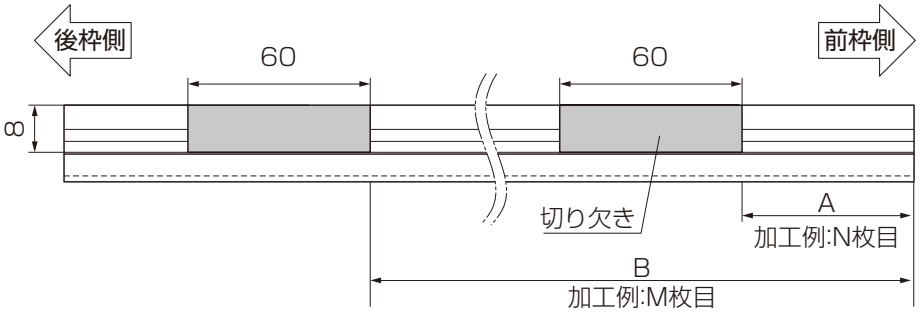
●連棟部材（下）



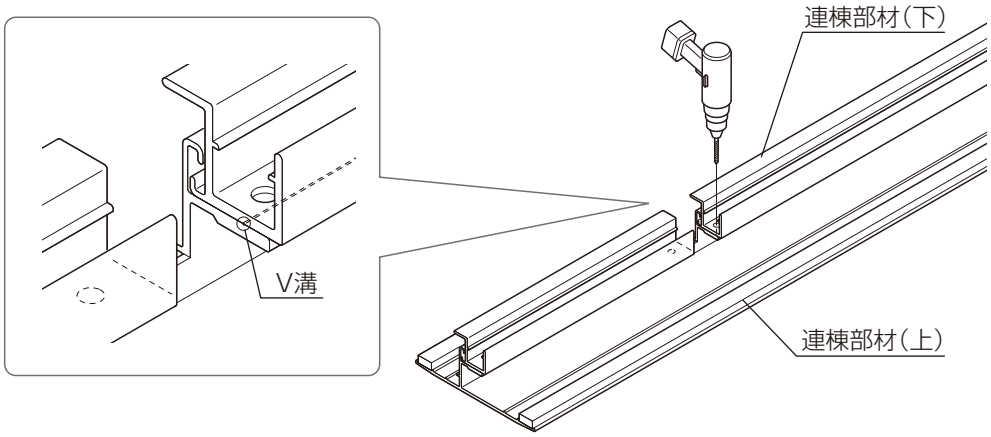


●連棟部材カバー



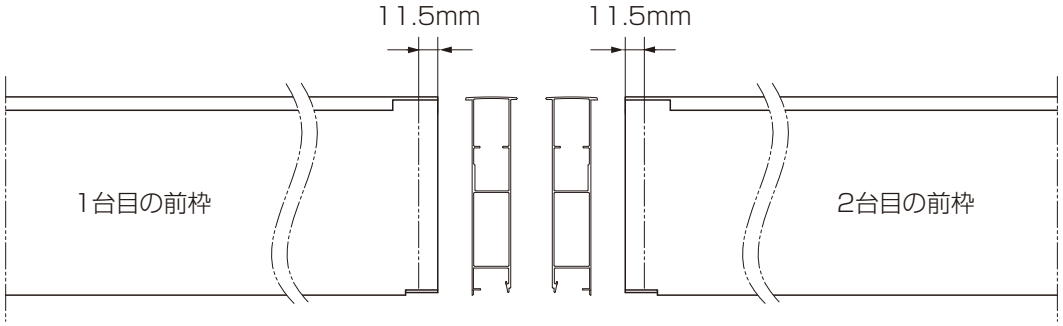


③連棟部材（上）の切り欠き端部と切断した連棟部材（下）の端部を合わせ、連棟部材（上）のV溝上に写し穴でφ3.5の下穴加工をしてください。



●前枠

①連棟部材を取付ける側の端部から11.5mmの位置にケガキを入れてください。



部材・部品の取付け

本体の施工は、
下記の取付説明書を参照してください。

「テラスSC 基本･連棟 取付説明書(N005)」

①後枠コーナーキャップの上部にシーリングしてください。

②連棟部材(上)を1台目の後枠の加工穴に【3-2】で取り付けしてください。

③連棟部材(上)の前枠固定用の穴の中央に前枠のケガキ線がくるように位置を調整してください。

④③の状態で1台目と2台目の前枠へ写し穴でφ3.5の下穴加工をしてください。

⑤連棟部材(上)を前枠の④で加工した下穴に【3-2】で取り付けてください。

⑥1台目の屋根材へ写し穴でφ3.5の下穴加工をしながら【3-2】で取り付けてください。

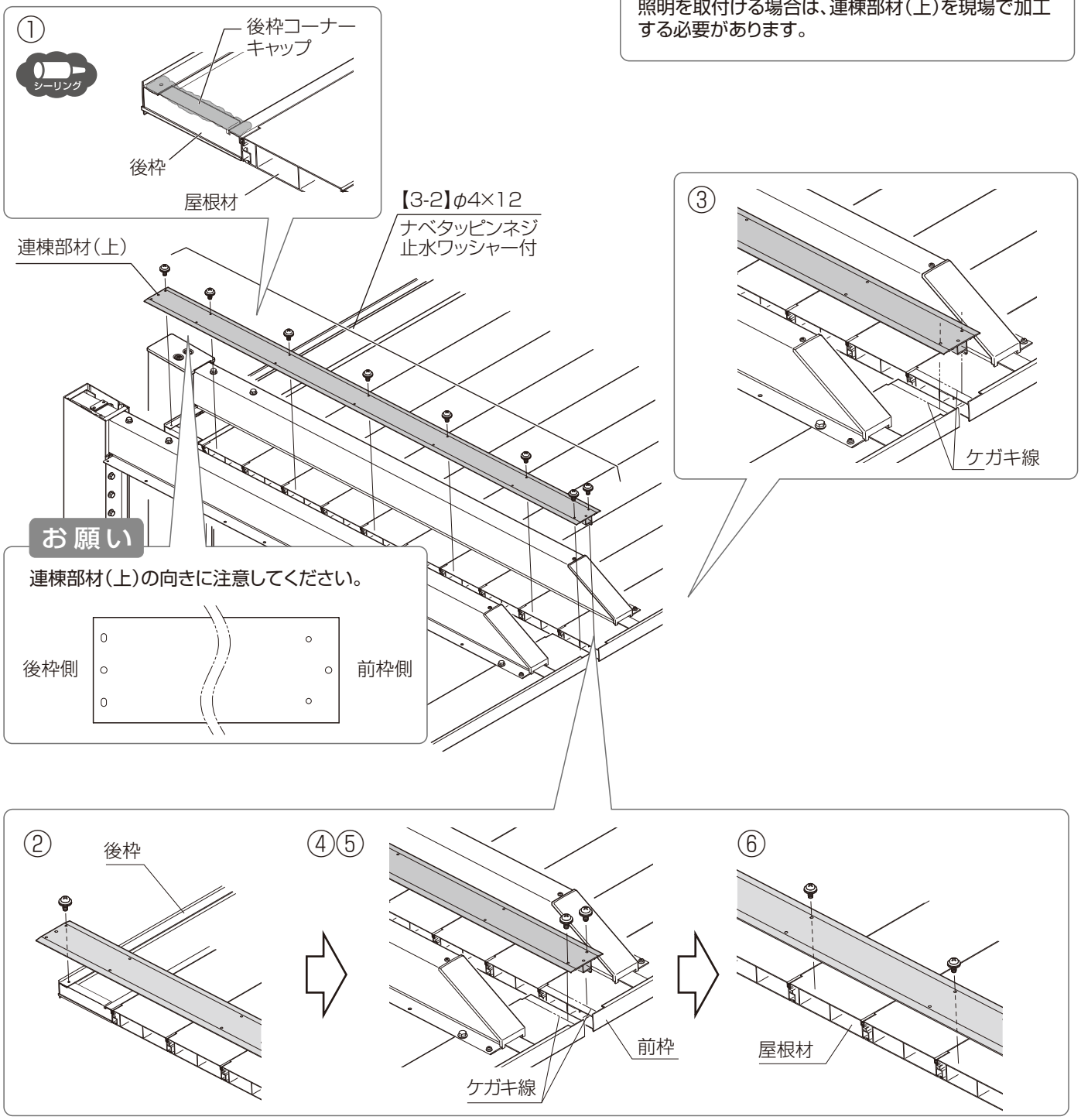
⑦本体の取付け説明書を参考に、2台目の屋根材と前枠を施工してください。その際に、連棟部材の加工穴を写し穴でφ3.5の下穴加工をしながら【3-2】で取り付けてください。

補 足

●後枠側の加工穴を基準に取り付けてください。
●先に後枠を固定し、前枠を固定することで連棟部材の位置出しをすることができます。

お願い

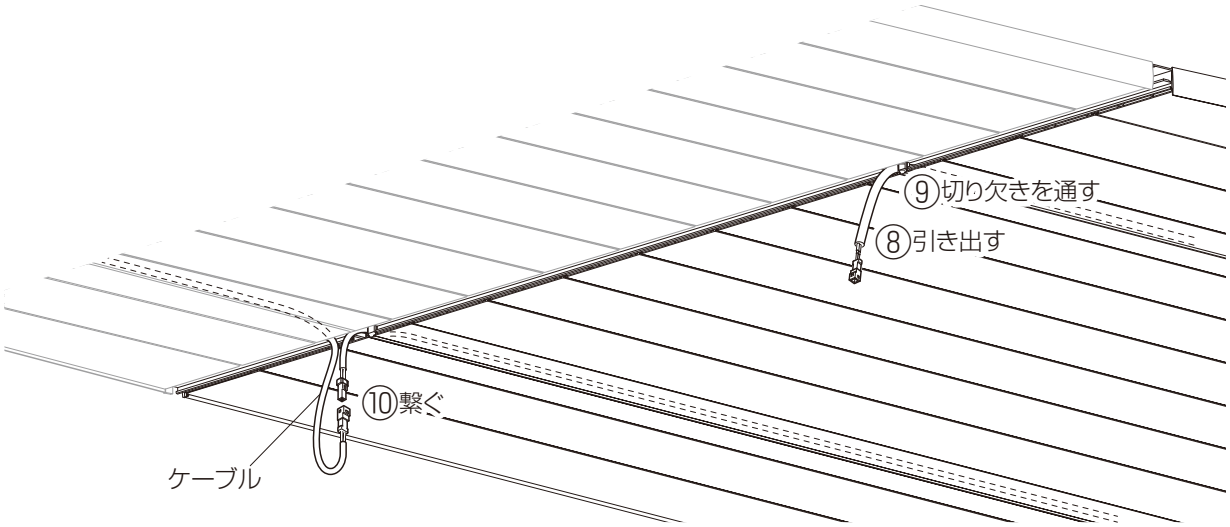
照明を取付ける場合は、連棟部材(上)を現場で加工する必要があります。



⑧ケーブルを屋根材の端部まで引き出してください。
⑨ケーブルを連棟部材(上)取付けの切り欠きを通してください。
⑩ケーブルを2台目の灯具と繋げてください。

本体の施工は、
下記の取付説明書を参照してください。

「テラスSC 基本･連棟 取付説明書(N005)」



お願い

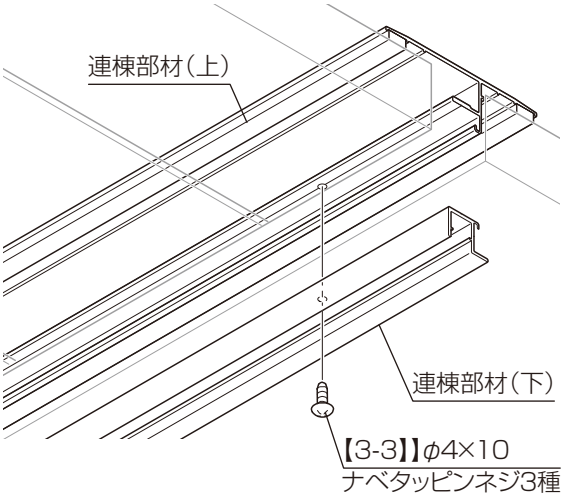
配線が完了した段階で灯具の点灯確認をしてください。

チェック欄

●灯具の点灯を確認しましたか？
※連棟部材（下）とカバーを施工後に配線を調整すると部材取外し時に変形してしまう可能性があります。

⑪連棟部材(下)を、連棟部材(上)に【3-3】で取り付けてください。

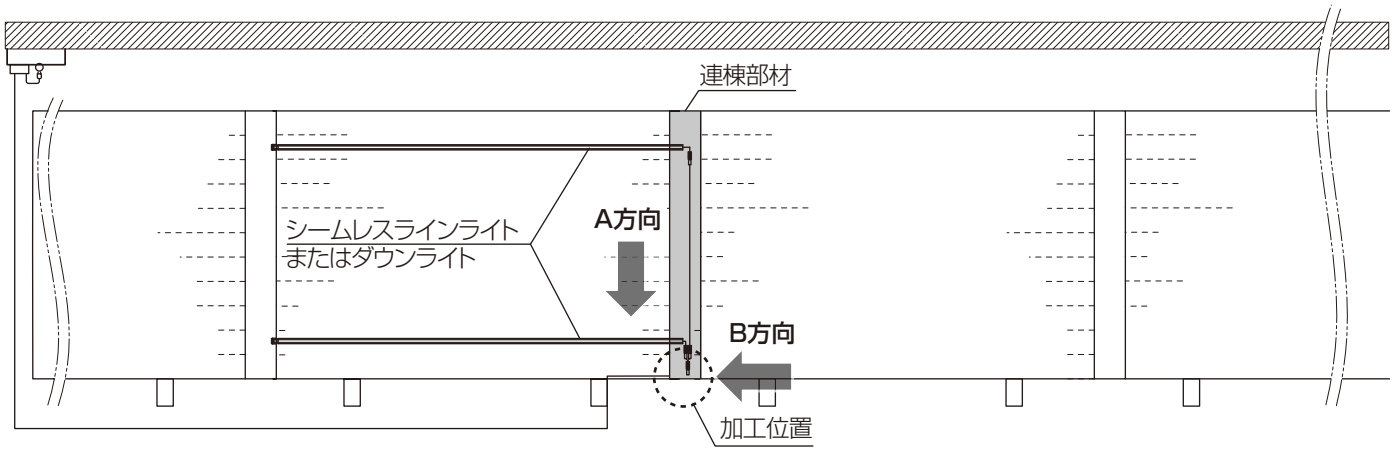
⑫本体の取付説明書を参照して、連棟部材カバーを連棟部材(下)に取り付けてください。



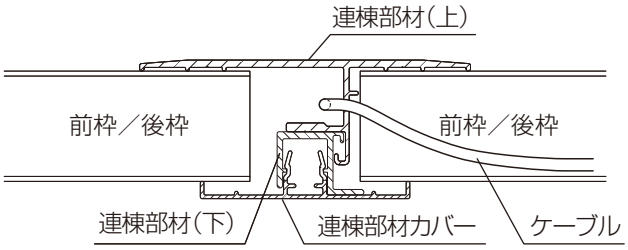
多連棟時の配線

1 配線と加工箇所の確認

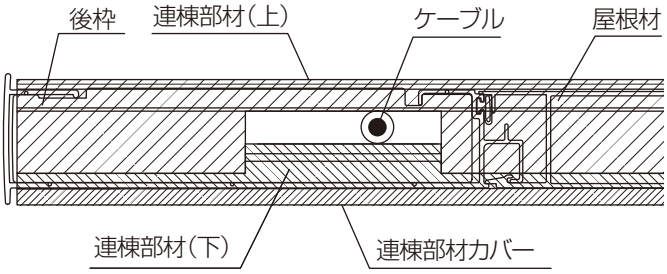
※図はシームレスラインライトで説明しています。



A方向から見る



B方向から見る

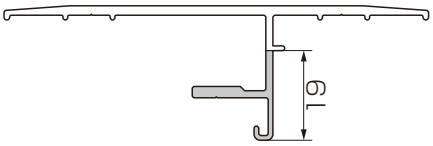


2 部材の加工

①P.32、P.33を参照し、照明取付け位置の確認と加工をしてください。

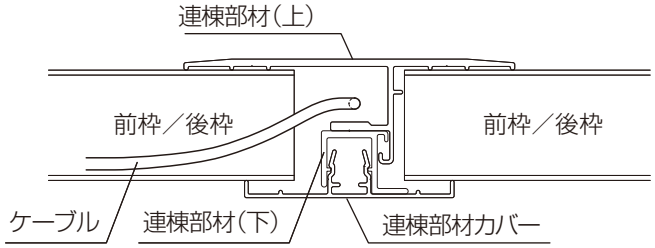
②連棟部材(上)の切欠き加工をしてください。

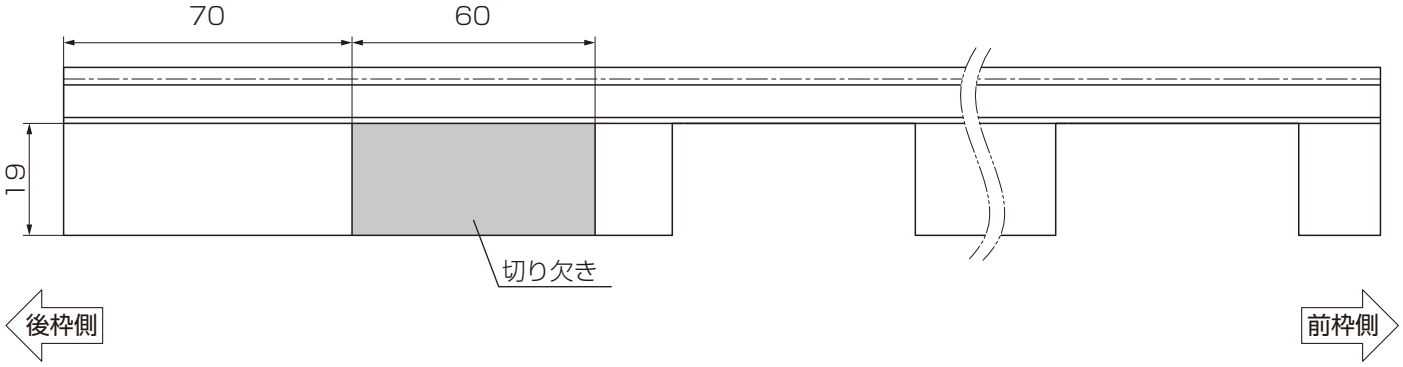
●連棟部材(上)



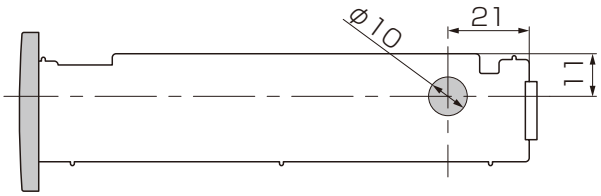
補 足

図の向きへ配線する場合は加工は不要です。





●照明用後枠コーナーキャップ



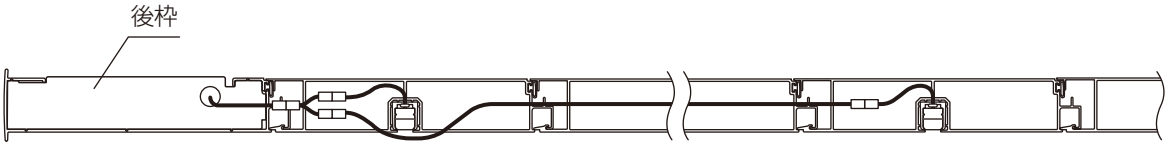
お願い

電源ケーブルが2本通る場合は、2箇所に穴開け加工してください。

3 部材・部品の取付け

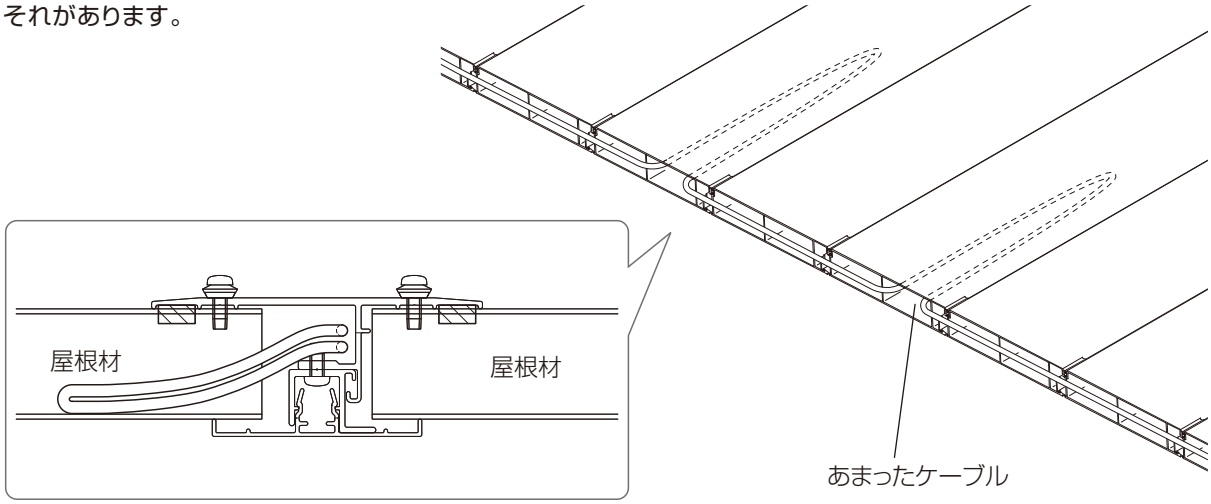
①P.34·35を参照し、部品·部材を取付けてください。

②連棟部材に沿って配線をしてください。



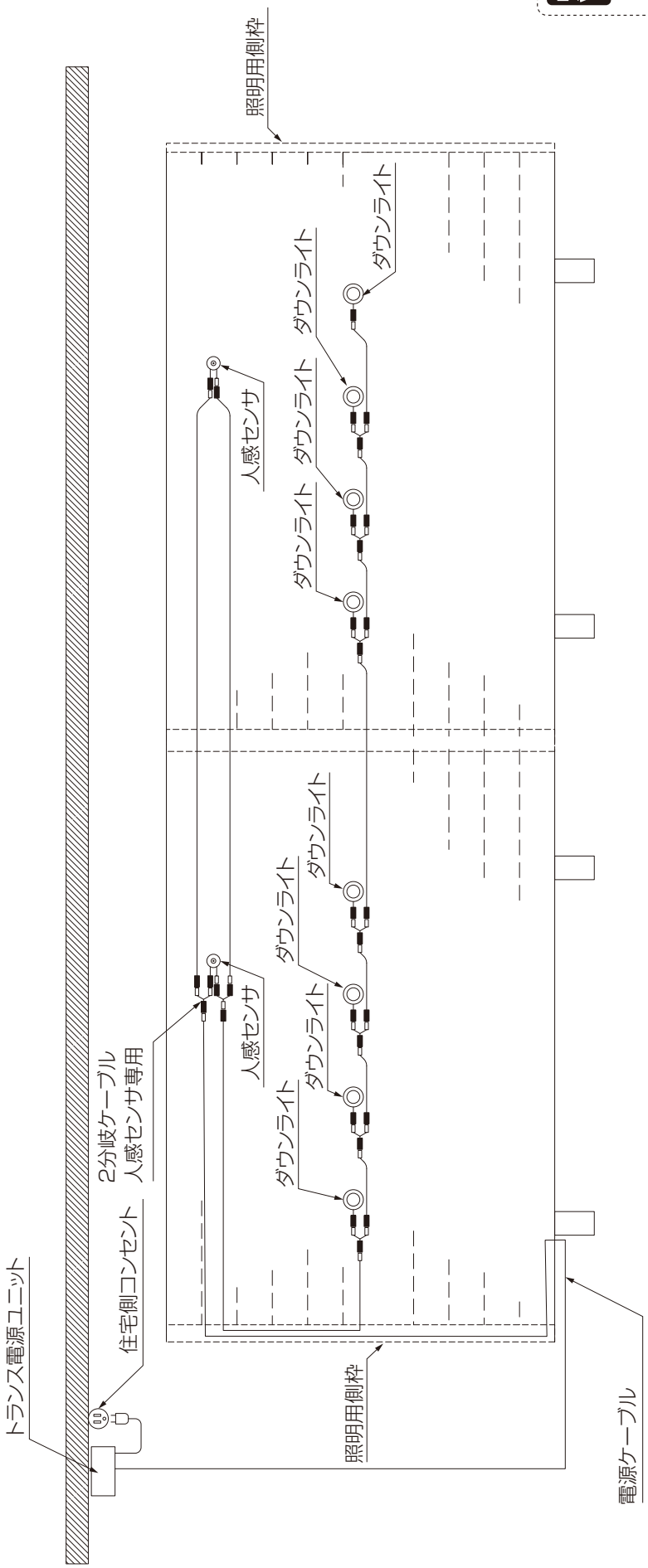
補 足

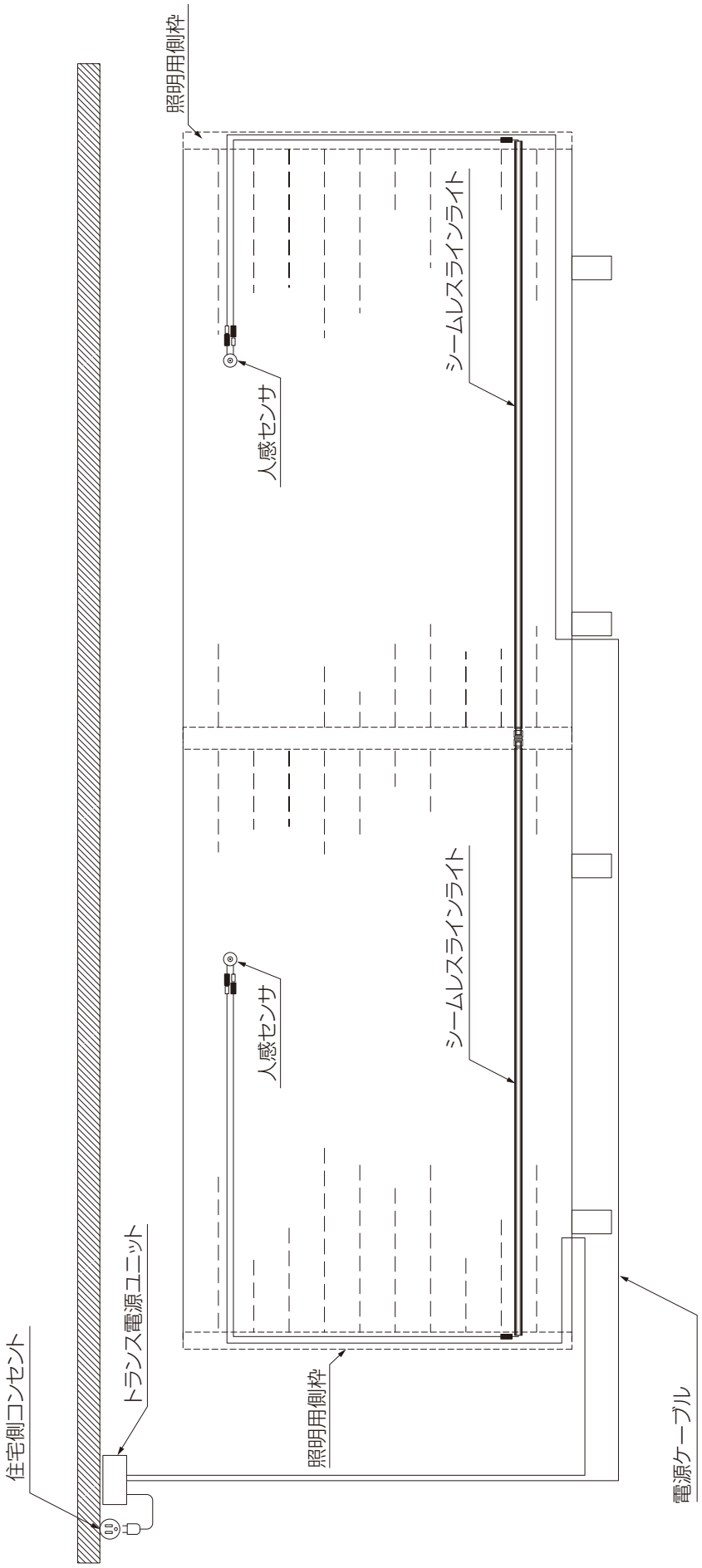
連棟部材に配線する場合、あまったケーブルを屋根材の中に収納することによって連棟部材カバーを取り付けやすくなります。あまったケーブルが垂れ下がったまま連棟部材カバーの取り付けをおこなうと、屋根材と連棟部材カバーにケーブルを挟むおそれがあります。



配線イメージ

カーポートSC照明プラン集を
スマートフォンなどで
確認できます。




住宅側コンセント
トランス電源ユニット
照明用側枠
人感センサ
シームレスラインライト
人感センサ
シームレスラインライト
照明用側枠
電源ケーブル

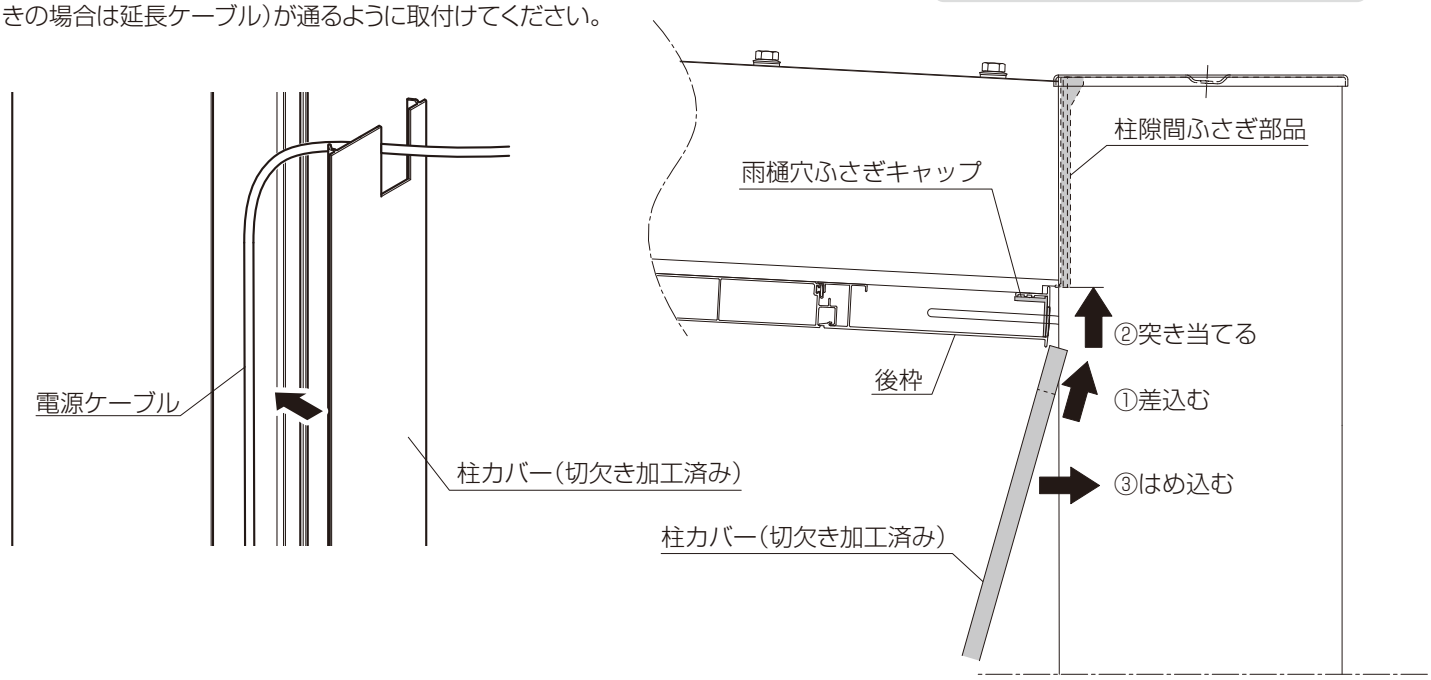
7 柱部取付け

下記のオプションを取付ける場合は、
下記の取付説明書を参照してください。

「テラス(デッキ接続)取付説明書(N007)」

<柱にスイッチを取付けない場合>

①柱カバー(切欠き加工済み)を、切欠き部分に電源ケーブル(入切りスイッチ付きの場合は延長ケーブル)が通るように取付けてください。



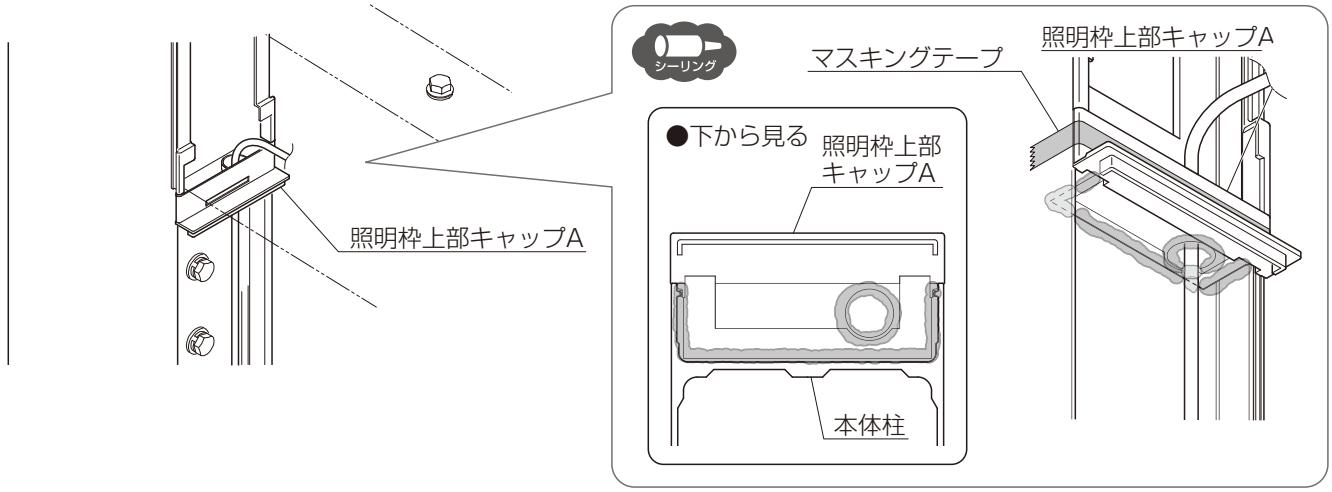
<柱にスイッチを取付ける場合>

①後枠から垂れ下がっている電源ケーブル(入切りスイッチ付きの場合は延長ケーブル)を照明枠上部キャップAに通し、柱に取付けてください。

②照明枠上部キャップAを柱隙間ふさぎ部品に突き当たるまでスライドさせてください。

③照明枠上部キャップAを本体柱にマスキングテープ等で仮止めしてください。

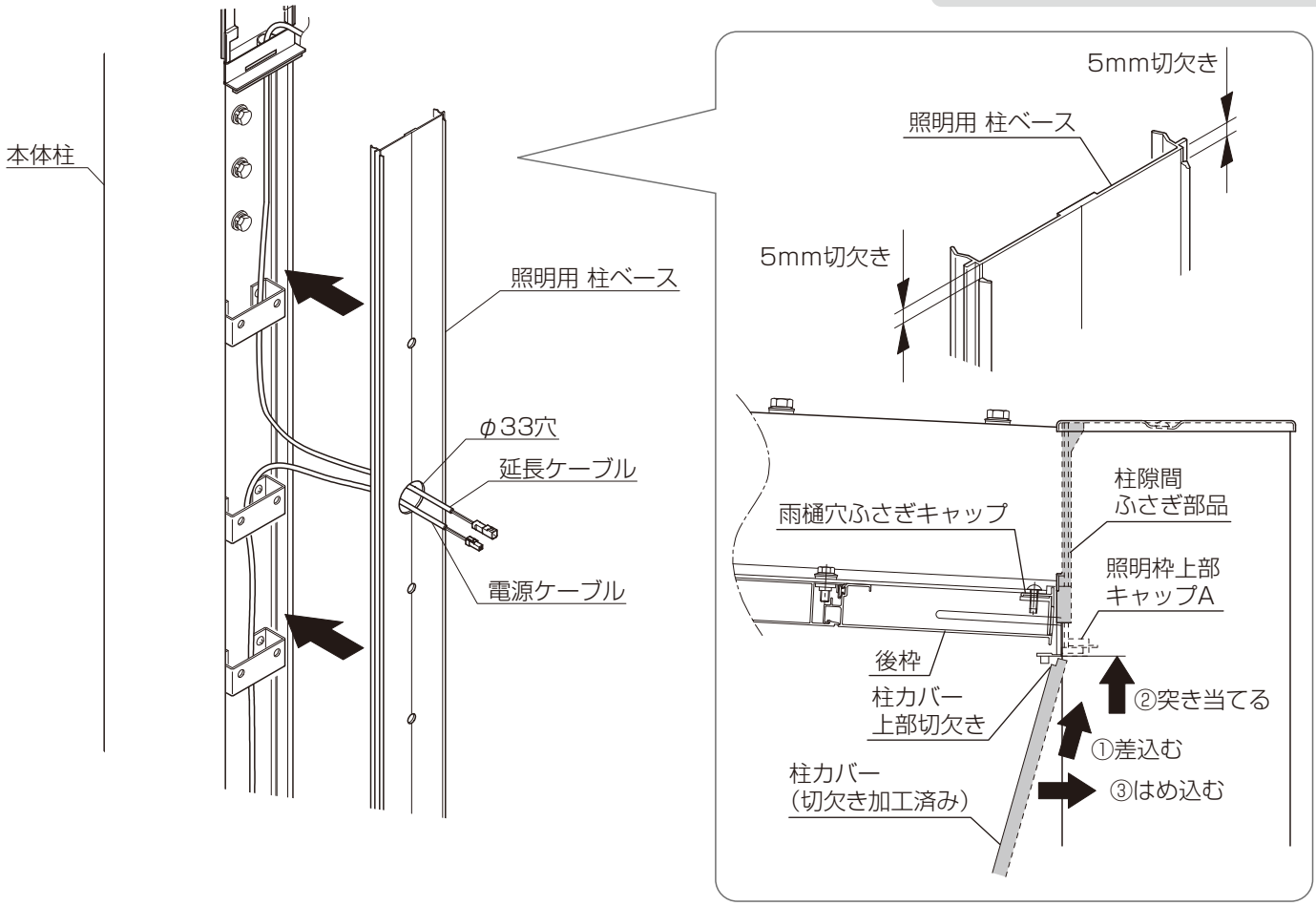
④照明枠上部キャップAの電源ケーブル(入切りスイッチ付きの場合は延長ケーブル)が通っている穴まわりと柱との接合部にシーリングしてください。



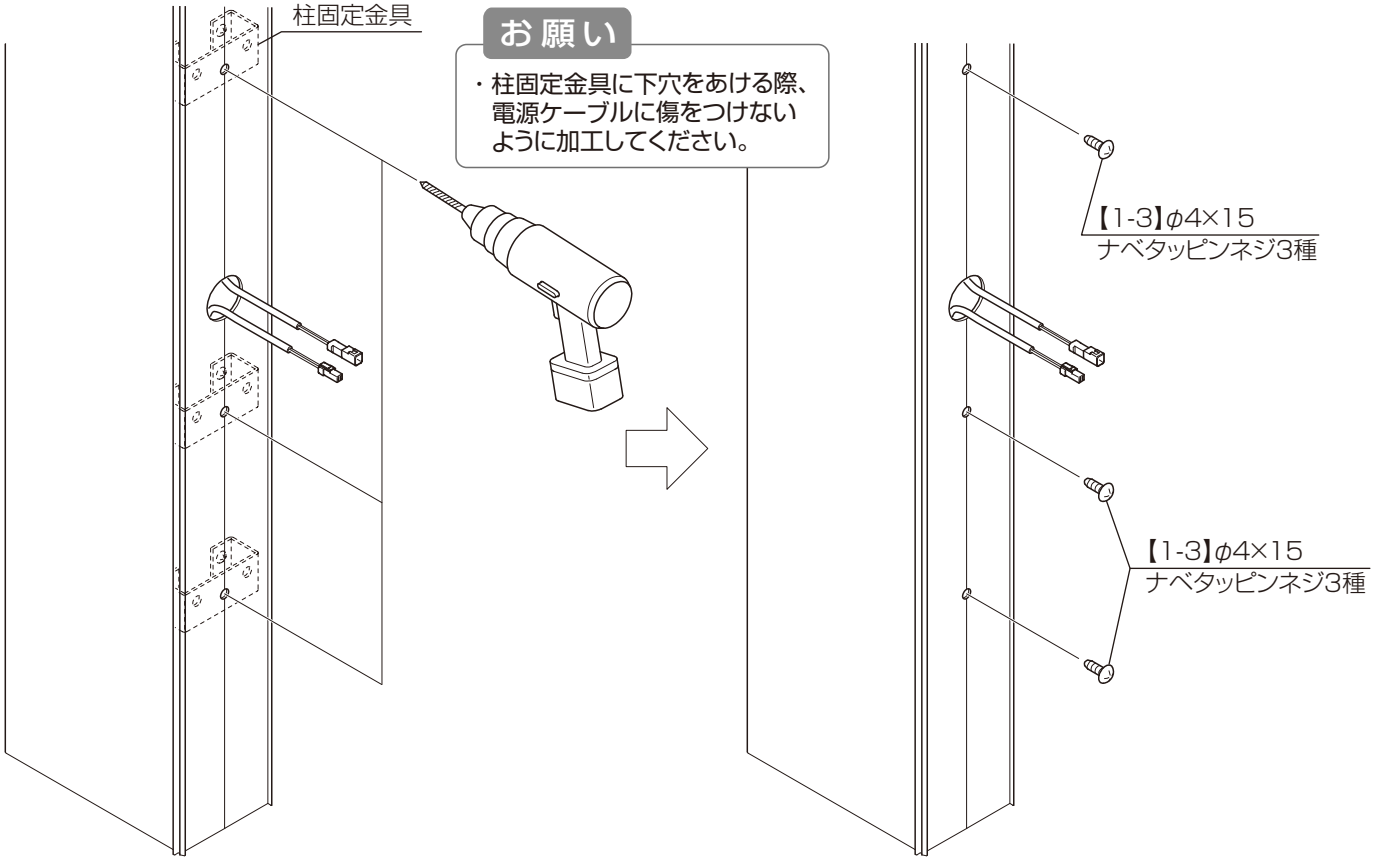
⑤照明用　柱ベースを5mmの切欠きを上側にして、電源ケーブル･延長ケーブルを
φ33の穴から引出し、本体柱にはめ込んでください。

下記のオプションを取付ける場合は、
下記の取付説明書を参照してください。

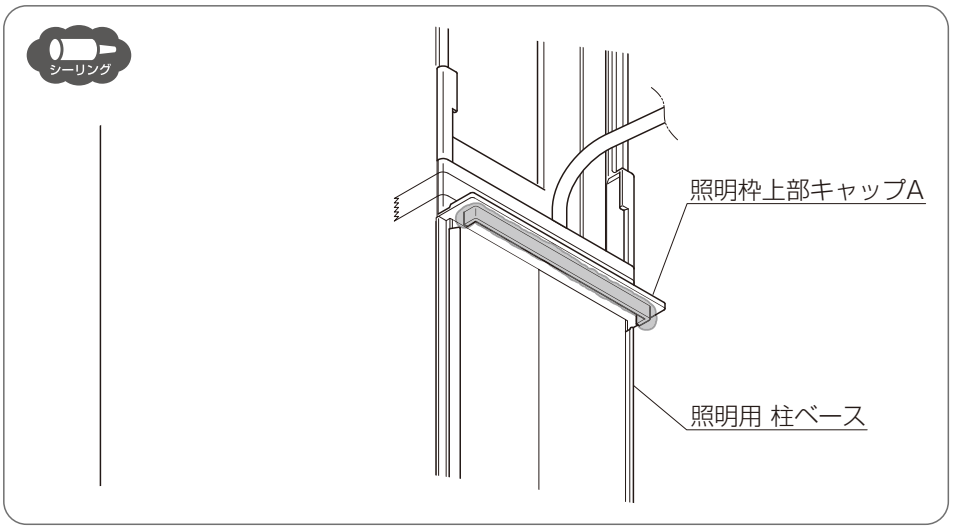
「テラス（デッキ接続）取付説明書（N007）」



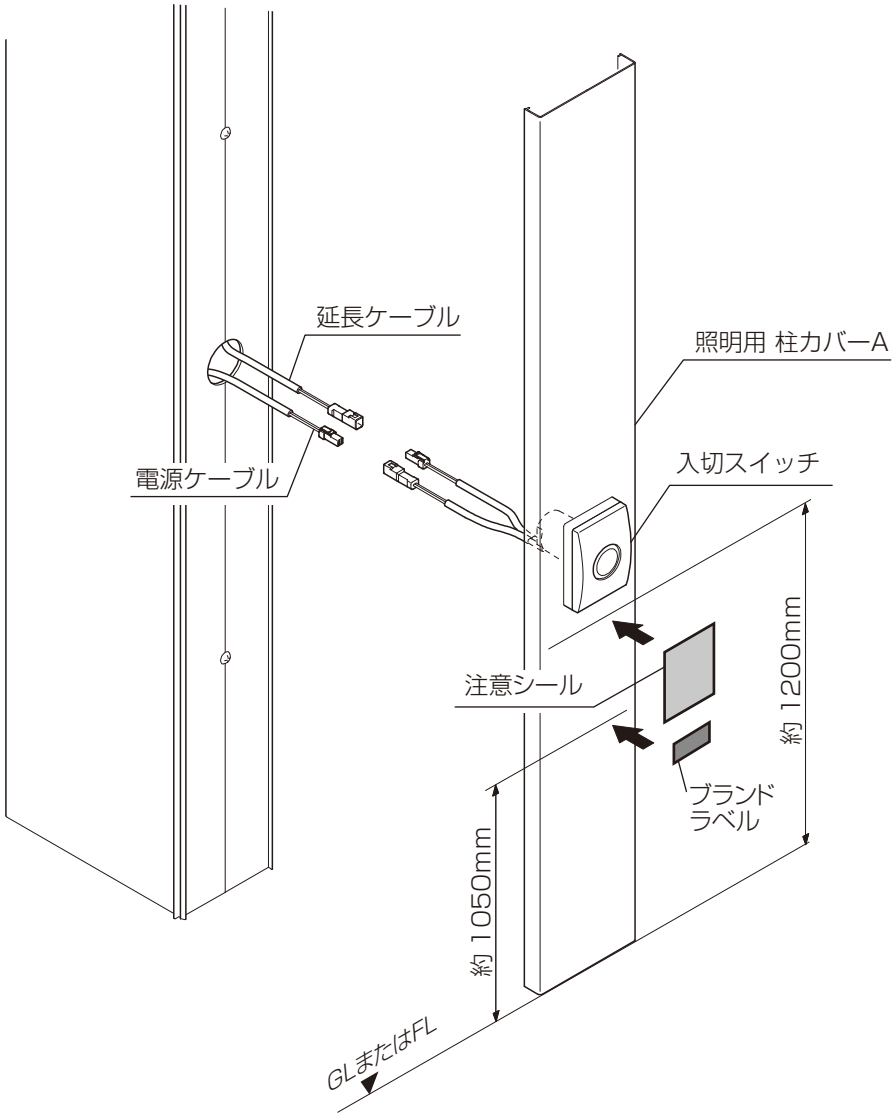
⑥照明用 柱ベースのφ5の穴を写し穴として、柱固定金具にφ3.5の下穴をあけて、【1-3】で取付けてください。



⑦照明枠上部キャップAのフィン部分にシーリングしてください。



⑧電源ケーブル、延長ケーブルと入切スイッチを接続してください。
⑨照明用 柱カバーAを取付け、照明枠上部キャップAを固定しているマスキングテープをはがしてください。
⑩部品セット内にある注意シールとブランドラベルを照明用柱カバーAに張りつけてください。

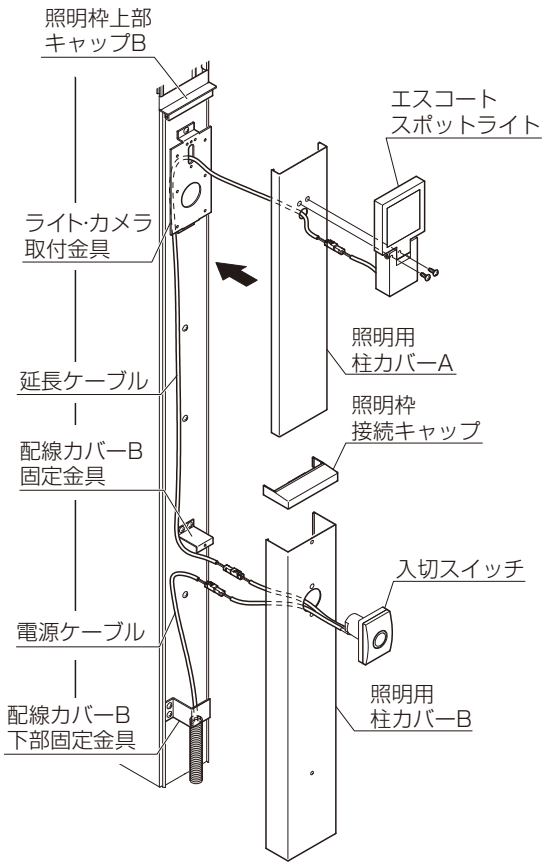


柱取付け仕様

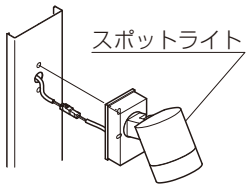
各部の名称

●DC12V仕様

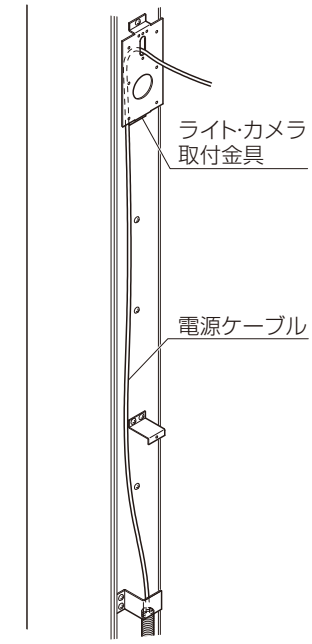
※排水する柱へ取付ける場合も
同じ構成になります。



<スポットライトの場合>

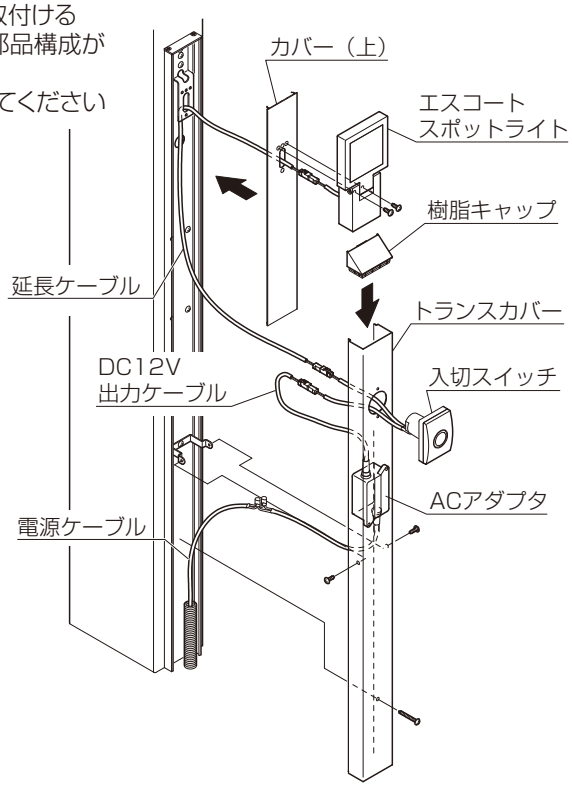


<柱にスイッチを取付けない場合>

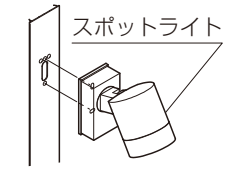


●AC100V直結仕様

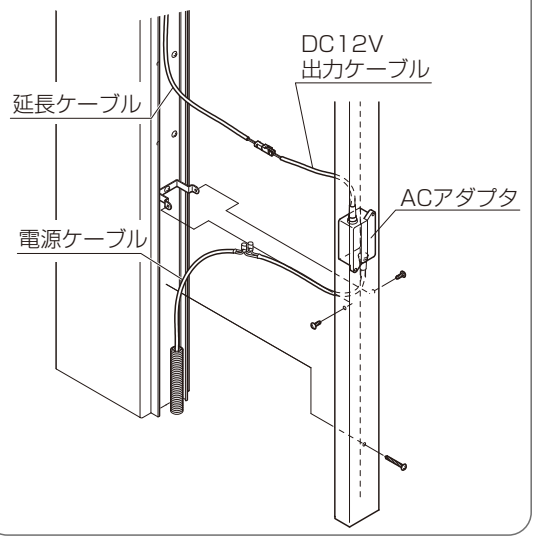
※排水する柱へ取付ける
場合は下部の部品構成が
違います。
P.44を参照してください



<スポットライトの場合>



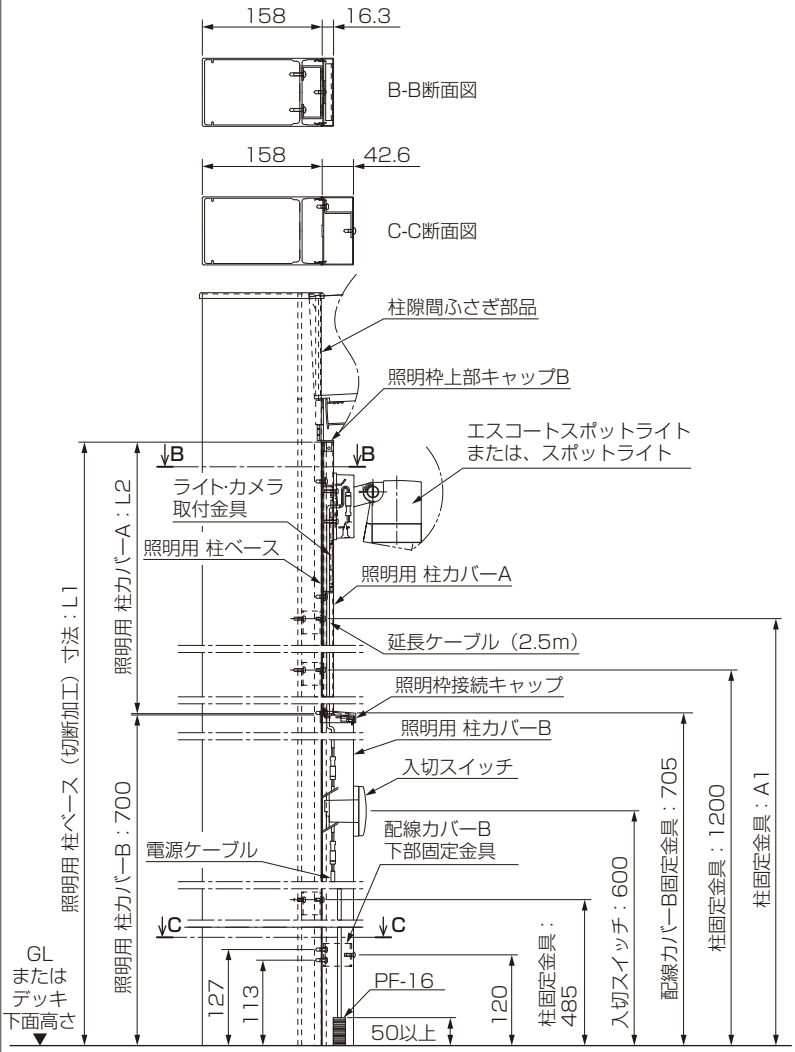
<柱にスイッチを取付けない場合>



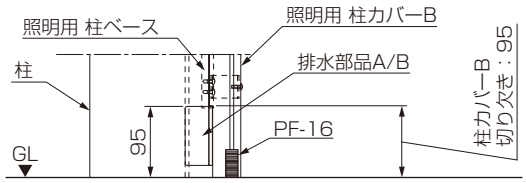
基本納まり

●12V照明 柱取付け（スイッチ仕様）

※本図は排水しない柱に照明と入切スイッチを取付けた場合を示す。
スイッチなしの場合、電源ケーブルを照明器具まで配線する。

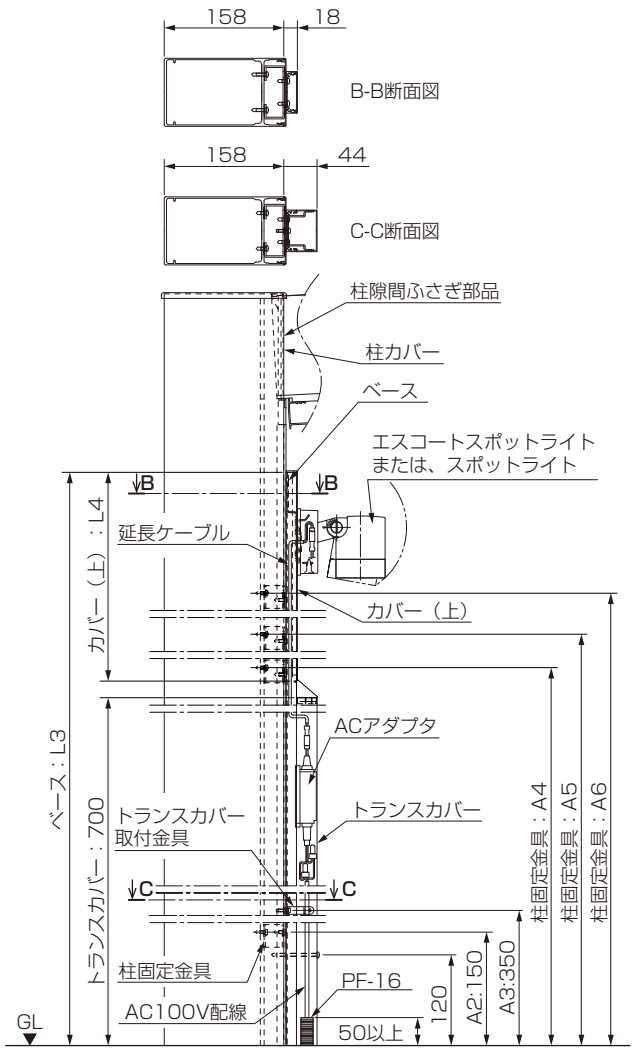


＜排水する柱の場合＞

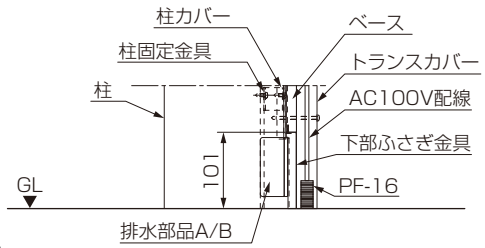


●柱取付け（AC100Vアダプタ仕様）

※本図は排水しない柱に照明を台座セットで取付けた場合を示す。



＜排水する柱の場合＞



●12V照明 柱取付け（スイッチ仕様）

	L1	L2	A1
H24	2382	1678	2065
H30	2982	2278	2665

●柱取付け（AC100Vアダプタ仕様）

	L3	L4	A4	A5	A6
H24	2342	1620	1231	2031	—
H30	2942	2220	1831	2631	2631

柱取付け仕様（DC12V仕様）

P.51 AC100V直結仕様の取付けについては、P.51を参照してください。

1 事前準備

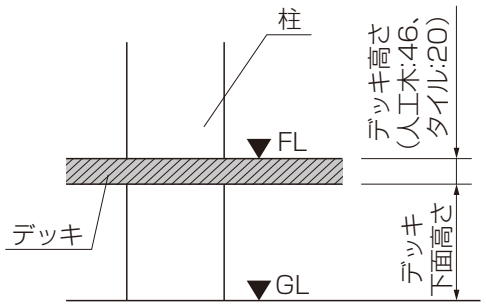
1 部材の加工

①本体柱、照明用 柱ベース、照明用 柱カバーA、照明用 柱カバーBに切断と穴加工をしてください。

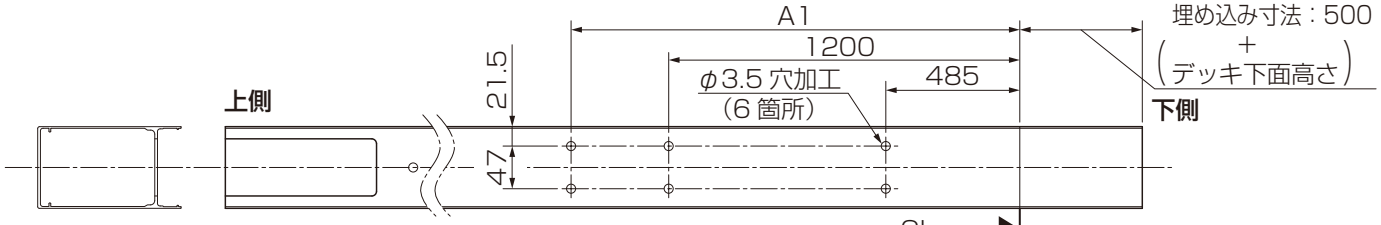
	L	L1	A1
H24	2382	1678	2065
H30	2982	2278	2665

下記のオプションを取付ける場合は、下記の取付説明書を参照してください。

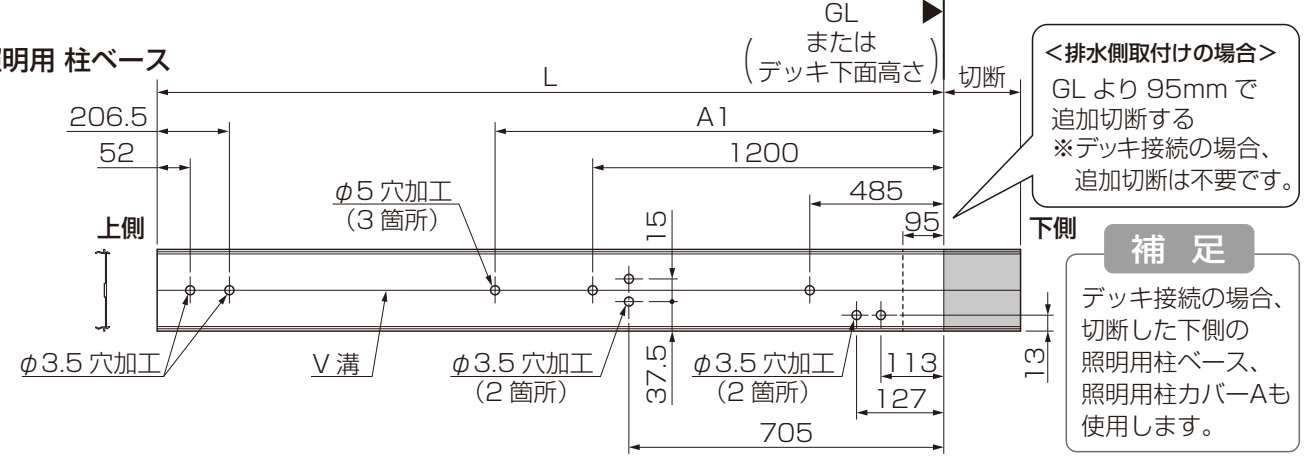
「テラス（デッキ接続）取付説明書（N007）」



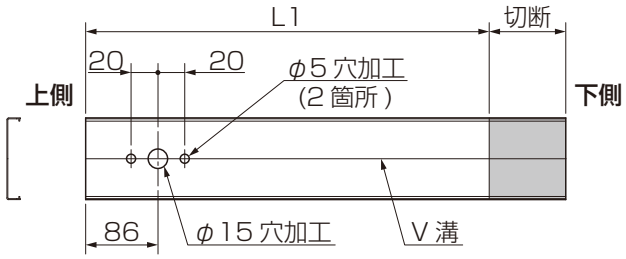
●本体柱



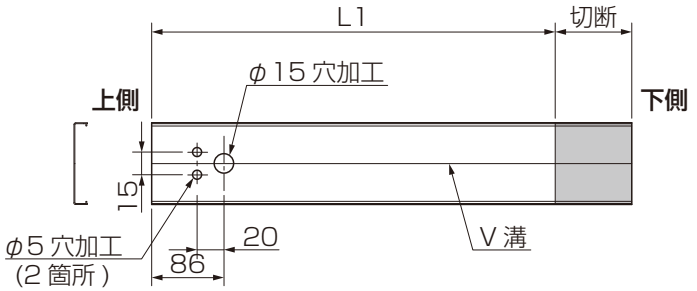
●照明用 柱ベース



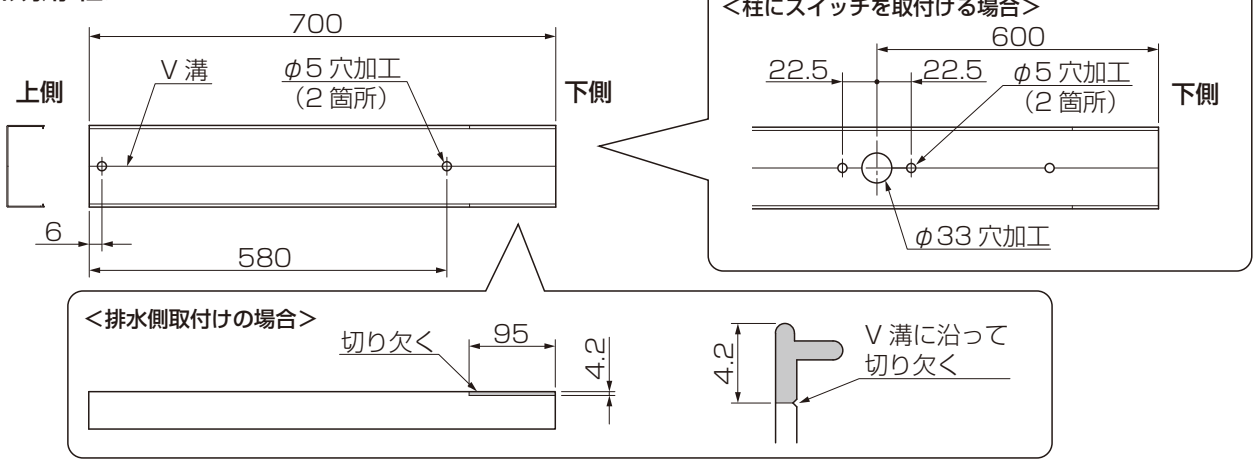
●照明用 柱カバーA（スポットライトの場合）



●照明用 柱カバーA（エスコートスポットライトの場合）

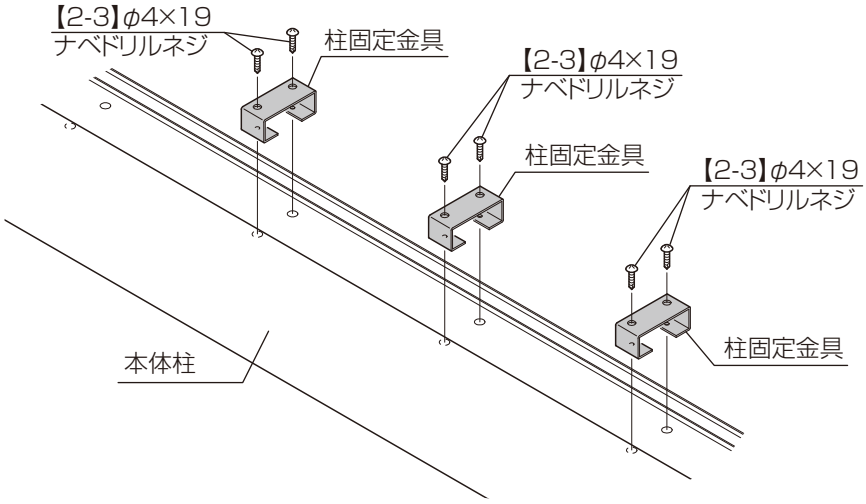


●照明用 柱カバーB



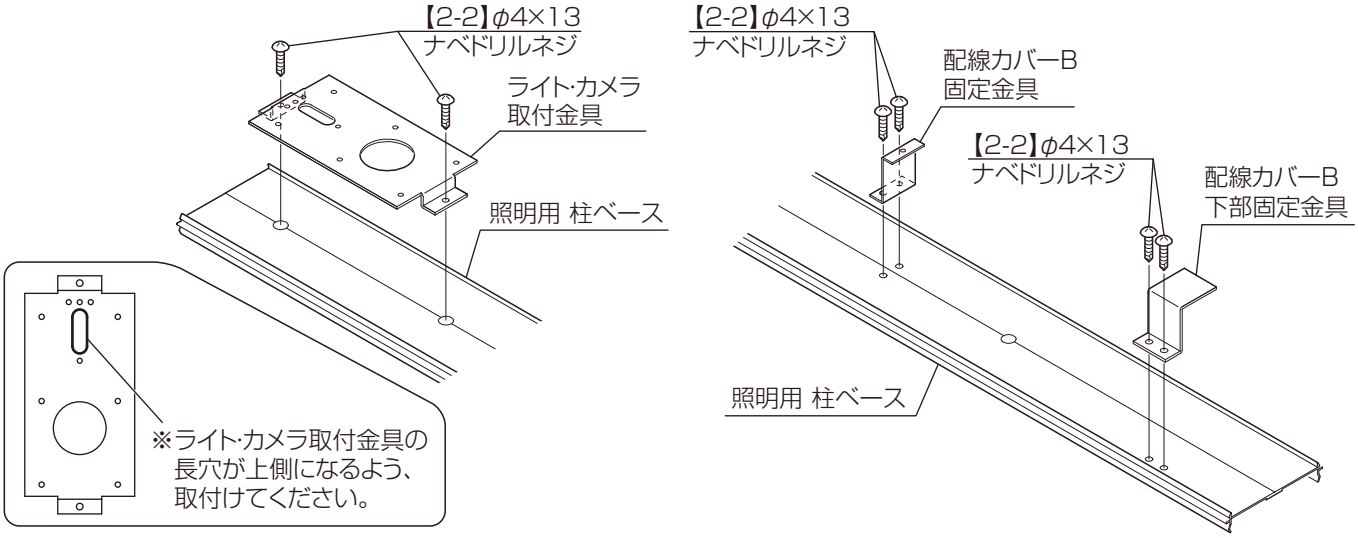
2 部品の取付け

①柱固定金具を【2-3】で本体柱に取付けてください。



②ライト･カメラ取付金具を【2-2】で照明用 柱ベースに取付けてください。

③配線カバーB固定金具と配線カバーB下部固定金具を【2-2】で照明用 柱ベースに取付けてください。

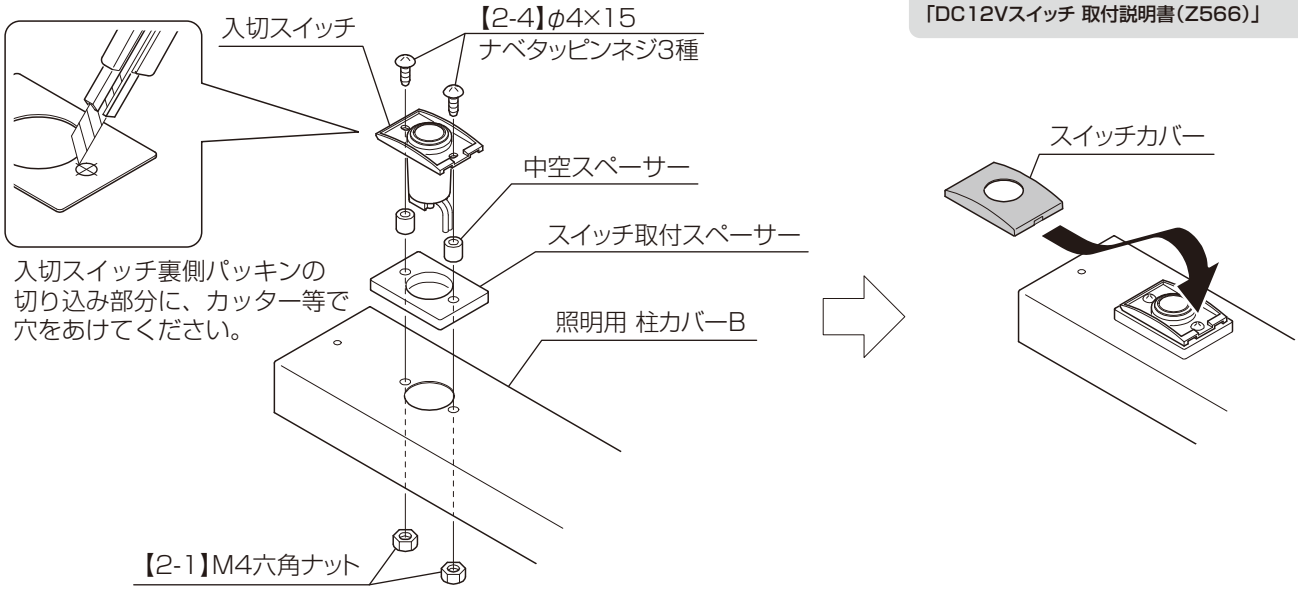


＜柱にスイッチを取付ける場合＞

④照明用 柱カバーBにスイッチ取付スペーサー、中空スペーサー、入切スイッチを、【2-1】、【2-4】で取付け、スイッチカバーを取付けてください。

入切スイッチの取付けは、
下記の取付説明書を参照してください。

「DC12Vスイッチ 取付説明書（Z566）」

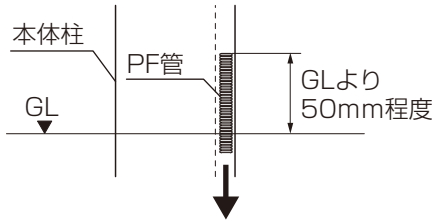


2 本体の施工

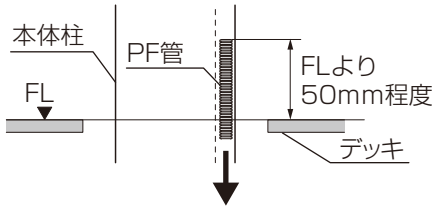
本体の施工は、
下記の取付説明書を参照してください。

「テラスSC 基本･連棟 取付説明書(N005)」

①本体柱の建て込み時に、PF管の立ち上げをしてください。



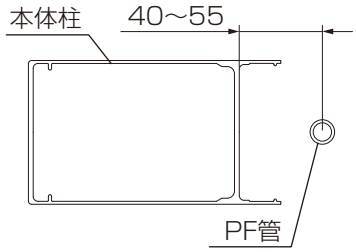
<デッキ接続の場合>



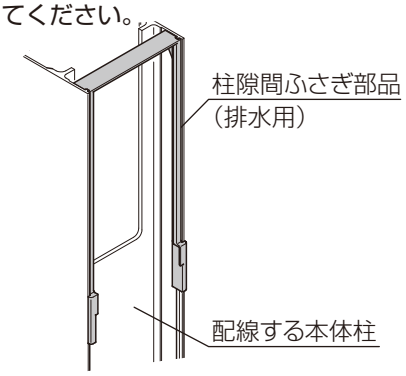
お願い

・PF管の立上げ位置に注意してください。

<柱取付け仕様の場合>



・排水しない柱に照明を取付ける場合は、屋根取付照明部品セットの柱隙間ふさぎ部品(排水用)を取付けてください。



3 本体柱への取付け

排水部品の施工は、「テラスSC 基本･連棟」の取付説明書を、柱ベース･柱カバーAおよびBの施工は「テラス(デッキ接続)」の取付説明書も参照してください。

「テラスSC 基本･連棟 取付説明書(N005)」
「テラス(デッキ接続) 取付説明書(N007)」

①本体柱側面に柱隙間ふさぎ部品(排水用)の下端から23mmの位置に、マスキングテープ等で印をつけてください。

②**<排水しない柱に取付ける場合>**

1)照明用 柱ベースを印にあわせて取付けてください。

<排水側の柱に取付ける場合>

1)「テラスSC 基本･連棟」の取付説明書を参照して、排水部品Aを取付けてください。

2)照明用 柱ベースを印にあわせて取付けて、排水部品Bを取付けてください。

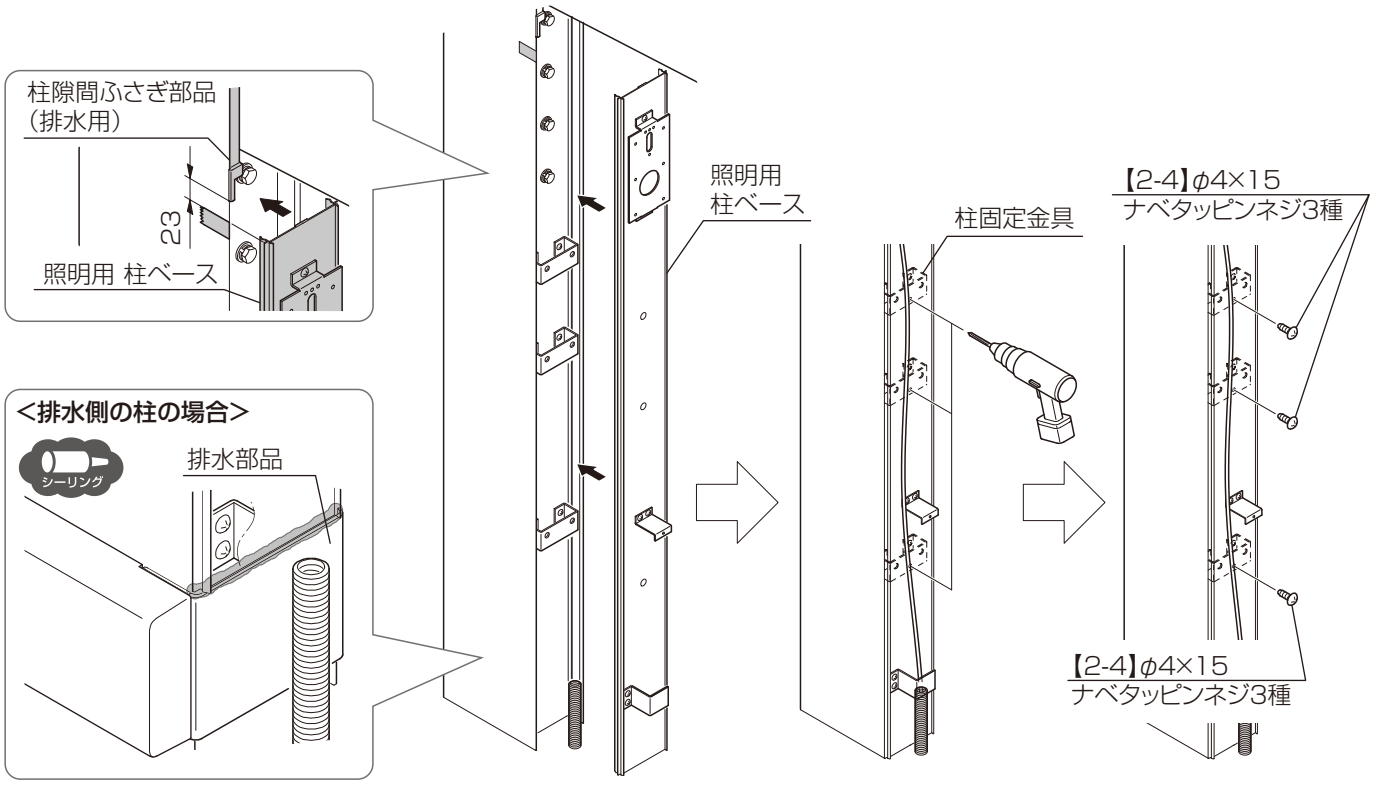
3)「テラスSC 基本･連棟」の取付説明書を参照して、排水部品C-1とC-2を取付けてください。

③照明用 柱ベースのφ5の穴を写し穴として、柱固定金具にφ3.5の下穴をあけてください。

④照明用 柱ベースを【2-4】で柱固定金具に取付けてください。

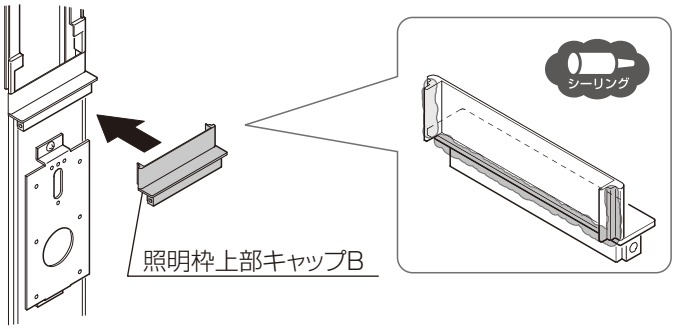
<排水側の柱に取付ける場合>

照明用 柱ベースを取付けた後、照明用 柱ベースと排水部品の結合部をシーリングしてください。



MAN-702_202312C

⑤照明枠上部キャップBにシーリングし、
本体柱へ取付けてください。



⑥**<柱にスイッチを取付けない場合>**

1）電源ケーブルをライト･カメラ取付金具の長穴へ通してください。

<柱にスイッチを取付ける場合>

1）延長ケーブルをライト･カメラ取付金具の長穴へ通してください。

2）電源ケーブル、延長ケーブルのコネクタと、スイッチのコネクタを接続してください。

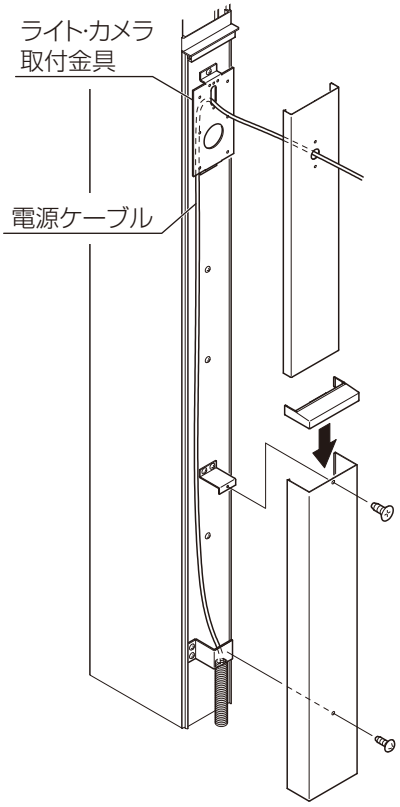
⑦照明用 柱カバーBを、配線カバーB固定金具に【2-7】、配線カバーB下部固定金具に【2-5】で取付けてください。

⑧照明枠接続キャップを照明用 柱カバーBに取付けてください。

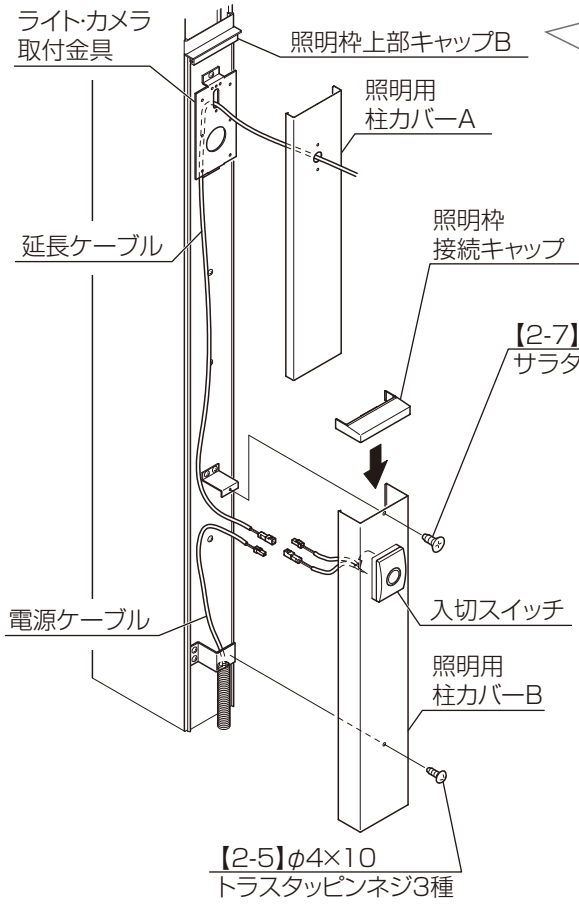
⑨照明枠上部キャップBと照明用 柱ベース、照明枠接続キャップにシーリングし、照明用 柱カバーAを取付けてください。

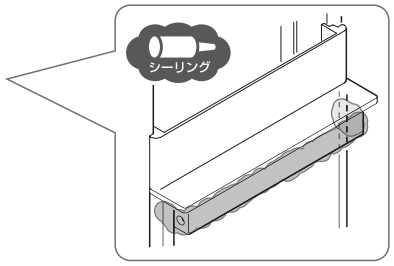
⑩照明用 柱カバーAを取付けた後、照明枠接続キャップにマスキングし、シーリングしてください。

<柱にスイッチを取付けない場合>

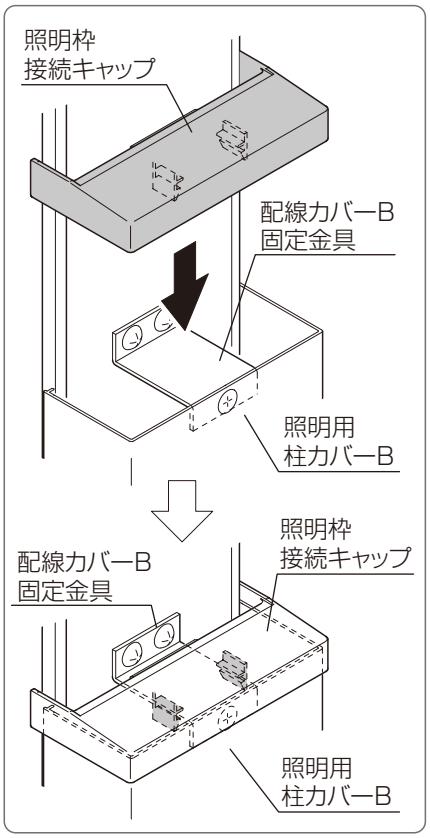


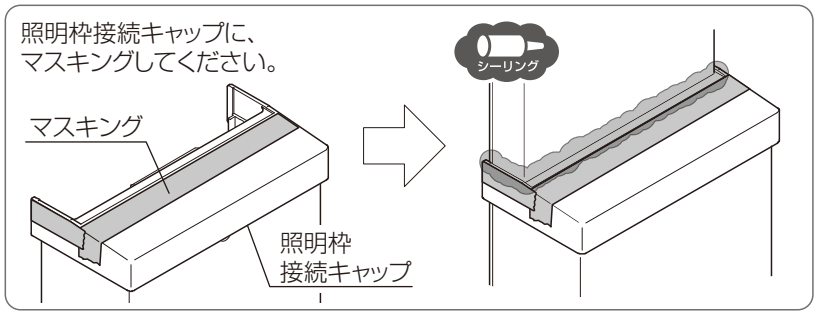
<柱にスイッチを取付ける場合>





※**<柱にスイッチを取付ける場合>**と
延長ケーブル、入切スイッチ以外、
構成部品は同じになります。



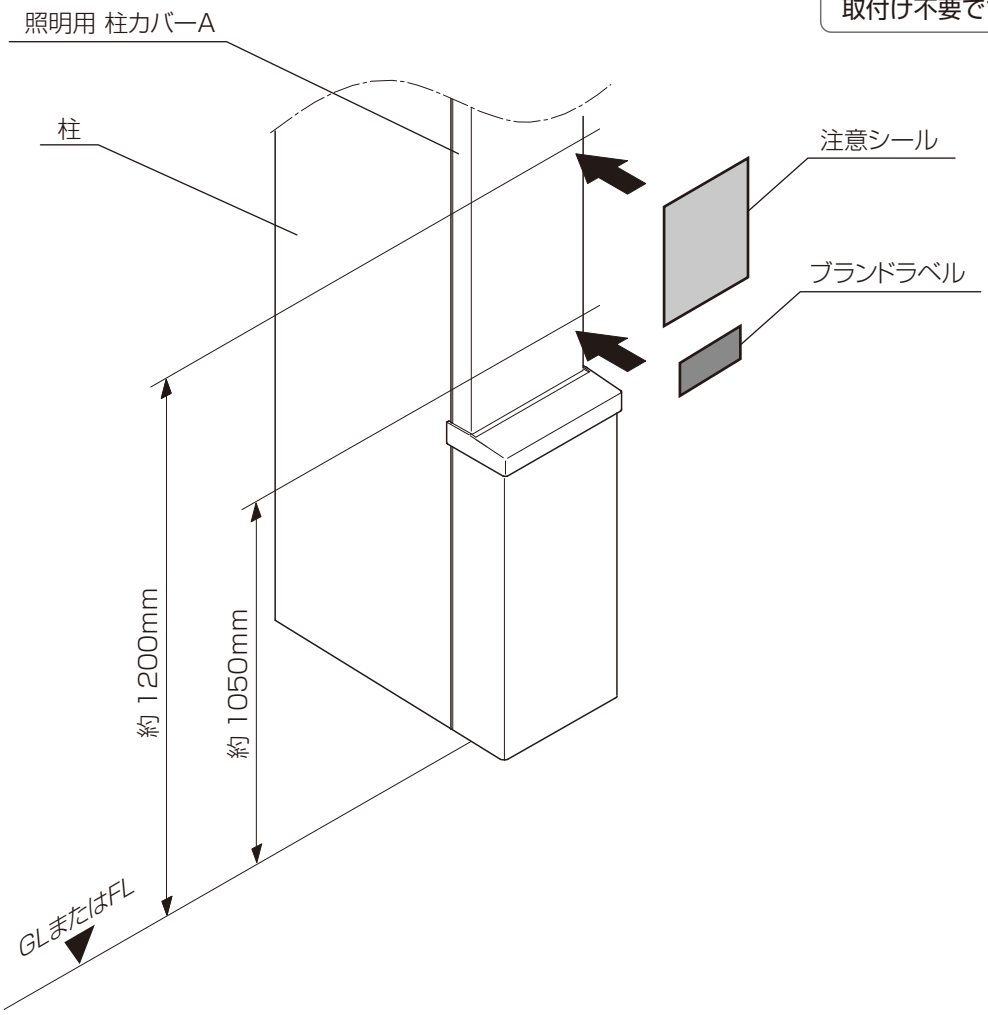


3 本体柱への取付け（つづき）

⑪部品セット内にある注意シールとブランドラベルを照明用柱カバーAに張りつけてください。

補　足

その他の柱に注意シールおよび
ブランドラベルが付いている場合は、
取付け不要です。



4 照明器具の取付け

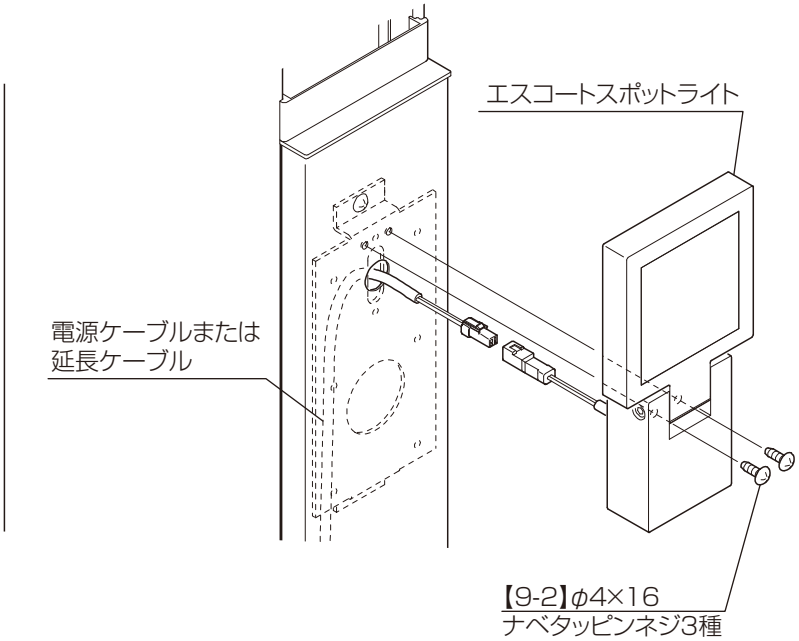
スポットライト・エスコートスポットライトの取付け手順や調整方法は、下記の取付説明書を参照してください。

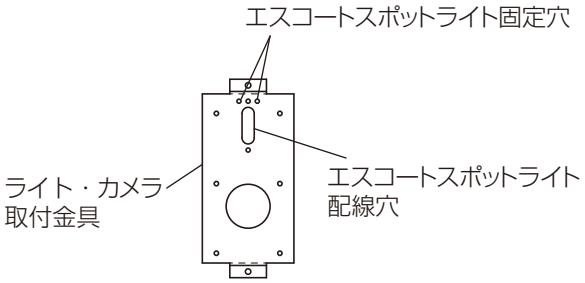
「スポットライト　SP−G1型／G2型／G3型 取付説明書（Z538）」
「エスコートスポットライト　取付説明書（Z542）」

エスコートスポットライトの場合

①エスコートスポットライトのコネクタと電源ケーブルまたは延長ケーブルを接続してください。

②エスコートスポットライトを【9-2】でライト・カメラ取付金具に取付けてください。





補　足

配線ケーブルを挟み込まないように注意して照明器具を取付けてください。

スポットライトの場合

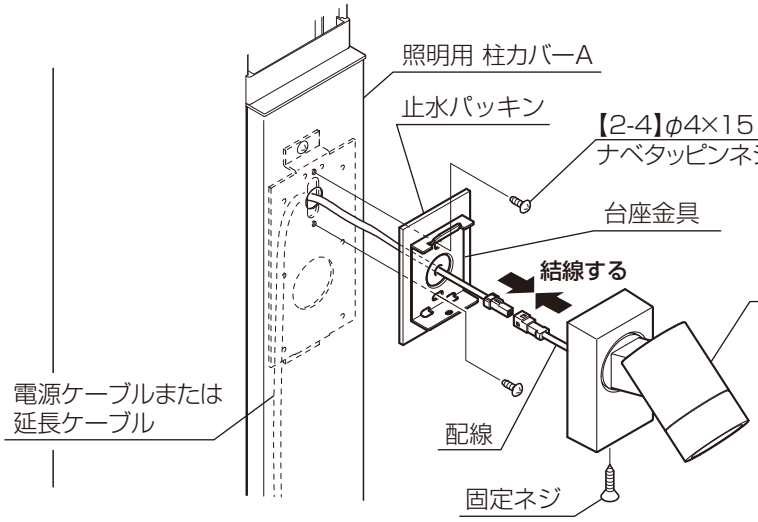
①固定ネジをはずし、台座金具と止水パッキンを取り外してください。

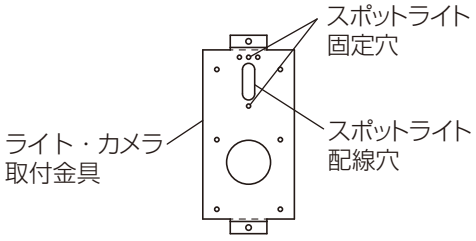
②電源ケーブルまたは延長ケーブルを台座金具と止水パッキンの穴から引き出してください。

③台座金具と止水パッキンを、手回しドライバーを使用し【2-4】で取付けてください。

④スポットライトの配線と、電源ケーブルまたは延長ケーブルを結線してください。

⑤スポットライトを固定ネジで、台座金具に取付けてください。





お願い

スポットライトに同梱されている、ネジは使用しないでください。

柱取付け仕様（AC100V直結仕様）

1 事前準備

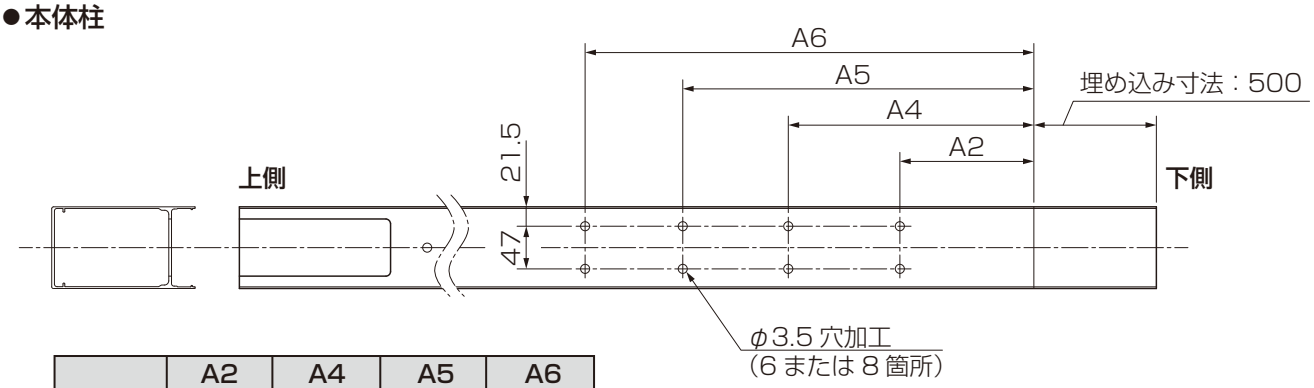
お願い

シールをはがす際は、本体カバーにキズを付けないよう注意してください。

1 部材の加工

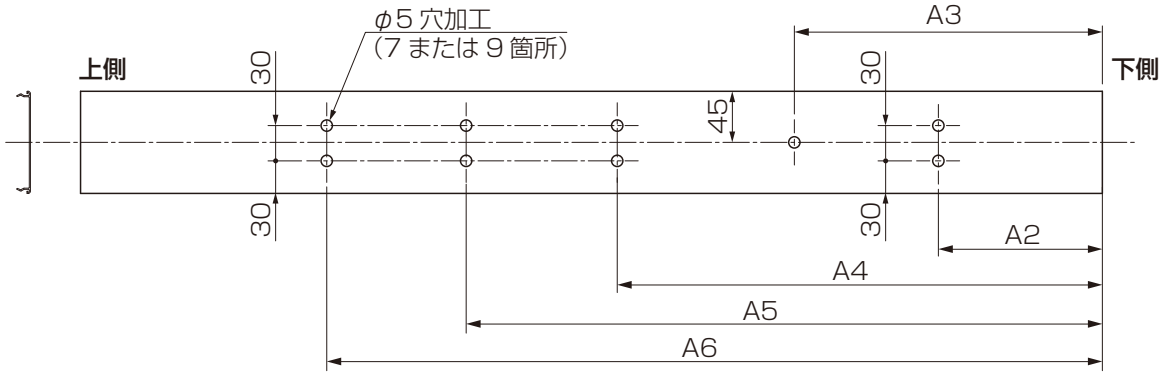
①本体柱カバーに張りついているシールをはがしてください。
②本体柱カバー、ベース、カバー（上）、トランスカバーに切断と穴加工をしてください。

●本体柱



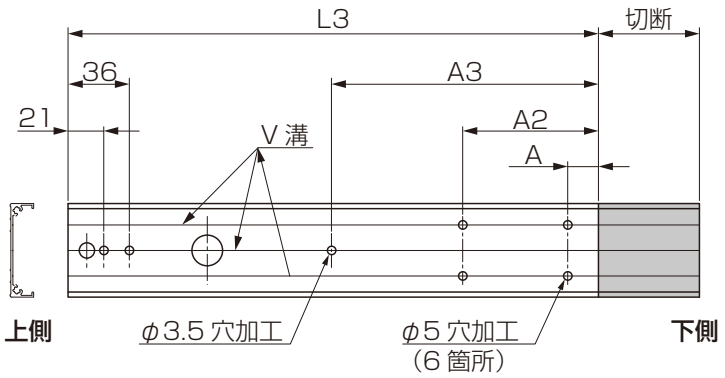
	A2	A4	A5	A6
H24	150	1231	2031	—
H30	150	1831	2631	2631

●本体柱カバー



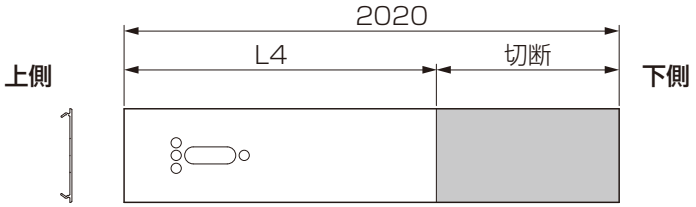
		A2	A3	A4	A5	A6
排水しない柱	H24	150	350	1231	2031	—
	H30	150	350	1831	2631	2631
排水する柱	H24	60	260	1141	1941	—
	H30	60	260	1741	2541	2541

●ベース



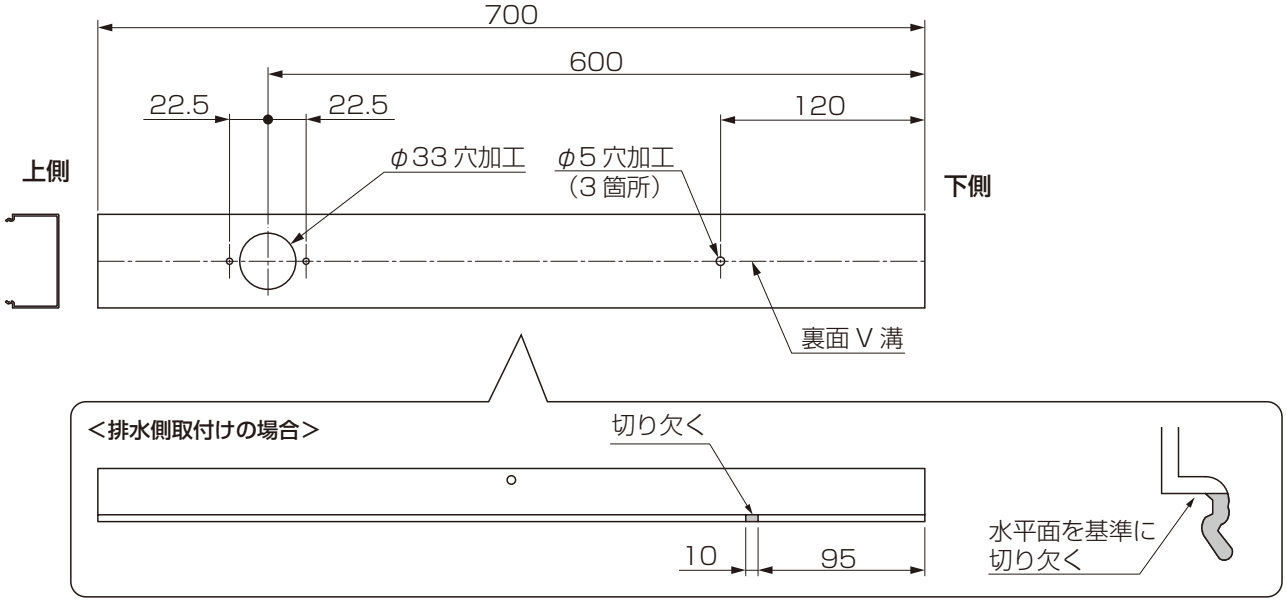
		L3	A	A2	A3
排水しない柱	H24	2342	—	150	350
	H30	2942	—	150	350
排水する柱	H24	2241	5	49	249
	H30	2841	5	49	249

●カバー（上）



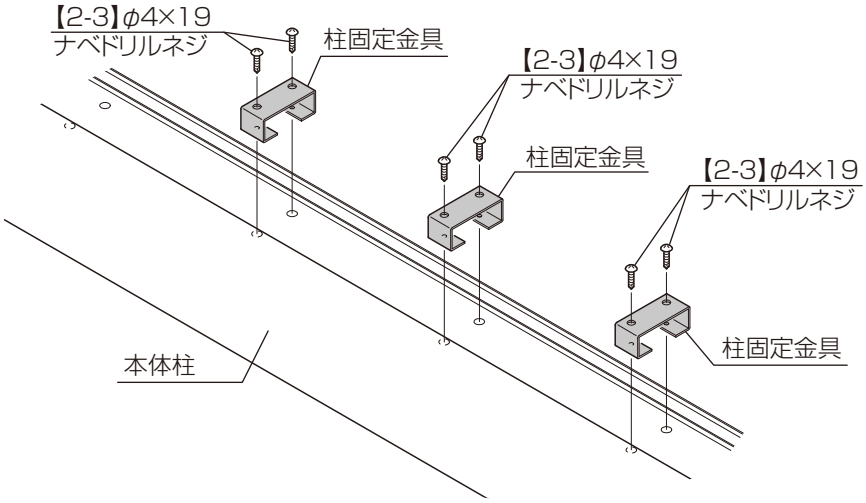
	L4
H24	1620
H30	2220

●トランスカバー

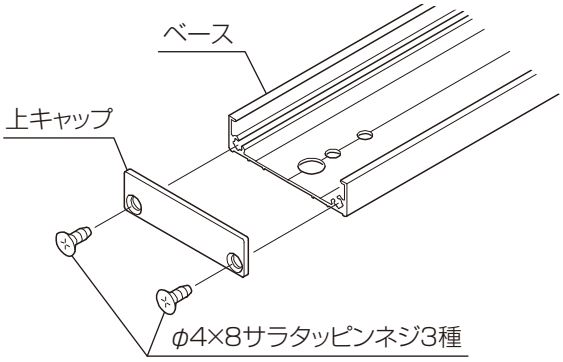


2 部品の取付け

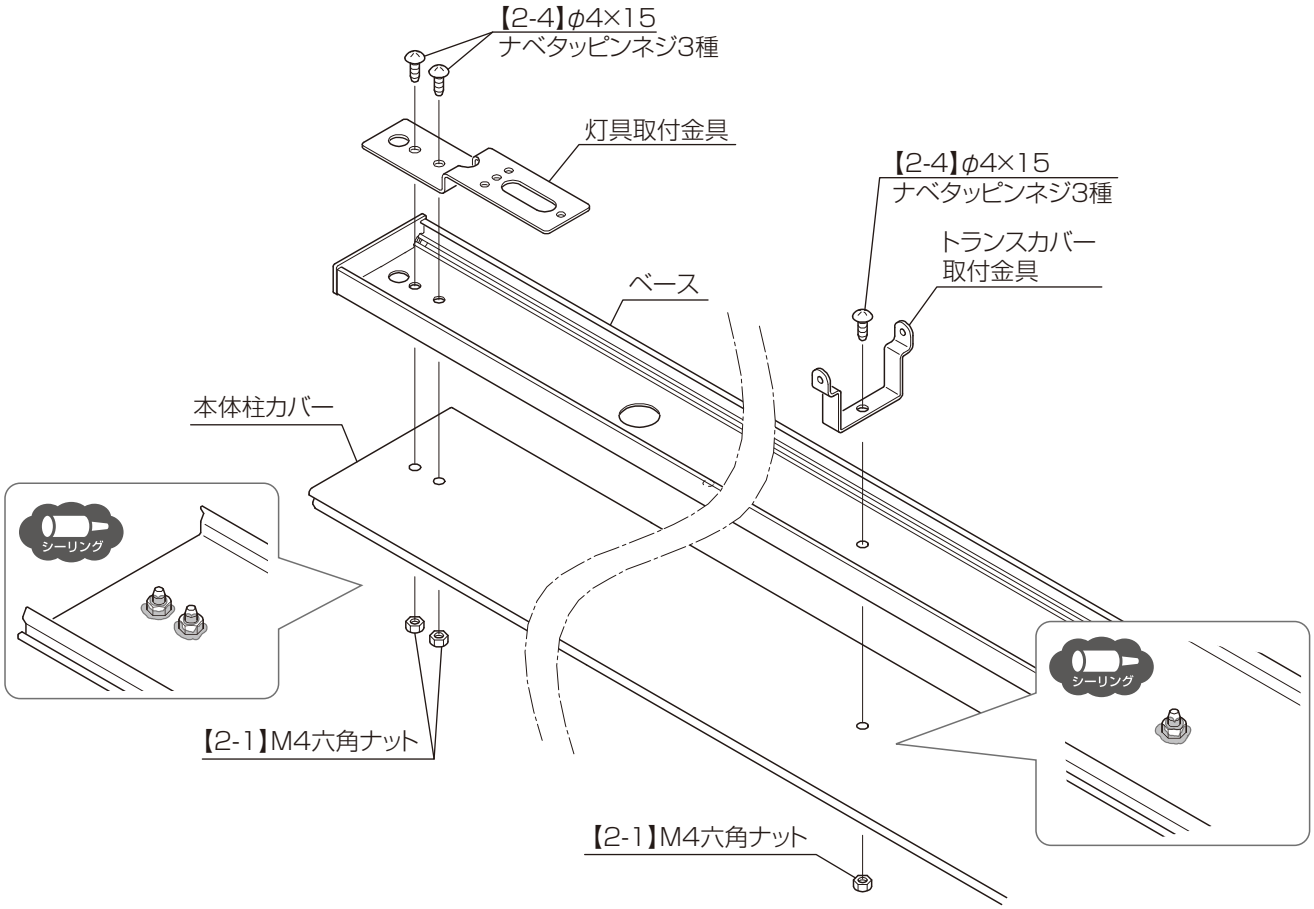
①柱固定金具を【2-3】で本体柱に取付けてください。



②上キャップをベースにカーポートライト用台座セットの【φ4×8サラタッピンネジ3種】で取付けてください。

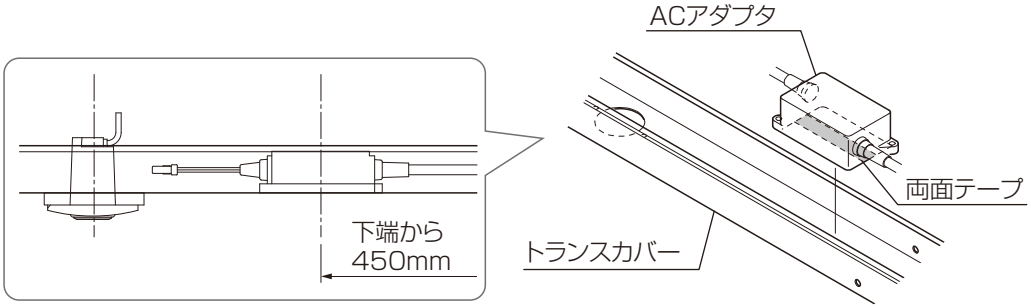


③本体柱カバーにベース、灯具取付金具、トランスカバー取付金具を【2-1】と【2-4】で取付けてください。



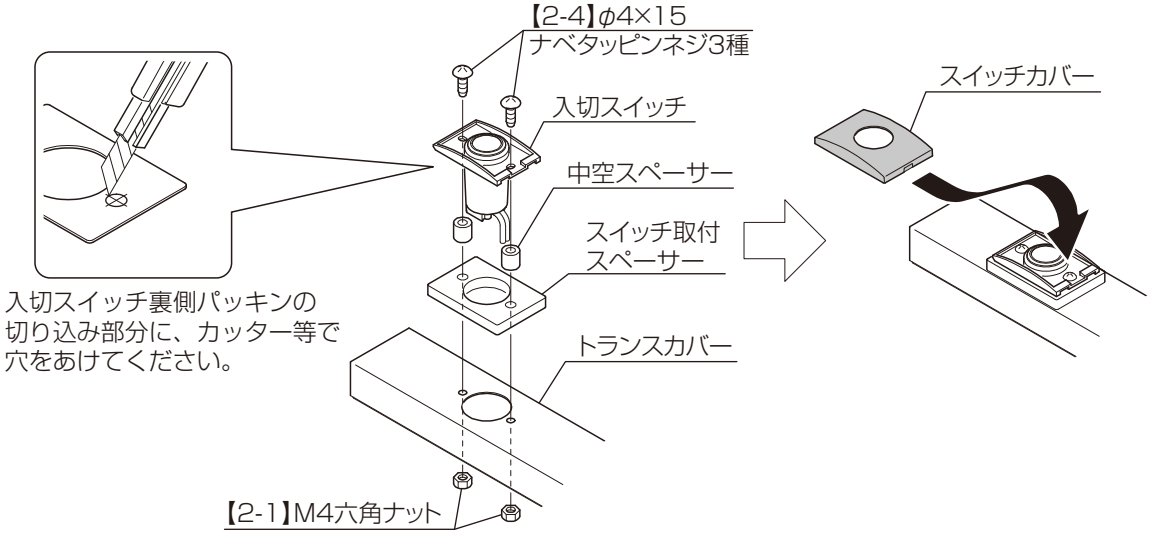
N006_201904A

④トランスカバーにACアダプタを両面テープで張りつけてください。



＜柱にスイッチを取付ける場合＞

トランスカバーにスイッチ取付スペーサー、中空スペーサー、入切スイッチを、
【2-1】、【2-4】で取付け、スイッチカバーを取付けてください。

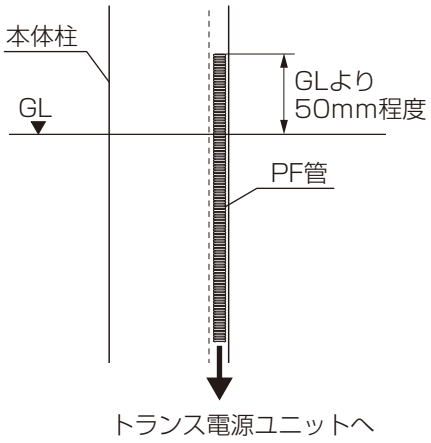


2 本体の施工

本体の施工は、
下記の取付説明書を参照してください。

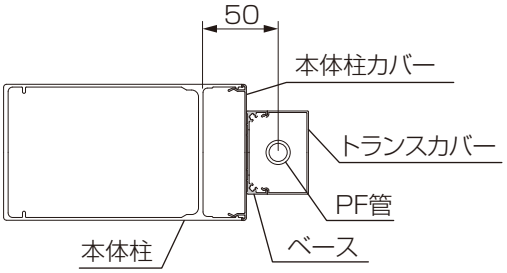
「テラスSC 基本・連棟 取付説明書（N005）」

①本体柱の建て込み時に、PF管の立ち上げをしてください。



お願い

＜柱取付け仕様の場合＞
PF管がベースとトランスカバーの内側になるよう注意してください。



3 本体柱への取付け

排水部品の施工は、
下記の取付説明書を参照してください。

「テラスSC 基本･連棟 取付説明書（N005）」

①<排水しない柱に取付ける場合>

1）本体柱カバーを柱隙間ふさぎ部品に突き当て、本体柱に取付けてください。

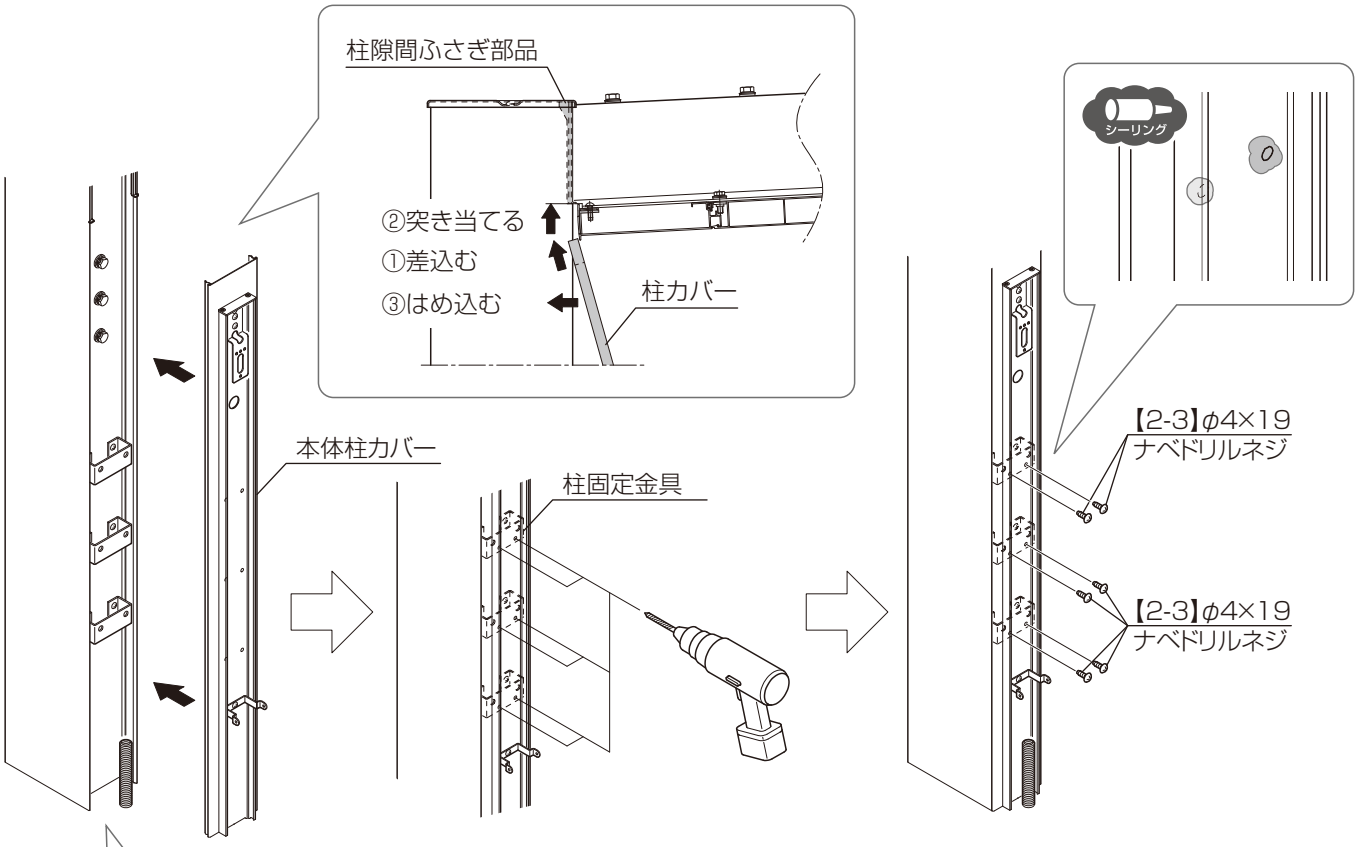
<排水する柱に取付ける場合>

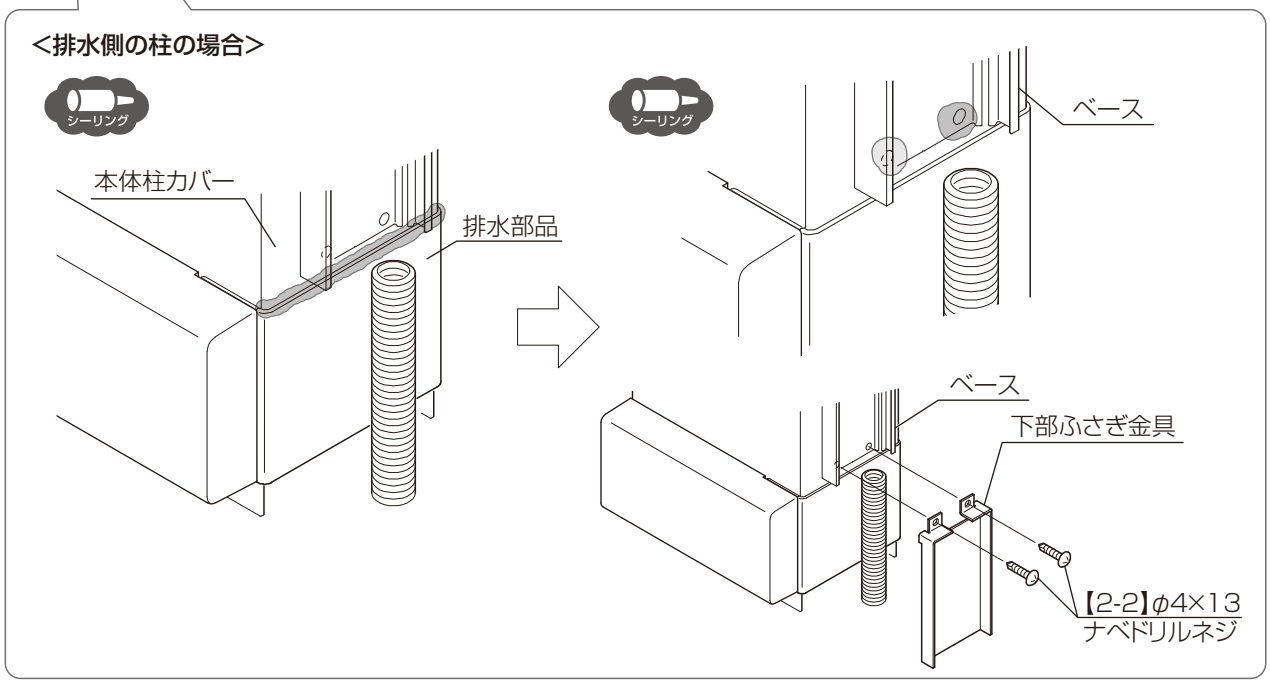
1）「テラスSC 基本･連棟」の取付説明書を参照して、排水部品を取付けてください。

2）本体柱カバーを柱隙間ふさぎ部品に突き当て、本体柱に取付けてください。
本体柱カバーを取付けた後、本体柱カバーと排水部品の結合部をシーリングしてください。

3）ベース下側の穴にシーリングし、下部ふさぎ金具を【2-2】で取付けてください。

②ベースのφ5の穴を写し穴として、柱固定金具にφ3.5の下穴をあけて加工穴にシーリングし、【2-3】で柱固定金具に取付けてください。





MAN-702_202312C

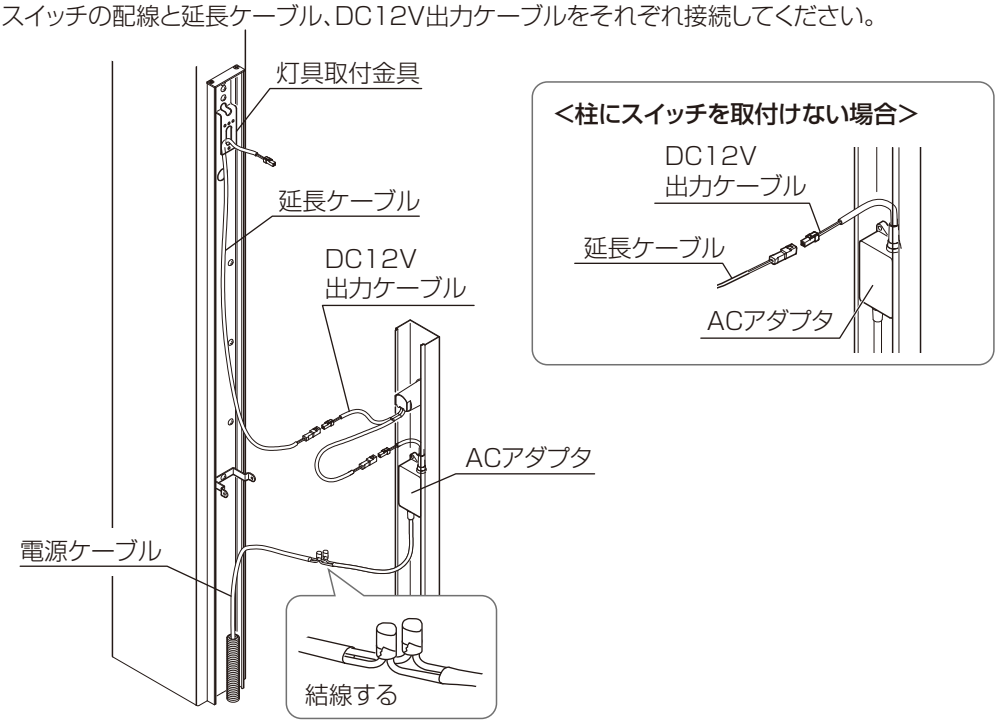
③ACアダプタと電源ケーブルを結線してください。
④延長ケーブルを灯具取付金具に通してください。

<柱にスイッチを取付けない場合>

スイッチ無しの場合は、延長ケーブルとDC12V出力ケーブルを接続してください。

<柱にスイッチを取付ける場合>

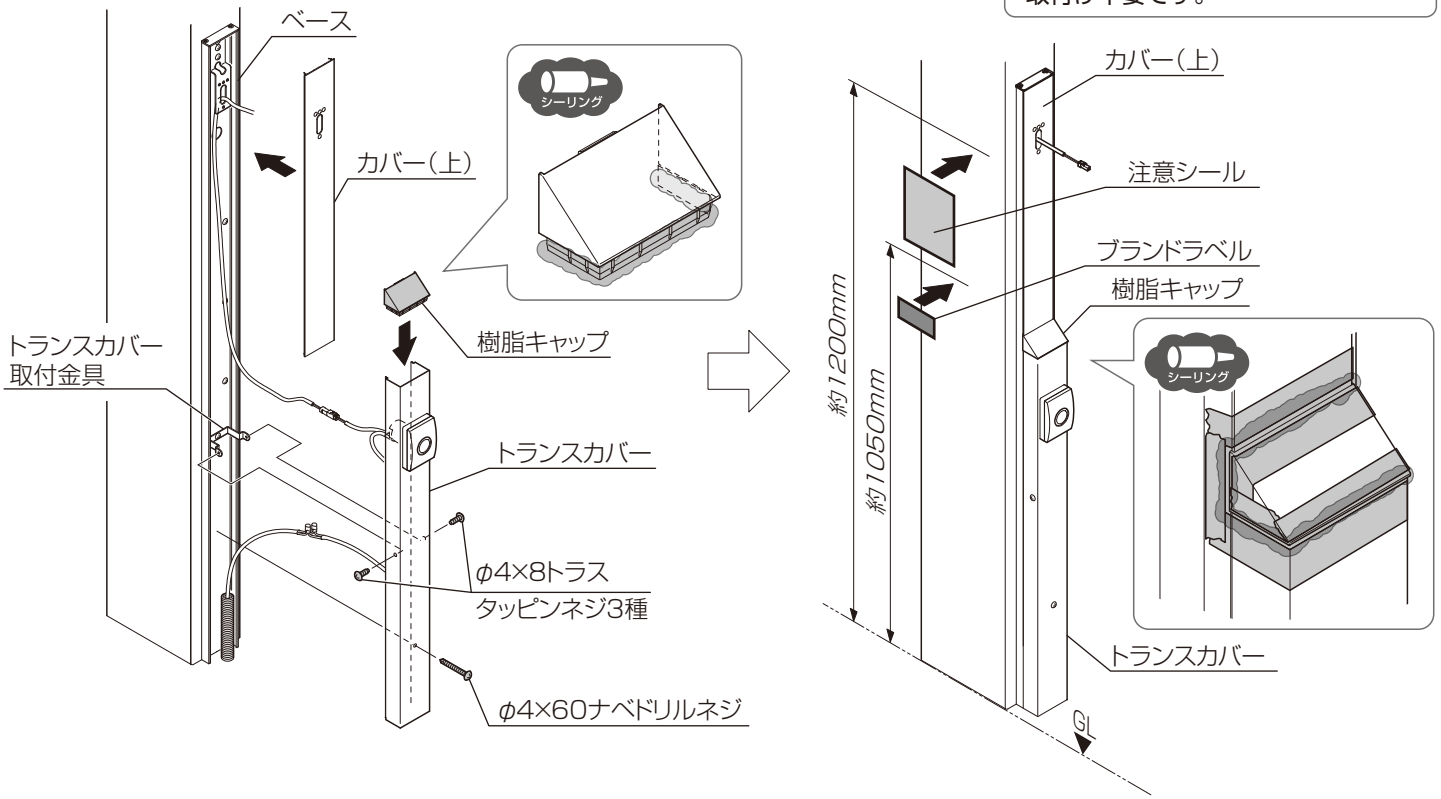
スイッチの配線と延長ケーブル、DC12V出力ケーブルをそれぞれ接続してください。



⑤トランスカバーをトランスカバー取付金具にカーポートライト用台座セットの【φ4×8トラスタッピンネジ3種】で取付けてください。
⑥トランスカバーをベースにカーポートライト用台座セットの【φ4×60ナベドリルネジ】で取付けてください。
⑦カバー(上)をベースに取付けてください。
⑧樹脂キャップにシーリングしトランスカバーに取付けてください。
⑨樹脂キャップ、カバー(上)、トランスカバーをマスキングし、シーリングしてください。
⑩部品セット内にある注意シールとブランドラベルを本体柱側面に張りつけてください。

補 足

その他の柱に注意シールおよびブランドラベルが付いている場合は、取付け不要です。



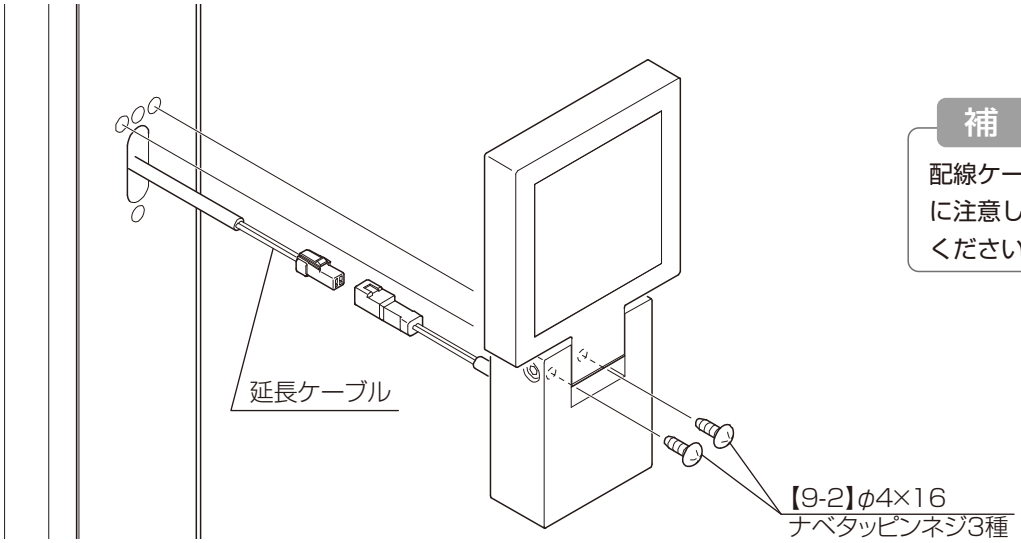
4 照明器具の取付け

スポットライト・エスコートスポットライトの取付け手順や調整方法は、下記の取付説明書を参照してください。

「スポットライト　SP−G1型／G2型／G3型 取付説明書(Z538)」
「エスコートスポットライト　取付説明書(Z542)」

エスコートスポットライトの場合

①エスコートスポットライトの配線と延長ケーブルを接続してください。
②エスコートスポットライトを【9-2】でライト・カメラ取付金具に取付けてください。

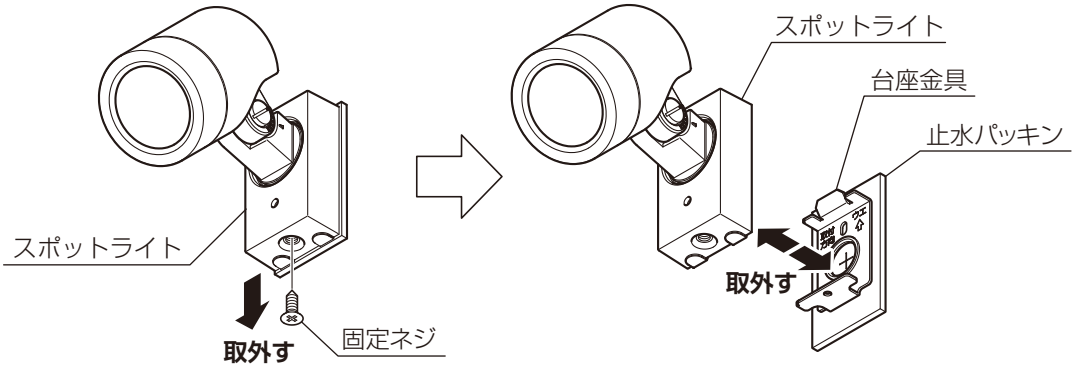


補　足

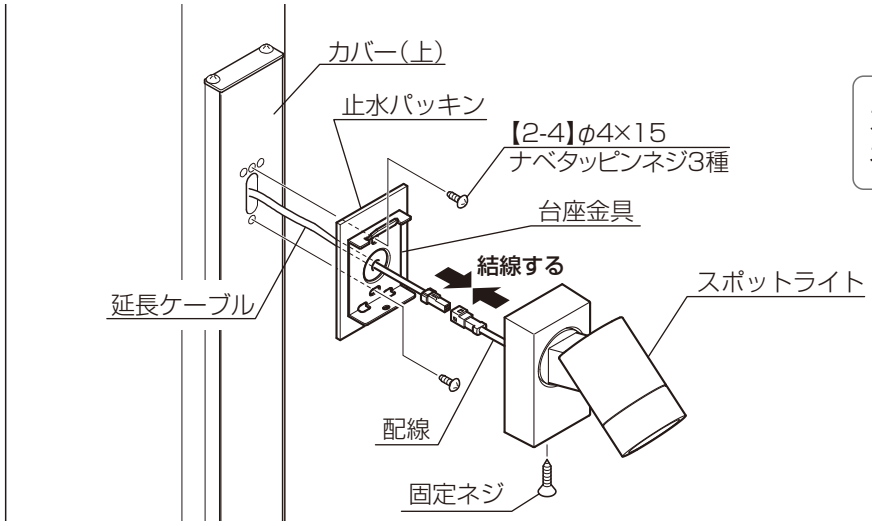
配線ケーブルを挟み込まないように注意して照明器具を取付けてください。

スポットライトの場合

①固定ネジをはずし、台座金具と止水パッキンを取り外してください。



②電源ケーブルを台座金具と止水パッキンの穴から引き出してください。
③台座金具と止水パッキンを、手回しドライバーを使用し【2-4】で取付けてください。
④スポットライトの配線と、延長ケーブルを結線してください。
⑤スポットライトを固定ネジで、台座金具に取付けてください。



お願い

スポットライトに同梱されている、ネジは使用しないでください。

梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【1】屋根取付照明部品セット		員　数	
名　　称	略図	ー	スイッチ用
取付説明書〈N006〉		1	—
柱固定金具		—	3
照明枠上部キャップ　A		—	1
柱隙間ふさぎ部品(ミニ・排水用)		—	1
照明用 前枠コーナーキャップ　L		1	—
照明用 前枠コーナーキャップ　R		1	—
照明用 後枠コーナーキャップ　L		1	—
照明用 後枠コーナーキャップ　R		1	—
結束バンド		12	—
スイッチ取付スペーサー		—	1
中空スペーサー		—	2
側枠用 止水パッキン　L4000		1	—
注意シール		—	1
ブランドラベル	テラスSC	—	1
【1-1】M4 六角ナット		—	2
【1-2】φ4×12 ナベタッピンネジ 止水ワッシャー付		8	—
【1-3】φ4×15 ナベタッピンネジ３種		9	5
【1-4】φ4×19 ナベドリルネジ		—	6

【2】柱取付照明部品セット		員　数	
名　　称	略図	ー	ACアダプター用
取付説明書〈N006〉		1	1
柱固定金具		3	4
照明枠上部キャップ　B		1	—
柱隙間ふさぎ部品(ミニ・排水用)		1	—
結束バンド		1	—
スイッチ取付スペーサー		1	—
中空スペーサー		2	—

【2】柱取付照明部品セット（つづき）		員　数	
名　　称	略図	ー	ACアダプター用
ライト・カメラ取付金具		1	—
照明枠接続キャップ		1	—
配線カバーB固定金具		1	—
配線カバー B 下部固定金具		1	—
下部ふさぎ金具		—	1
注意シール		1	1
ブランドラベル	テラスSC	1	1
【2-1】M4 六角ナット		2	3
【2-2】φ4×13 ナベドリルネジ		6	10
【2-3】φ4×19 ナベドリルネジ		6	8
【2-4】φ4×15 ナベタッピンネジ３種		7	3
【2-5】φ4×10 トラスタッピンネジ３種		2	—
【2-6】φ4×16 トラスタッピンネジ３種		4	—
【2-7】φ4×10 サラタッピンネジ３種		1	—

【3】連棟用屋根取付照明部品セット		員　数
名　　称	略図	
後枠固定金具		4
雨樋穴ふさぎキャップ		1
後枠コーナーキャップ L		1
後枠コーナーキャップ R		1
集水部品		1
落下防止金具(連棟用)		2
連結カバー(連棟用)		2
結束バンド		12

梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【3】連棟用屋根取付照明部品セット(つづき)		員　数
名　　称	略図	
【3-1】φ4×13ナベドリルネジ 止水ワッシャー付		4
【3-2】φ4×12ナベタッピンネジ 止水ワッシャー付		17
【3-3】φ4×10ナベタッピンネジ 3種		14
【3-4】φ5×10トラスタッピンネジ 3種		4
【3-5】φ4×15ナベタッピンネジ 3種		9

【4】側枠用配線カバーセット		員　数
名　　称	略　　図	
照明用側枠		1

【5】柱用配線カバーセット		員　数	
名　　称	略　　図	A	B
照明用 柱カバーA		1	–
照明用 柱カバーB		–	1
照明用 柱ベース		1	–

【6】照明用屋根材セット		員　数
名　　称	略　　図	
ライン照明屋根材		1

【7】ダウンライト		
名　　称	員数	備考
ダウンライト	1	
取付説明書〈Z582〉	1	

【8】スポットライト		
名　　称	員数	備考
スポットライト	1	
【8-1】φ3.8×38 丸木ネジ	2	使用しない
取付説明書〈Z538〉	1	

【9】エスコートスポットライト		
名　　称	員数	備考
エスコートスポットライト	1	
【9-1】丸木ネジ φ4.1×5	2	使用しない
【9-2】φ4×16 ナベタッピンネジ 3 種	2	
取付説明書〈Z542〉	1	

【10】入切スイッチ（DC12Vスイッチ）		
名　　称	員数	備考
12Vスイッチ	1	
スイッチカバー	1	
【10-1】φ4×12 ナベタッピンネジ 3 種	2	
結束バンド	2	
取付説明書〈Z566〉	1	

【11】DC12V人感センサ		
名　　称	員数	備考
人感センサ	1	
エリアカットシート	1	
結束バンド	2	
取付説明書〈EXM-093〉	1	

【12】シームレスラインライト		
名　　称	員数	備考
シームレスラインライト	1	

【13】シームレスラインライト用レール		
名　　称	員数	備考
シームレスラインライト用レール	3	

【14】12V電源ケーブル		
名　　称	員数	備考
電源ケーブル　Y端子＋CN	1	10m又は20m
予備Y端子	2	

【15】延長ケーブル		
名　　称	員数	備考
延長ケーブル　CN+CN	1	1m/2.5m/5m/10m

【16】分岐ケーブル		
名　　称	員数	備考
CN+CN　2分岐	1	

【17】ACアダプタ		
名　　称	員数	備考
ACアダプタ		

【18】スタンド ※スイッチ・センサを任意の場所に		
名　　称	員数	備考
スタンド	1	
アンカー棒	1	

【19】ターンナット		
名　　称	員数	備考
M4 ターンナット	10	

【20】カーポートライト用台座セット		
名　　称	員数	備考
取付説明書〈Z585〉	1	
ベース	1	
カバー(上)	1	
トランスカバー	1	
灯具吊金具	1	
上キャップ	1	
樹脂キャップ	1	
トランスカバー取付金具	1	
結束バンド	1	
配線ケーブル　2.5m	1	
両面テープ	1	
スイッチ取付スペーサー	1	
中空スペーサー	1	
ネジ部品		

シームレスラインライト特注寸法一覧

お願い

- ●シームレスラインライトの長さが特注の場合、表を参照し、屋根部材を加工してください。
- ●現場切詰めする屋根部のL寸法（後方支持はW寸法）は、表の屋根部材+34mmになります。

屋根部を現場切詰めする場合、柱ピッチの変更・屋根材端部の切欠き加工・後枠端部の切欠き加工、後枠集水部品取付け部の切欠き加工が発生します。下記の取付説明書を参照してください。

「テラスSC 基本・連棟 取付説明書（N005）」

□は規格品です。

区分	屋根部材L	特注L
切詰め寸法（1.5間）	2190	2216.7
	2211	2238.1
	2233	2259.5
	2254	2280.9
	2276	2302.3
	2297	2323.7
	2318	2345.1
	2340	2366.5
	2361	2387.9
	2383	2409.3
	2404	2430.7
	2425	2452.1
	2447	2473.5
	2468	2494.9
	2490	2516.3
	2511	2537.7
	2532	2559.1
	2554	2580.5
	2575	2601.9
	2597	2623.3
	2618	2644.7
	2639	2666.1
	2661	2687.5
	2682	2708.9
	2704	2730.3
規格1.5間	2725	2752

区分	屋根部材L	特注L
切詰め寸法（2.0間）	2758	2773.1
	2779	2794.5
	2800	2815.9
	2822	2837.3
	2843	2858.7
	2865	2880.1
	2886	2901.5
	2907	2922.9
	2929	2944.3
	2950	2965.7
	2972	2987.1
	2993	3008.5
	3014	3029.9
	3036	3051.3
	3057	3072.7
	3079	3094.1
	3100	3115.5
	3121	3136.9
	3143	3158.3
	3164	3179.7
	3186	3201.1
	3207	3222.5
	3228	3243.9
	3250	3265.3
	3271	3286.7
	3293	3308.1
	3314	3329.5
	3335	3350.9
	3357	3372.3
	3378	3393.7
	3400	3415.1
	3421	3436.5
	3442	3457.9
	3464	3479.3
	3485	3500.7
	3507	3522.1
	3528	3543.5
	3549	3564.9
	3571	3586.3
	3592	3607.7
	3614	3629.1
規格2.0間	3635	3651

区分	屋根部材L	特注L
切詰め寸法（2.5間）	3646	3671.9
	3668	3693.3
	3689	3714.7
	3710	3736.1
	3732	3757.5
	3753	3778.9
	3775	3800.3
	3796	3821.7
	3817	3843.1
	3839	3864.5
	3860	3885.9
	3882	3907.3
	3903	3928.7
	3924	3950.1
	3946	3971.5
	3967	3992.9
	3989	4014.3
	4010	4035.7
	4031	4057.1
	4053	4078.5
	4074	4099.9
	4096	4121.3
	4117	4142.7
	4138	4164.1
	4160	4185.5
	4181	4206.9
	4203	4228.3
	4224	4249.7
	4245	4271.1
	4267	4292.5
	4288	4313.9
	4310	4335.3
	4331	4356.7
	4352	4378.1
	4374	4399.5
	4395	4420.9
	4417	4442.3
	4438	4463.7
	4459	4485.1
	4481	4506.5
	4502	4527.9
	4524	4549.3
規格2.5間	4545	4571

区分	屋根部材L	特注L
切詰め寸法（3.0間）	4578	4592.1
	4599	4613.5
	4620	4634.9
	4642	4656.3
	4663	4677.7
	4685	4699.1
	4706	4720.5
	4727	4741.9
	4749	4763.3
	4770	4784.7
	4792	4806.1
	4813	4827.5
	4834	4848.9
	4856	4870.3
	4877	4891.7
	4899	4913.1
	4920	4934.5
	4941	4955.9
	4963	4977.3
	4984	4998.7
	5006	5020.1
	5027	5041.5
	5048	5062.9
	5070	5084.3
	5091	5105.7
	5113	5127.1
	5134	5148.5
	5155	5169.9
	5177	5191.3
	5198	5212.7
	5220	5234.1
	5241	5255.5
	5262	5276.9
	5284	5298.3
	5305	5319.7
	5327	5341.1
	5348	5362.5
	5369	5383.9
	5391	5405.3
	5412	5426.7
	5434	5448.1
規格3.0間	5455	5470

⚠注 意

屋根部材の端部に必ず切欠き加工をしてください。切欠き加工が無い場合、シーリングができないため、漏水の原因になります。

取説コード
N006

TOSMAN702B
201904A_1048
202312C_1048